

令和6年度
栄区地域福祉保健計画
区民アンケート調査
結果報告書
(詳細版)

令和7年1月

横浜市栄区役所



【目次】

調査の概要.....	1
回答者の属性.....	3
集計分析結果.....	9
1 身近な生活について.....	10
2 地域のつながりについて.....	25
3 福祉保健について.....	49
4 安全・安心・健康について.....	54
5 栄区の福祉保健全般について.....	108
資料編	114

調査の概要

■ 調査目的

栄区民の皆さまの身近な生活環境や日常生活などについてお伺いし、第5期栄区地域福祉保健計画（さかえ・つながるプラン）【計画期間：令和8年度～令和12年度】の策定に役立つ資料として活用する。

■ 調査概要

【調査対象】 栄区内に居住する18歳以上の市民3,000人

【抽出方法】 住民基本台帳からの無作為抽出

【調査方法】

郵送配布、郵送回収またはインターネット回答（横浜市電子申請・届出システム）

【調査期間】 令和6年9月24日～10月31日

【設問数】 20問

【回収数】

1,405票（回収率46.8%、うち有効回答票1,403票（郵送回答1,065票（75.9%）、インターネット回答338票（24.1%））

【回収内訳】

		18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	不明	合計
郵送回答	n	43	48	97	176	142	552	7	1,065
	%	4.0	4.5	9.1	16.5	13.3	51.8	0.7	100.0
インターネット回答	n	48	57	63	84	46	39	1	338
	%	14.2	16.9	18.6	24.9	13.6	11.5	0.3	100.0

【集計結果の見方】

図（グラフ）の中で使用されている「n=〇〇」は、その設問に対する回答者数をあらわす。

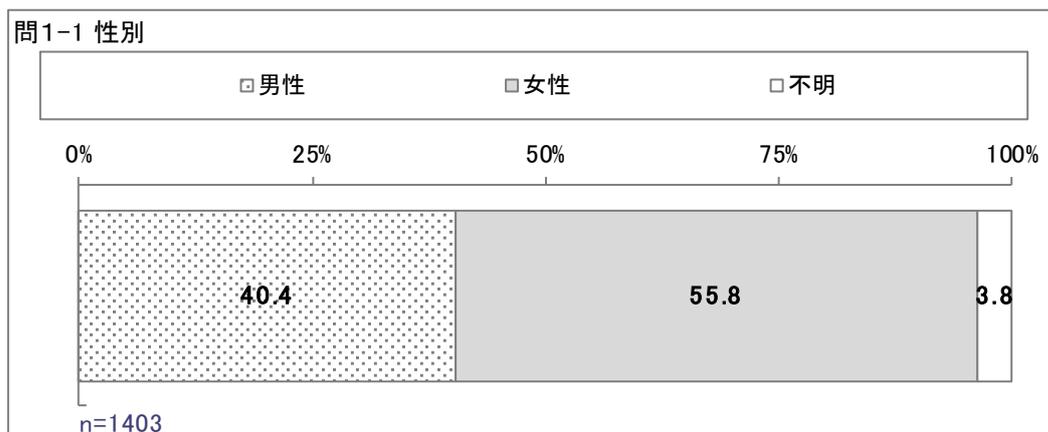
回答の比率（すべて百分率（%）で表示）は、その設問の回答者数を基数（件数）として算出している。したがって、複数回答の設問の場合、すべての比率を合計すると100%を超える場合がある。また、小数点以下第2位を四捨五入して算出しているため、合計が100%にならない場合がある。

項目をまとめてひとつのカテゴリーにする場合（例えば問1など）、各回答項目の回答者数の合計を基数として%を算出している。各回答項目は小数点第2位以下を四捨五入しているため、回答項目の%の合計と一致しない場合がある。

回答者の属性

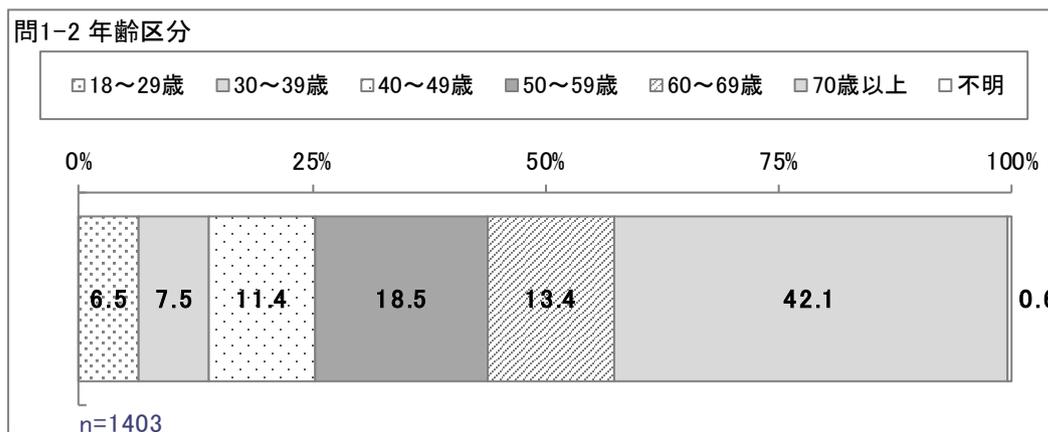
■ 性別（問 1-1）

- ・ 「女性」が 55.8% で 「男性」（40.4%）より 15.4 ポイント多い。



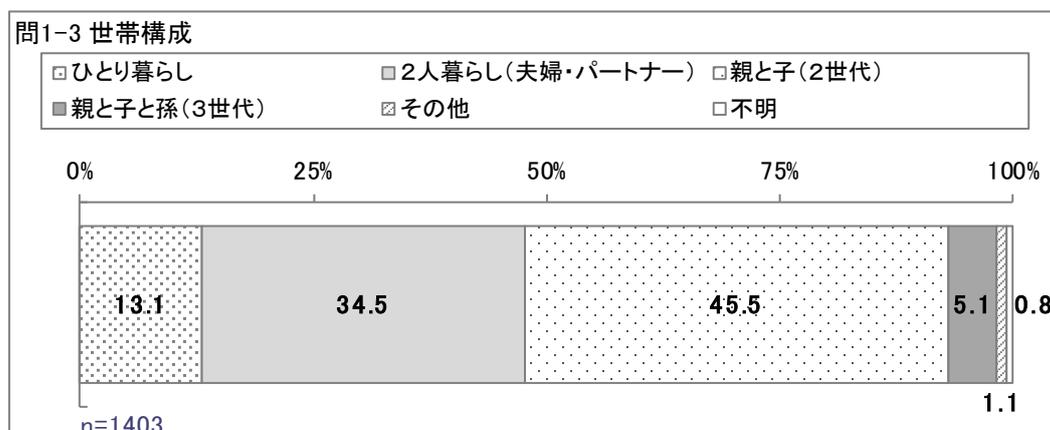
■ 年齢（問 1-2）

- ・ 「70歳以上」（42.1%）が最も多く、「50～59歳」（18.5%）が続く。



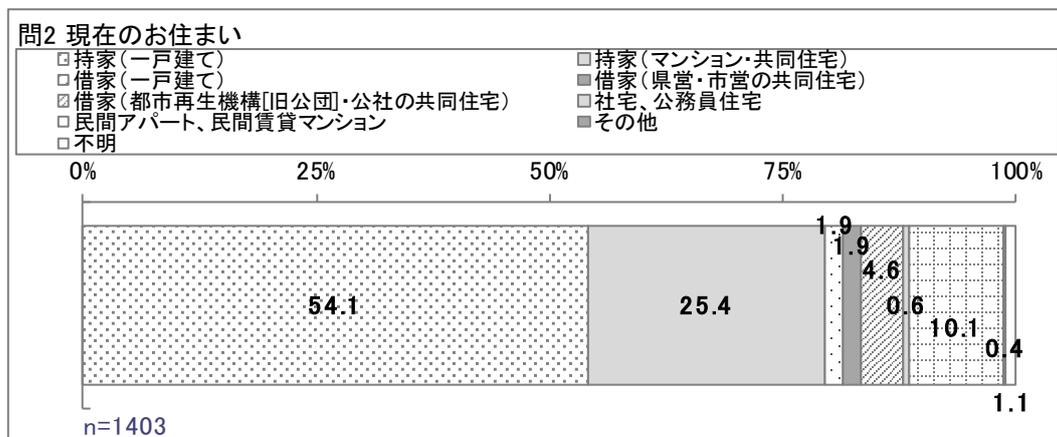
■ 家族形態（問 1-3）

- ・「親と子（2世代）」（45.5%）が最も多く、続く「2人暮らし（夫婦・パートナー）」（34.5%）を11.0ポイント上回る。



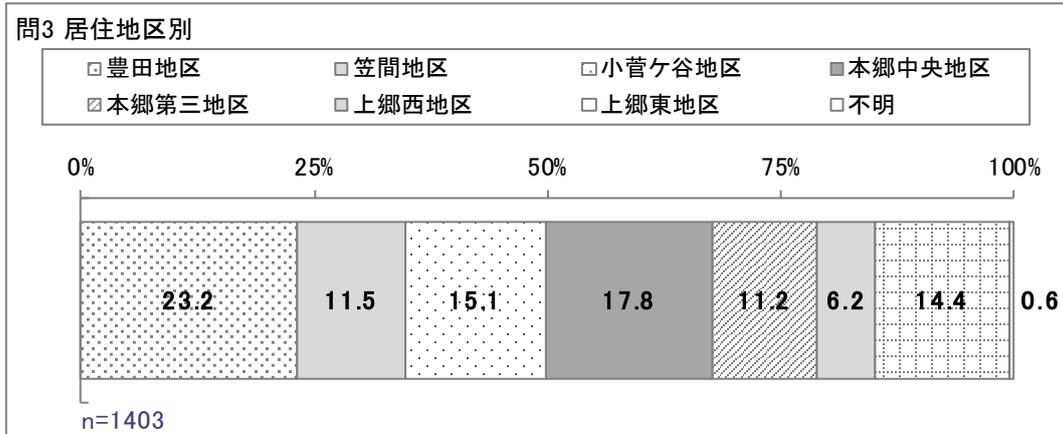
■ 住居形態（問 2）

- ・「持家（一戸建て）」（54.1%）が最も多く、続く「持家（マンション・共同住宅）」（25.4%）と合わせると約8割が『持家』である。



■ 居住地区（問3）

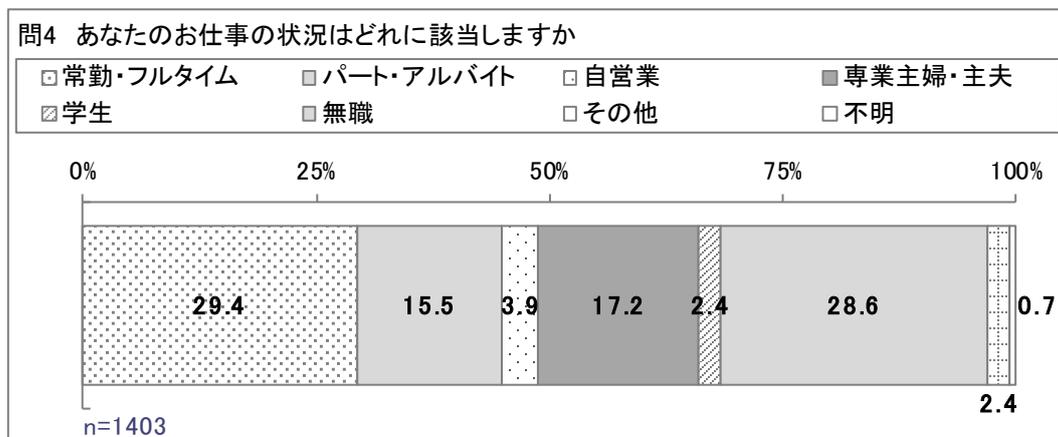
- ・「豊田地区」（23.2%）が最も多く、「本郷中央地区」（17.8%）、「小菅ヶ谷地区」（15.1%）が続く。



豊田地区：飯島町、金井町、田谷町、長尾台町、長沼町、本郷台一丁目～五丁目
笠間地区：笠間一丁目～五丁目
小菅ヶ谷地区：小菅ヶ谷町、小菅ヶ谷一丁目～四丁目、小山台一丁目～二丁目
本郷中央地区：桂台北、桂台中、桂台西一丁目～二丁目、桂台東、桂台南一丁目～二丁目、桂町、公田町
本郷第三地区：鍛冶ヶ谷町、鍛冶ヶ谷一丁目～二丁目、中野町、柏陽、元大橋一丁目～二丁目、若竹町
上郷西地区：犬山町、尾月、上之町、亀井町
上郷東地区：上郷町、庄戸一丁目～五丁目、長倉町、野七里一丁目～二丁目、東上郷町
 ※町界で区分しているため、連合町内会のエリアとは一部異なっている部分があります。

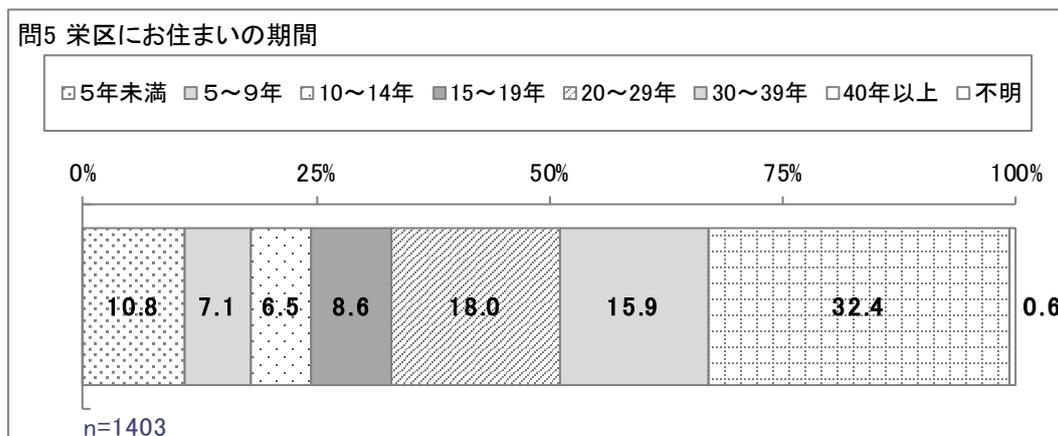
■ 仕事の状況（問4）

- ・「常勤・フルタイム」（29.4%）が最も多く、「無職」（28.6%）、「専業主婦・主夫」（17.2%）が続く。



■ 居住期間（問5）

- ・「40年以上」（32.4%）が最も多く、「20～29年」（18.0%）、「30～39年」（15.9%）が続く。



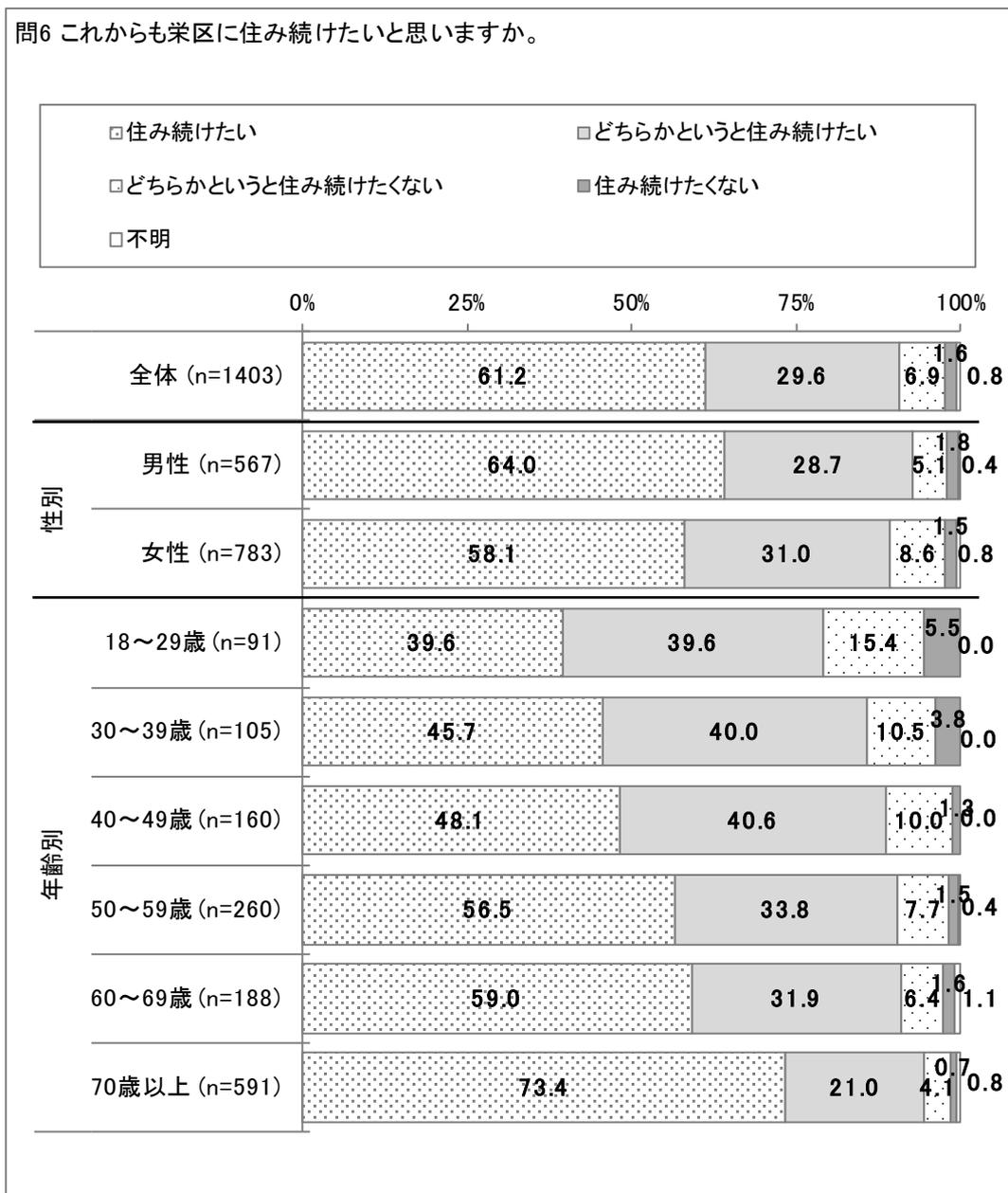
集計分析結果

1 身近な生活について

(1) 定住意向（問6）

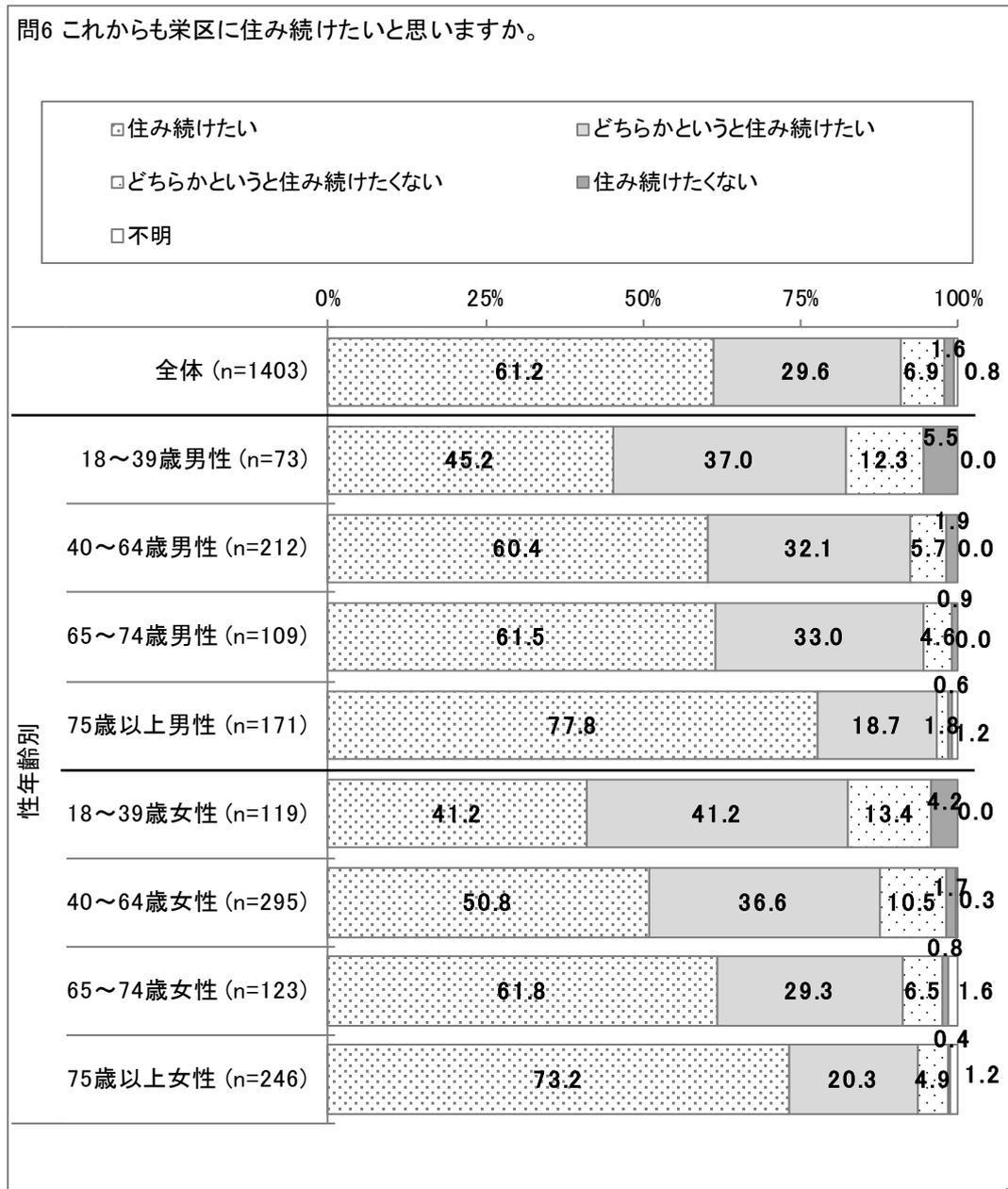
ア 定住意向：全体・性別・年齢別

- ・「住みたい」と「どちらかというに住みたい」を合わせた現在の居住地に『住みたい』の割合は90.8%である。
- ・性別の違いをみると、『住みたい』の割合は男性（92.7%）が女性（89.1%）を上回っている。
- ・年代が上がるにつれ『住みたい』との回答が多くなり、「70歳以上」の『住みたい』（94.4%）は「18～29歳」の『住みたい』（39.6%）を54.8ポイント上回っている。



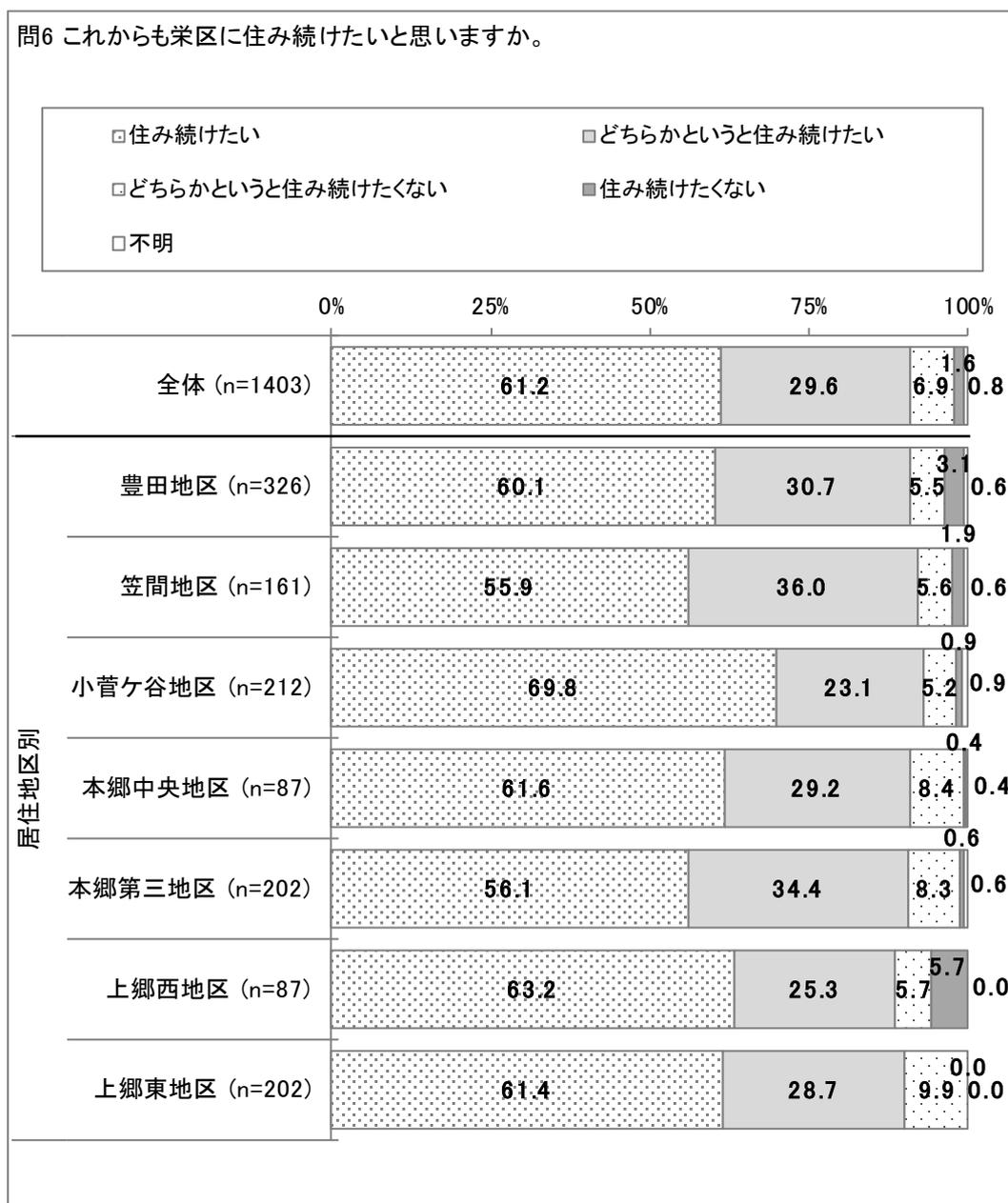
イ 定住意向：性年齢別

- ・性年齢別では、女性は年代が上がるにつれ『住み続けたい』との回答が多くなる傾向が見られる。男性は「40～64歳」と「65～74歳」はほぼ同程度（約9割）で、「75歳以上」では『住み続けたい』との回答が96.5%となっている。



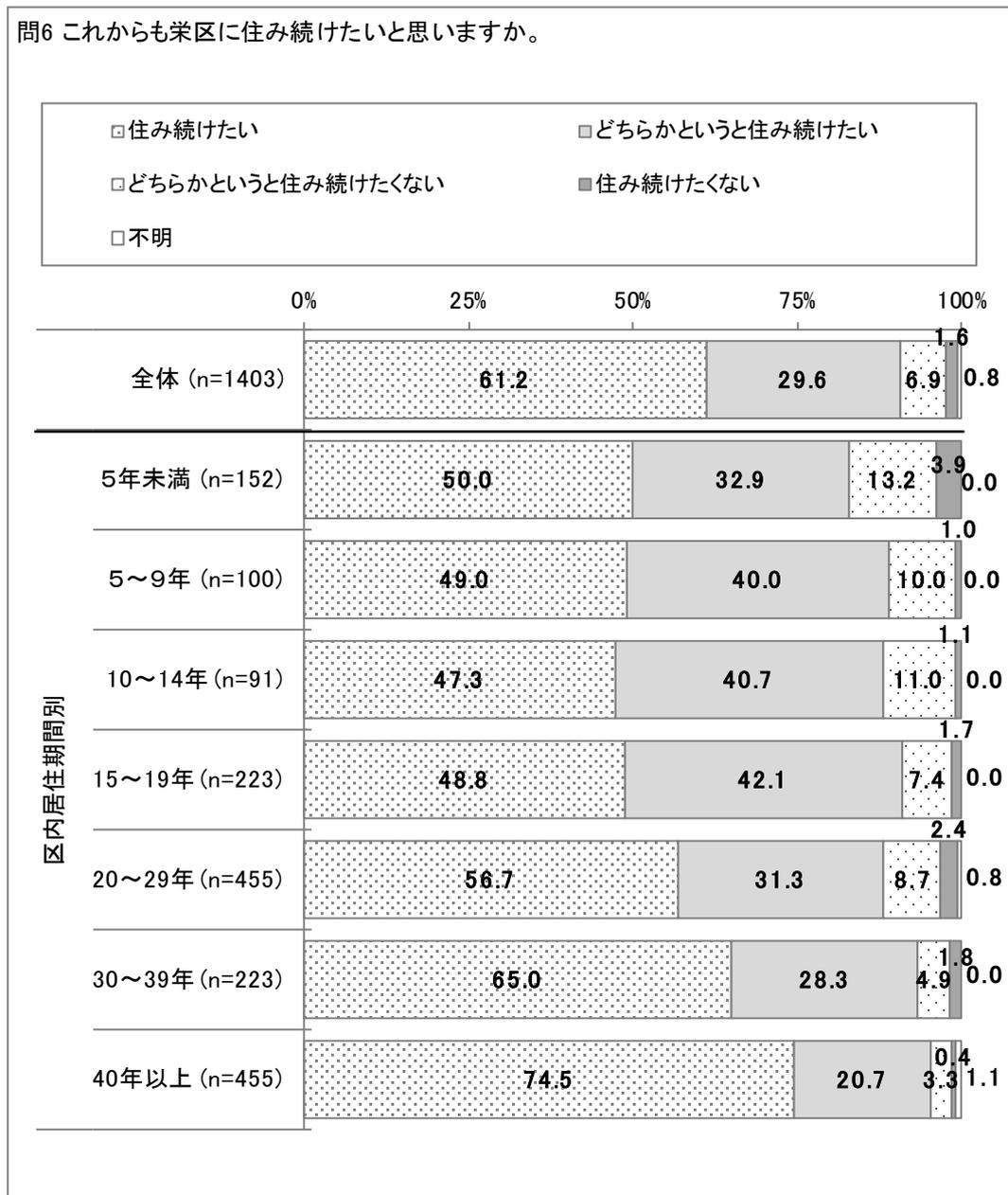
ウ 定住意向：居住地区別

- ・居住地区別では、いずれの地区も『住み続けたい』との回答が約9割となっている。



エ 定住意向：区内居住期間別

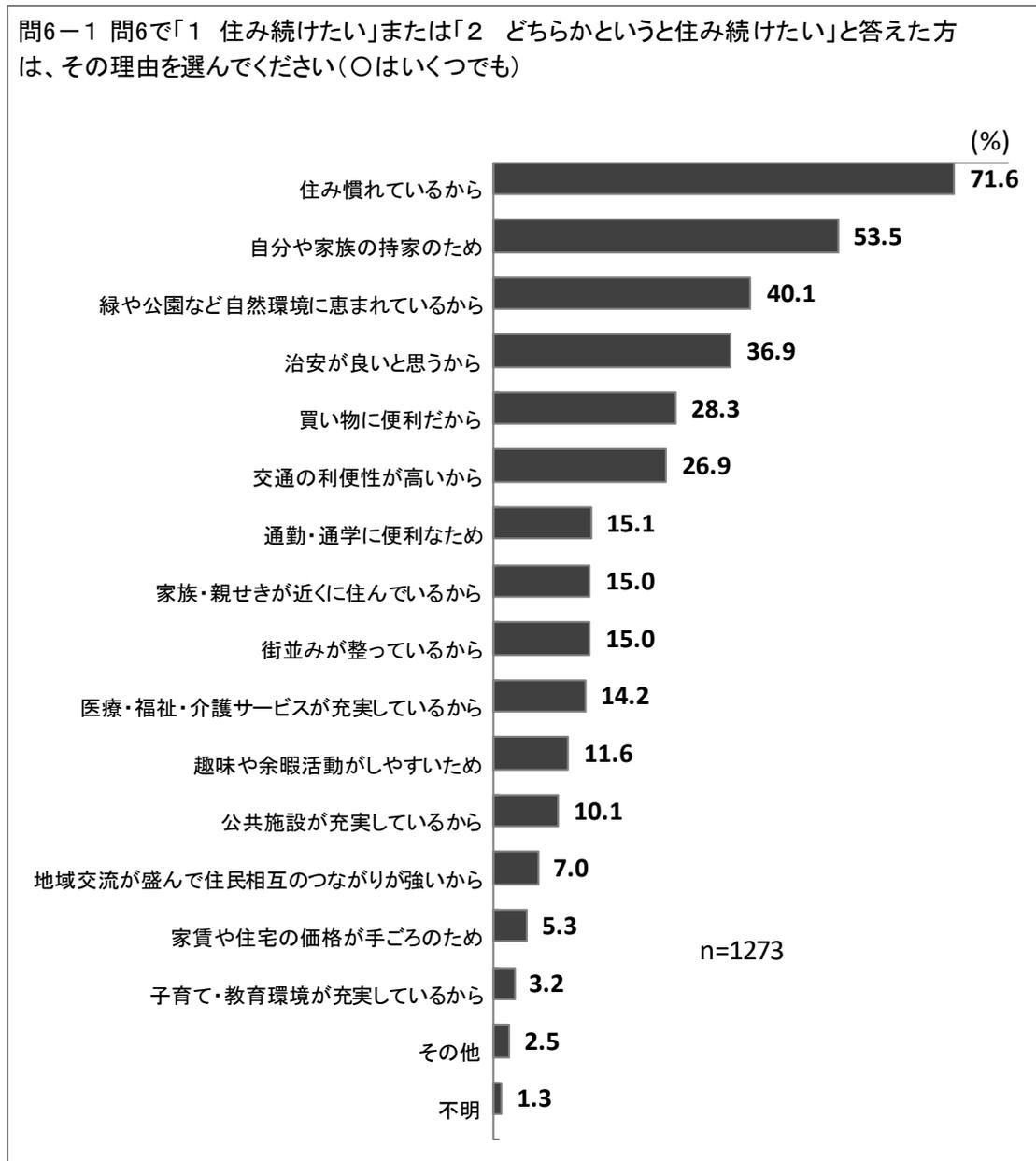
- 区内居住期間別では、居住期間が長くなるほど『住み続けたい』との回答が多くなる傾向が見られ、最も多い「40年以上」（95.2%）は最も少ない「5年未満」（82.9%）を12.3ポイント上回っている。



(2) 住み続けたいと思う理由（問6－1）

ア 住み続けたいと思う理由：全体

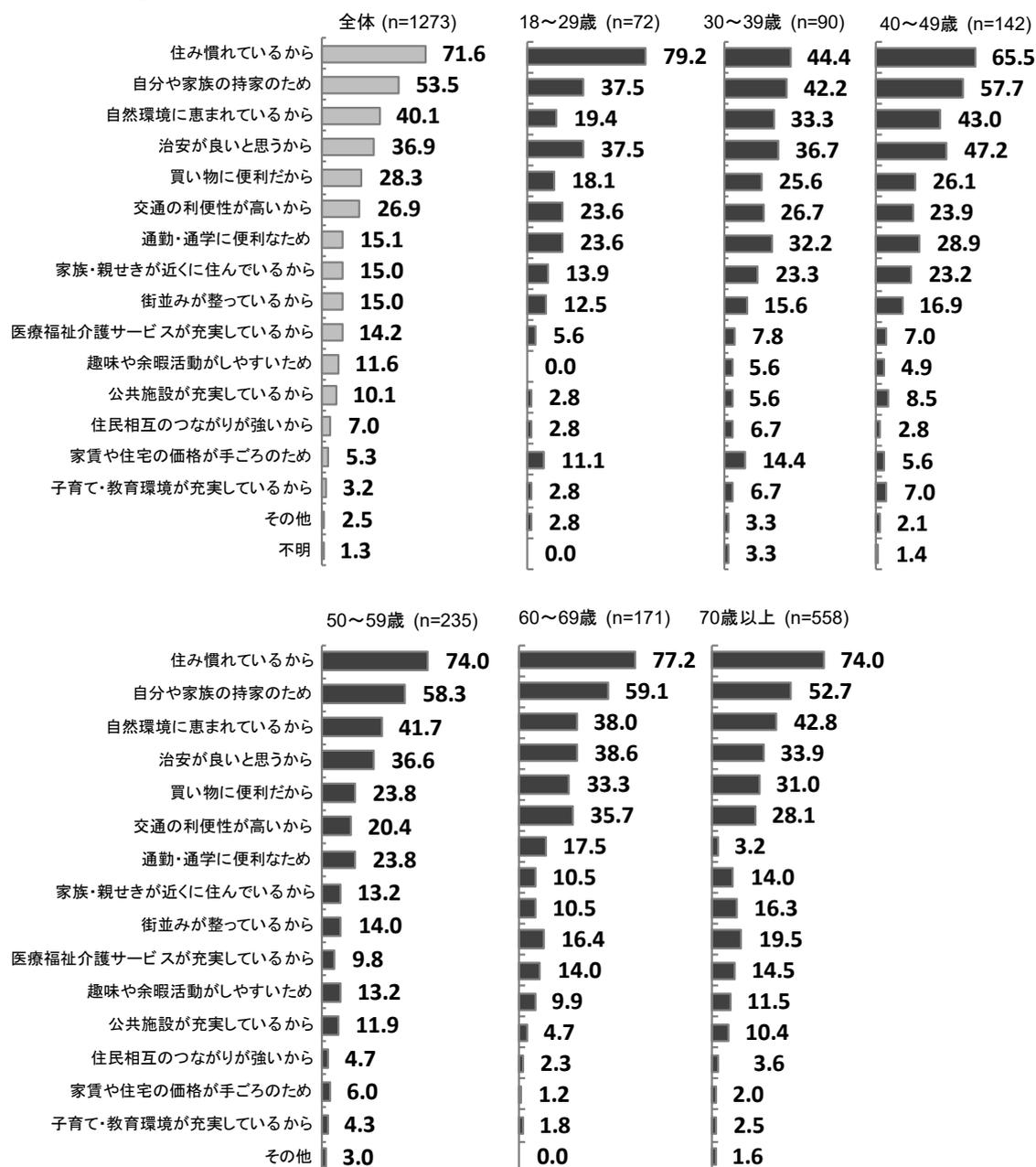
- ・「住み慣れているから」（71.6%）が最も多く、続く「自分や家族の持家のため」（53.5%）の2項目の回答が5割を超えている。



イ 住み続けたいと思う理由：年齢別

- ・いずれの年代も「住み慣れているから」が最も多い回答で「30～39歳」、「40～49歳」を除くと2位以下を10ポイント以上上回っている。
- ・「30～39歳」は「住み慣れているから」（44.4%）、「自分や家族の持家のため」（42.2%）、「治安が良いと思うから」（36.7%）、「緑や公園など自然環境に恵まれているから」（33.3%）、「通勤・通学に便利なため」（32.2%）と5項目が3割以上となっており、住み続けたいと思う理由が分散していると考えられる。

問6-1 問6で「1 住み続けたい」または「2 どちらかという住み続けたい」と答えた方は、その理由を選んでください(○はいくつでも) (%)

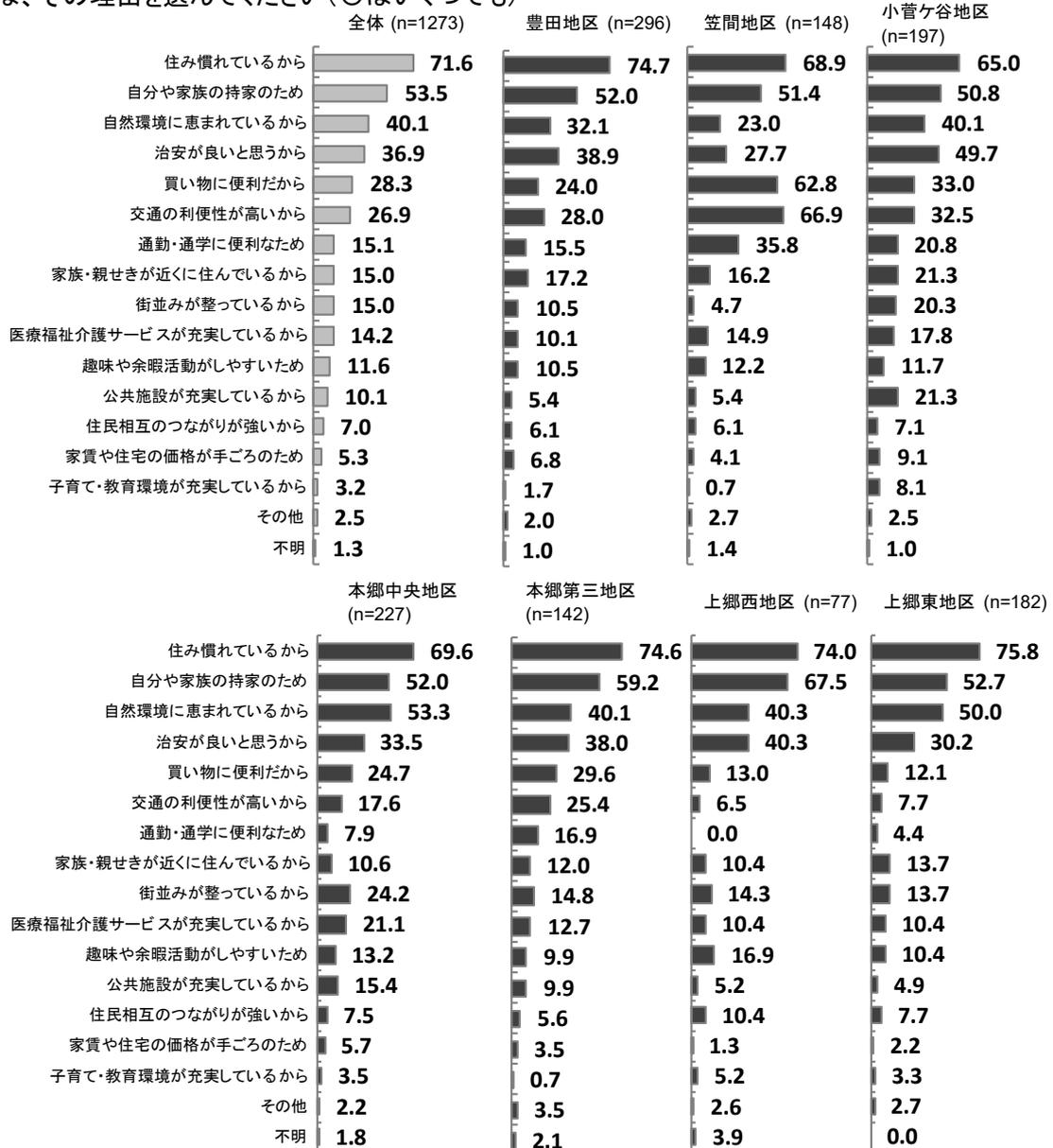


※レイアウトの関係で選択肢の一部を省略しています

ウ 住み続けたいと思う理由：居住地区別

- ・いずれの地区でも「住み慣れているから」が最も多いが、2位以下の回答は居住地区の特徴があらわれている。
- ・笠間地区では続く「交通の利便性が高いから」、「買い物に便利だから」が6割を超えている。
- ・小菅ヶ谷地区では「治安が良いと思うから」（49.7%）と「公共施設が充実しているから」（21.3%）が全体を10ポイント以上上回っている。
- ・本郷中央地区では「緑や公園など自然環境に恵まれているから」（53.3%）と「街並みが整っているから」（24.2%）が全体を10ポイント以上上回っている。

問6-1 問6で「1 住み続けたい」または「2 どちらかという住み続けたい」と答えた方（%）は、その理由を選んでください（○はいくつでも）



※レイアウトの関係で選択肢の一部を省略しています

エ 住み続けたいと思う理由：「その他」の内容

- ・住み続けたいと思う理由の「その他」として記載のあった31件を分類すると、「地域・環境が良い」が22件と多く、「自身や家族の理由」が7件で続いている。
- ・「地域・環境が良い」の内訳は、「周辺環境が良い」（8件）、「近隣との関係が良好」（5件）、「災害に強い」（4件）が上位に挙げられている。

問6-1 問6で「1 住み続けたい」または「2 どちらかという住み続けたい」と答えた方は、その理由を選んでください(○はいくつでも)

「16. その他」の内容

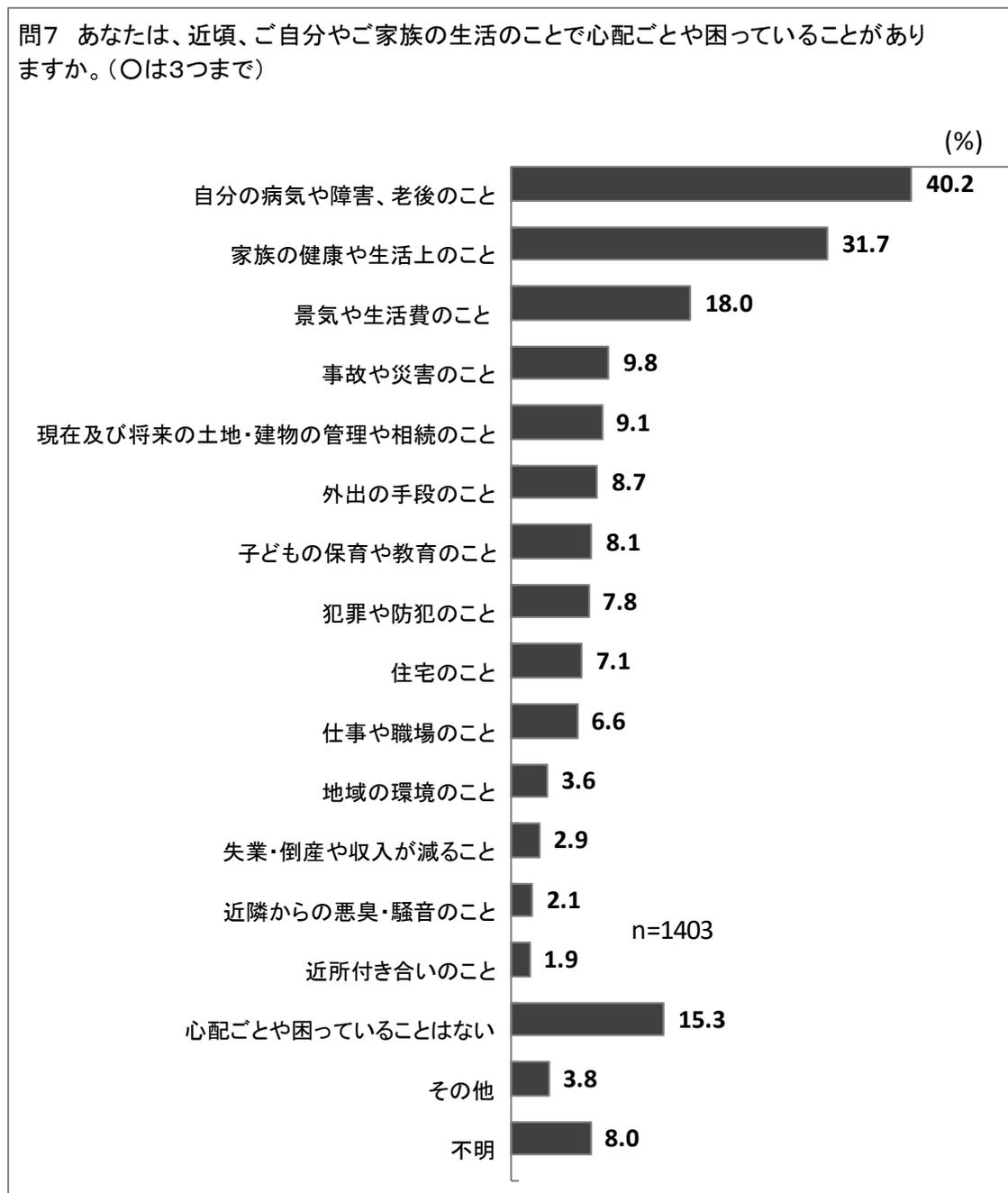
(件)

地域・環境が良い	22	自身や家族の理由	7
周辺環境が良い	8	金銭的理由	3
近隣との関係が良好	5	高齢のため	2
災害に強い	4	子どものため	1
交通の便が良い	2	思い出があるから	1
将来性がある	1	その他	2
気候が良い	1		
年寄りが住みやすい	1		

(3) 心配ごとや困っていること（問7）

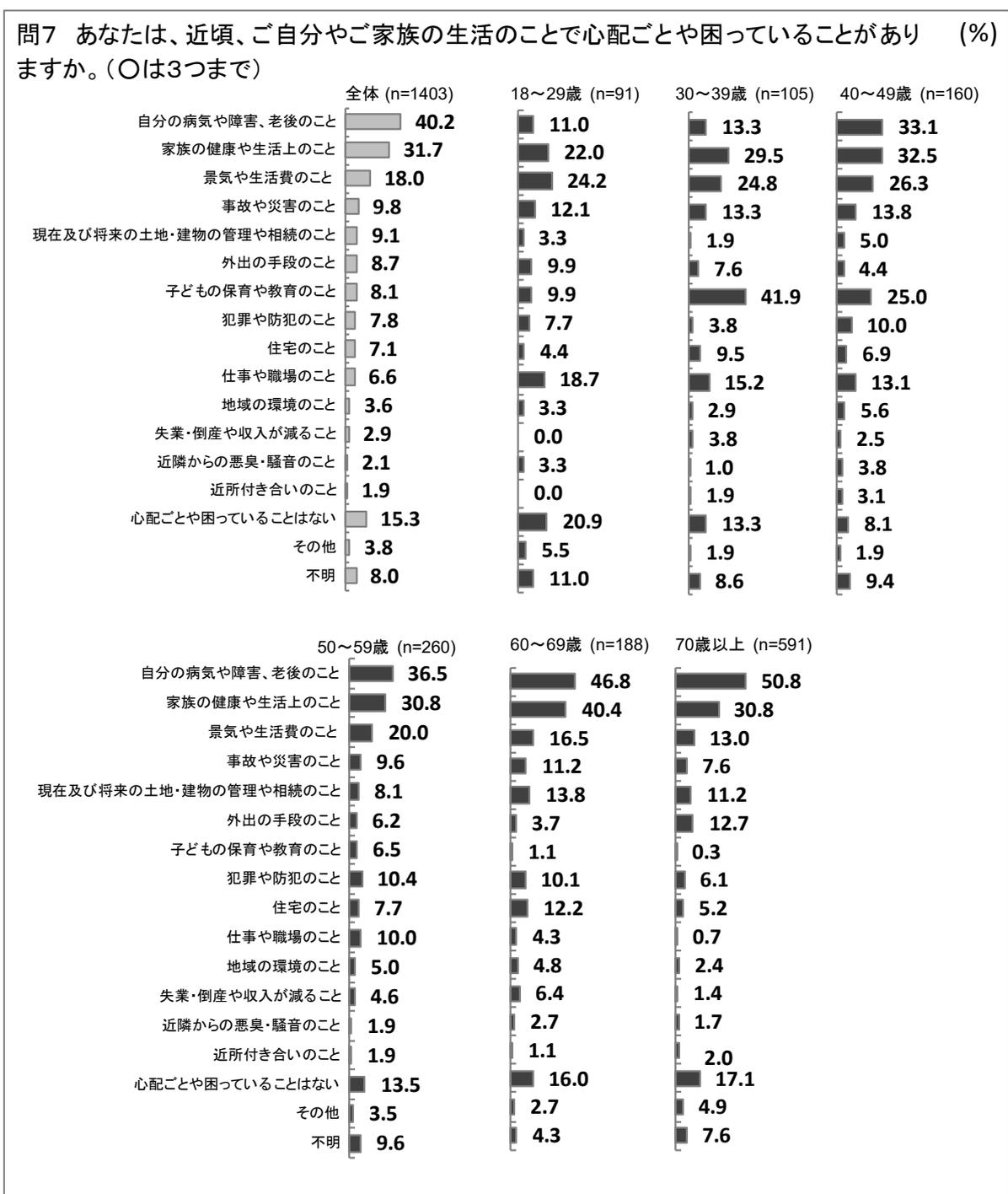
ア 心配ごとや困っていること：全体

- ・「自分の病気や障害、老後のこと」（40.2%）が最も多く、「家族の健康や生活上のこと」（31.7%）、「景気や生活費のこと」（18.0%）の順に続く。
- ・「心配ごとや困っていることはない」は15.3%となっている。



イ 心配ごとや困っていること：年齢別

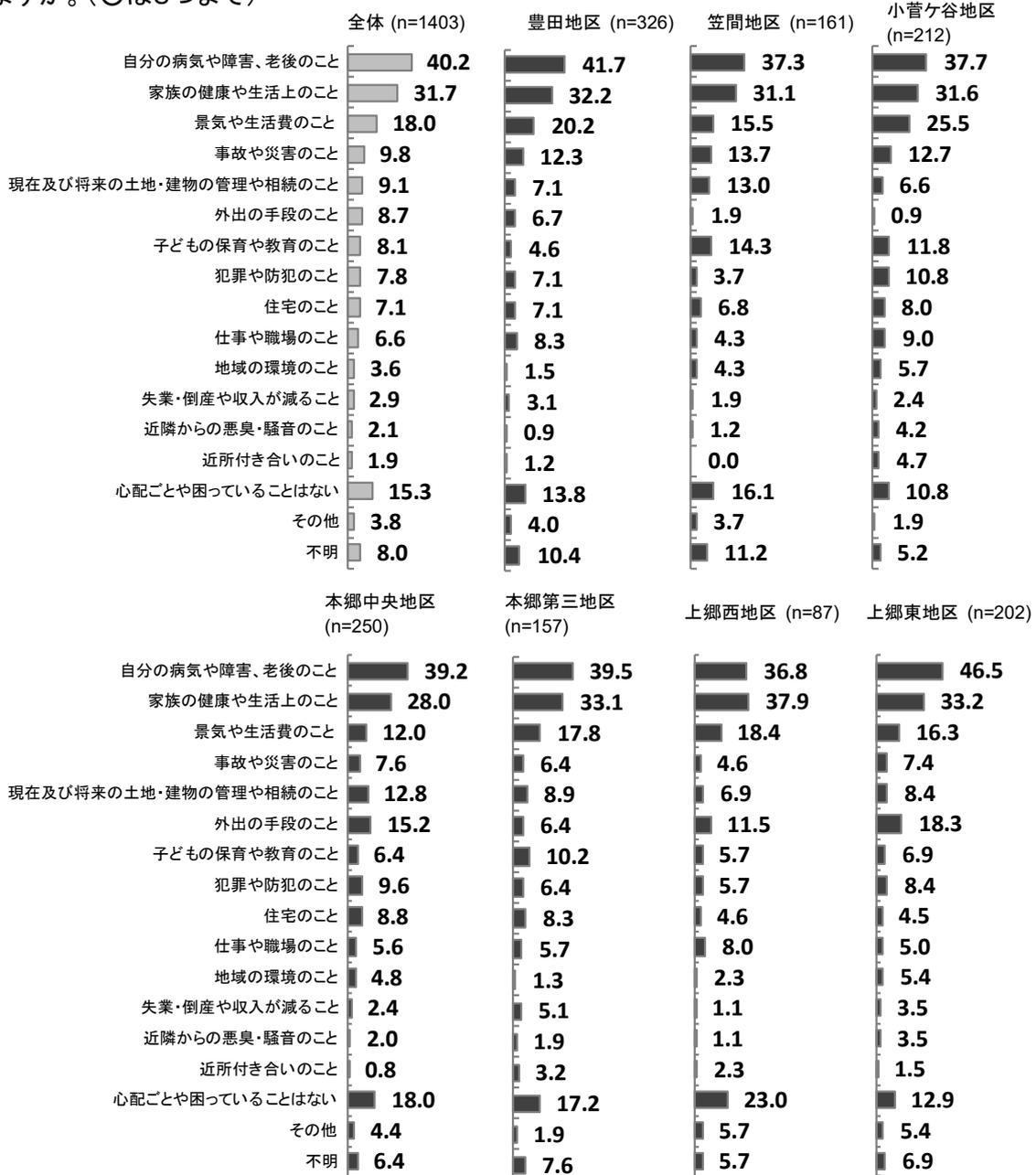
- ・年齢別では、「18～29歳」では「景気や生活費のこと」（24.2%）が最も多い回答で、「30～39歳」では「子どもの保育や教育のこと」（41.9%）が最も多いなど、年齢で回答の傾向が異なる。
- ・「40～49歳」から「70歳以上」では「自分の病気や障害、老後のこと」が最も多い回答であり、「70歳以上」では約5割が回答している。
- ・「心配ごとや困っていることはない」は「18～29歳」では20.9%で全体を5ポイント以上上回っている。次いで「70歳以上」が17.1%、「60～69歳」が16.0%と続いている。



ウ 心配ごとや困っていること：居住地区別

- ・居住地区別では上郷西地区をのぞくいずれの地区も「自分の病気や老後のこと」が最も多い回答であり、「家族の健康や生活上のこと」が続いている。
- ・上郷西地区は、「家族の健康や生活上のこと」が最も多い回答であり、「自分の病気や障害、老後のこと」が続いている。

問7 あなたは、近頃、ご自分やご家族の生活のことで心配ごとや困っていることがありますか。(〇は3つまで) (%)



エ 心配ごとや困っていること：その他

- ・心配ごとや困っていることの「その他」の回答のうち、記載のあった44件を分類した。
- ・「地域の環境」に関する記載（17件）、「自身の将来」に関する記載（9件）、「近隣トラブル」に関する記載（6件）が上位に挙げられている。

問7 あなたは、近頃、ご自分やご家族の生活のことで心配ごとや困っていることがありますか。（〇は3つまで）

「16. その他」の内容

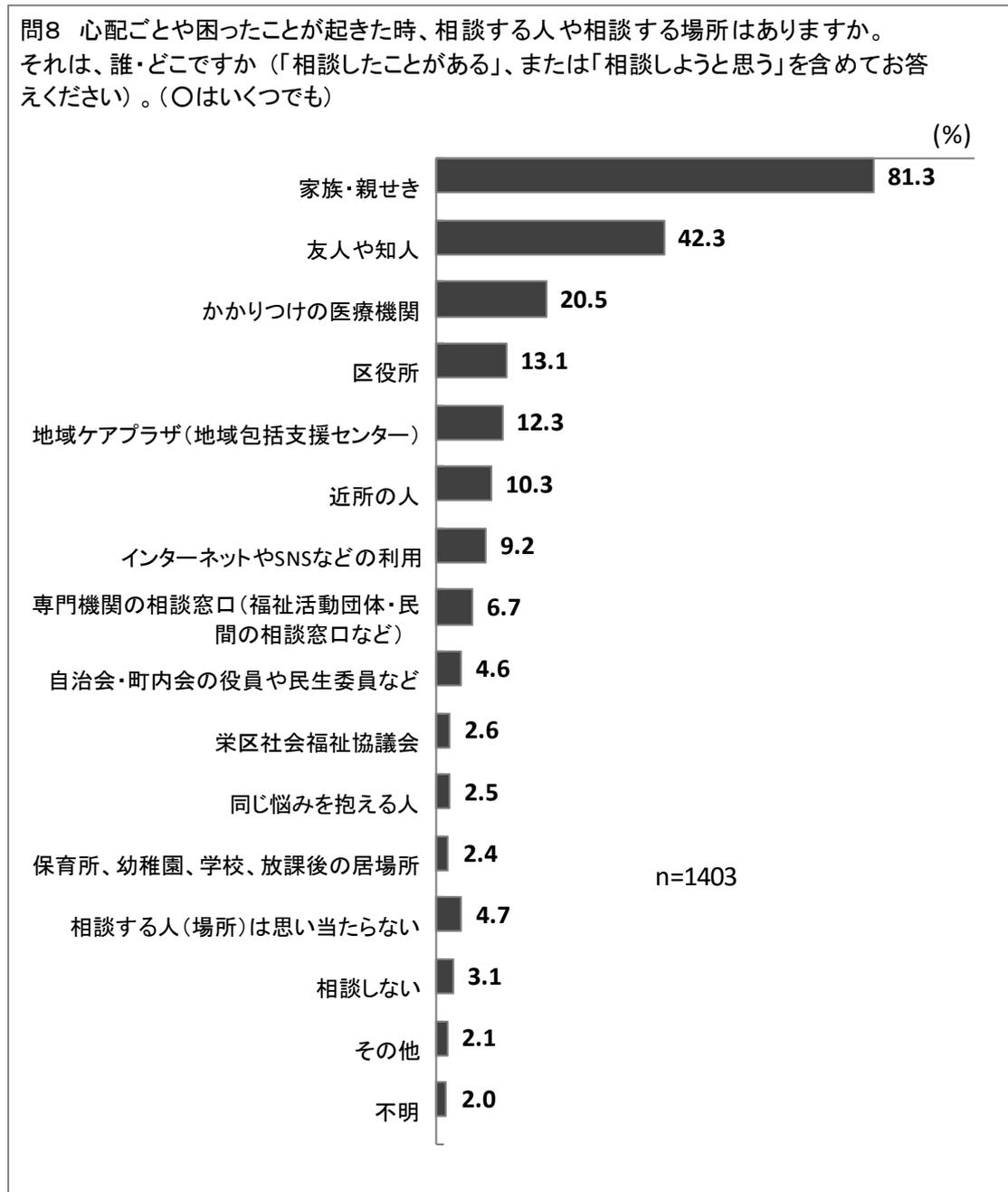
(件)

地域の環境	17	近隣トラブル	6
近隣環境への不安	5	騒音・不法投棄	3
交通利便性の向上	4	悪臭	2
騒音・不法投棄	2	庭木の放置	1
その他環境	6	家族のこと	4
自身の将来	9	障害のある子どものこと	2
高齢のため	6	親の介護への不安	2
コミュニティが見つからない	1	地域の福祉、地域の将来	4
未婚のため	1	大規模災害	1
受験のこと	1	気候変動	1
		その他	2

(4) 心配ごとや困ったことが起きた時、相談する人・場所（問8）

ア 心配ごとや困ったことが起きた時、相談する人・場所：全体

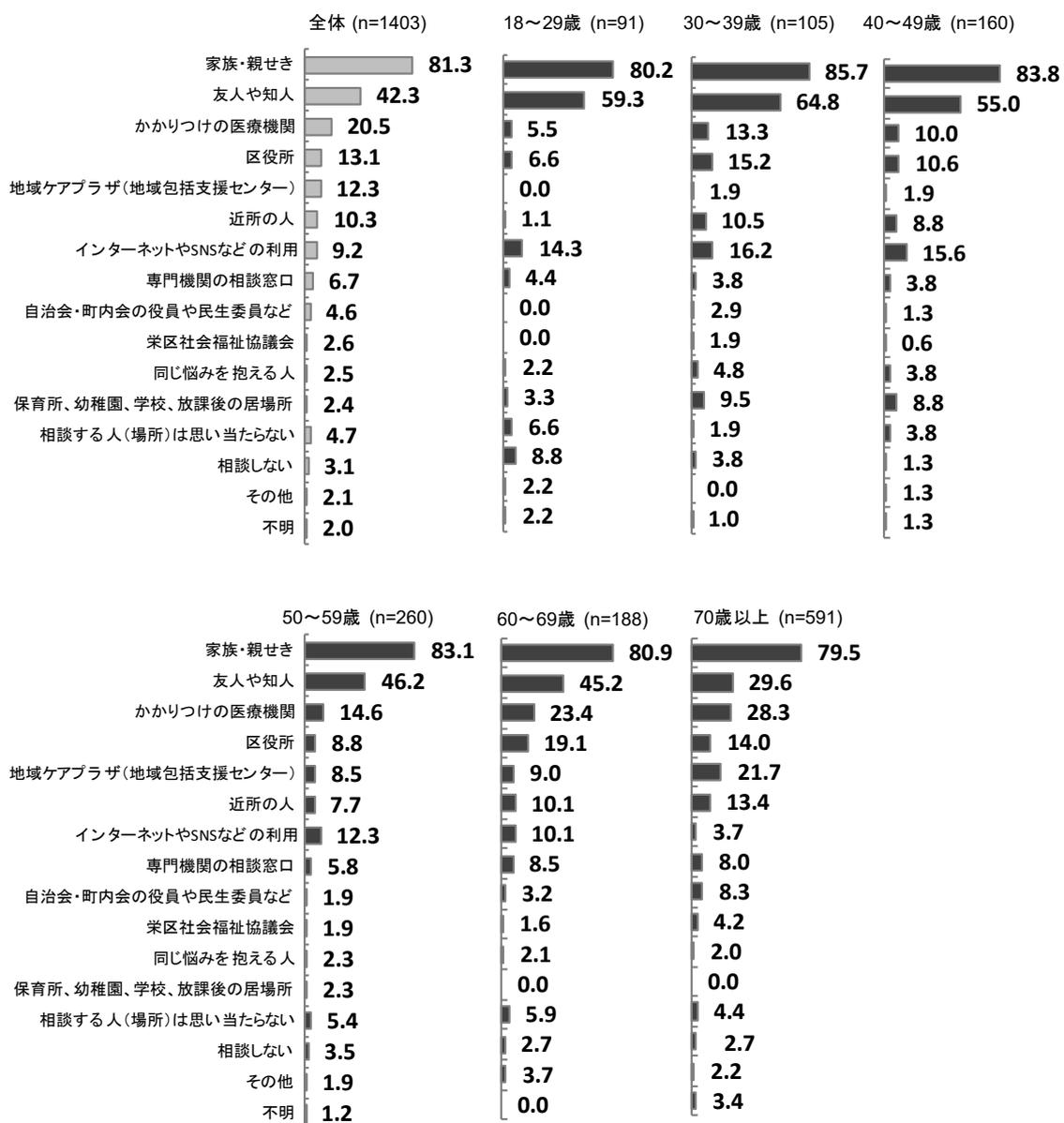
- ・「家族・親せき」（81.3%）が最も多く、2位の「友人や知人」（42.3%）を大きく引きはなしている。3位には「かかりつけの医療機関」（20.5%）の順に続いている。



イ 心配ごとや困っていることが起きた時、相談する人・場所：年齢別

- ・年齢別では、いずれも「家族・親せき」が最も多い回答で、「友人や知人」が続いている。
- ・「18～29歳」「30～39歳」「40～49歳」では3位に「インターネットやSNSなどの利用」が挙げられており、年代の特徴があらわれている。
- ・「相談する人（場所）は思い当たらない」「相談しない」は、他の年代に比べ、「18～29歳」の割合が多い。

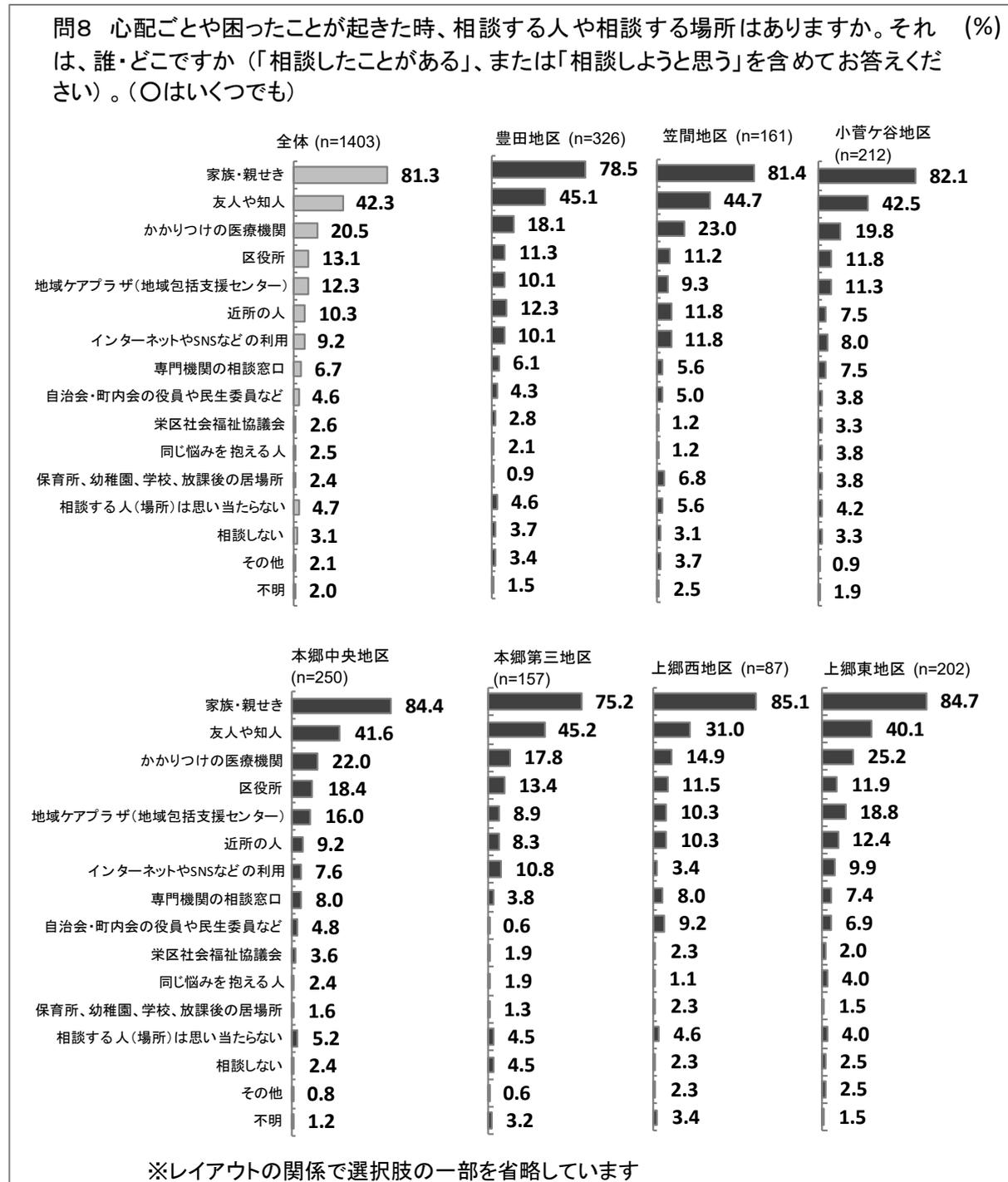
問8 心配ごとや困ったことが起きた時、相談する人や相談する場所はありますか。 (％)
それは、誰・どこですか（「相談したことがある」、または「相談しようと思う」を含めてお答えください）。（○はいくつでも）



※レイアウトの関係で選択肢の一部を省略しています

ウ 心配ごとや困っていることが起きた時、相談する人・場所：居住地区別

- ・居住地区別ではどの地区も「家族・親せき」が最も多い回答で、「友人や知人」が続いている。
- ・「上郷西地区」では2位の「友人や知人」の割合が31.0%と全体と比べ10ポイント以上低くなっている。

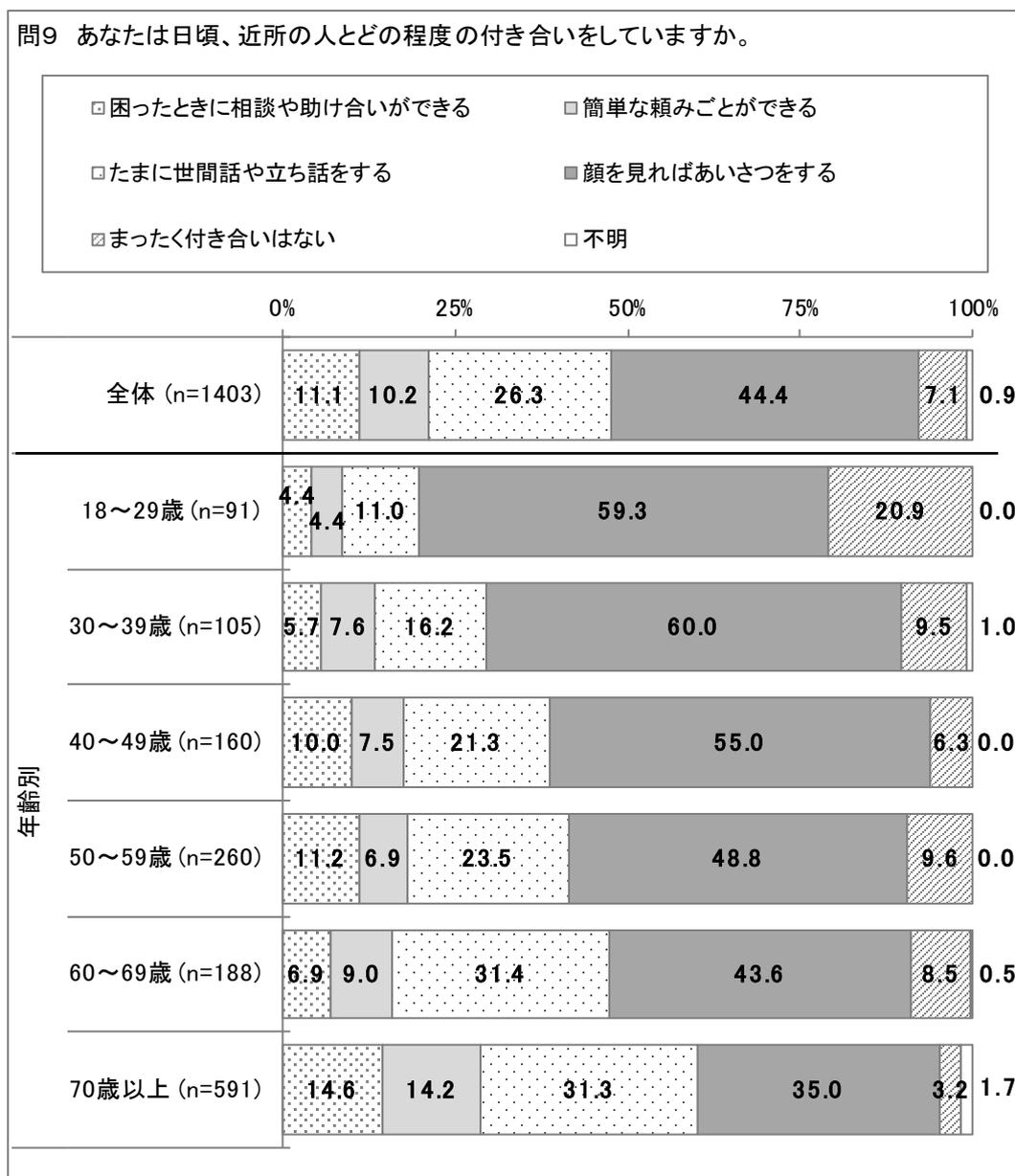


2 地域のつながりについて

(1) 隣近所とのつき合い方（問9）

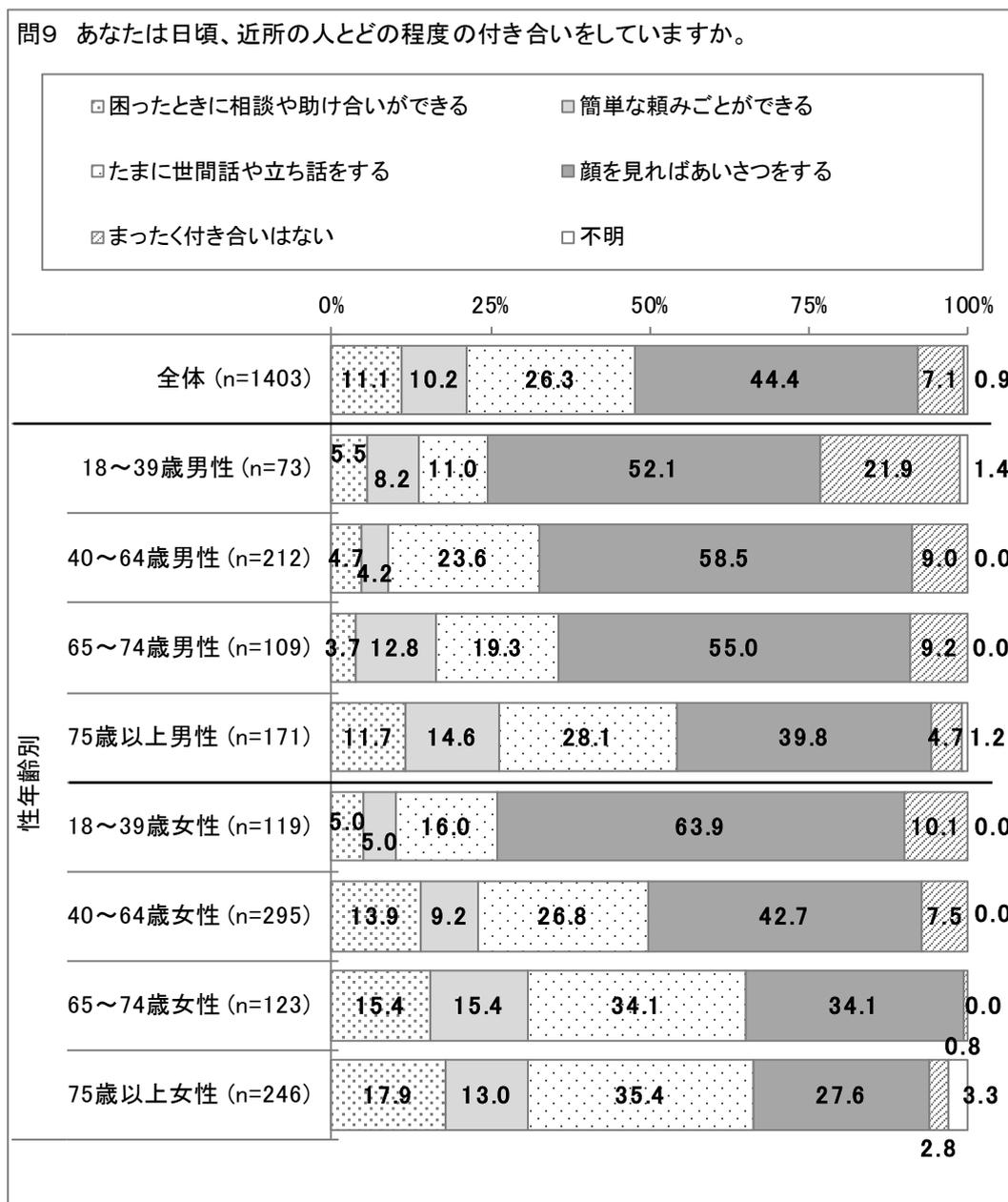
ア 隣近所とのつき合い方：全体・年齢別

- ・全体では『立ち話以上のつき合い』（「困ったときに相談や助け合いができる」、「簡単な頼みごとができる」、「たまに世間話や立ち話をする」の合計）が47.6%となっている。
- ・年齢別では、『立ち話以上のつき合い』の割合が「18～29歳」では19.8%、「70歳以上」では60.1%となっており、年齢が上がるほど高くなる傾向が見られる。



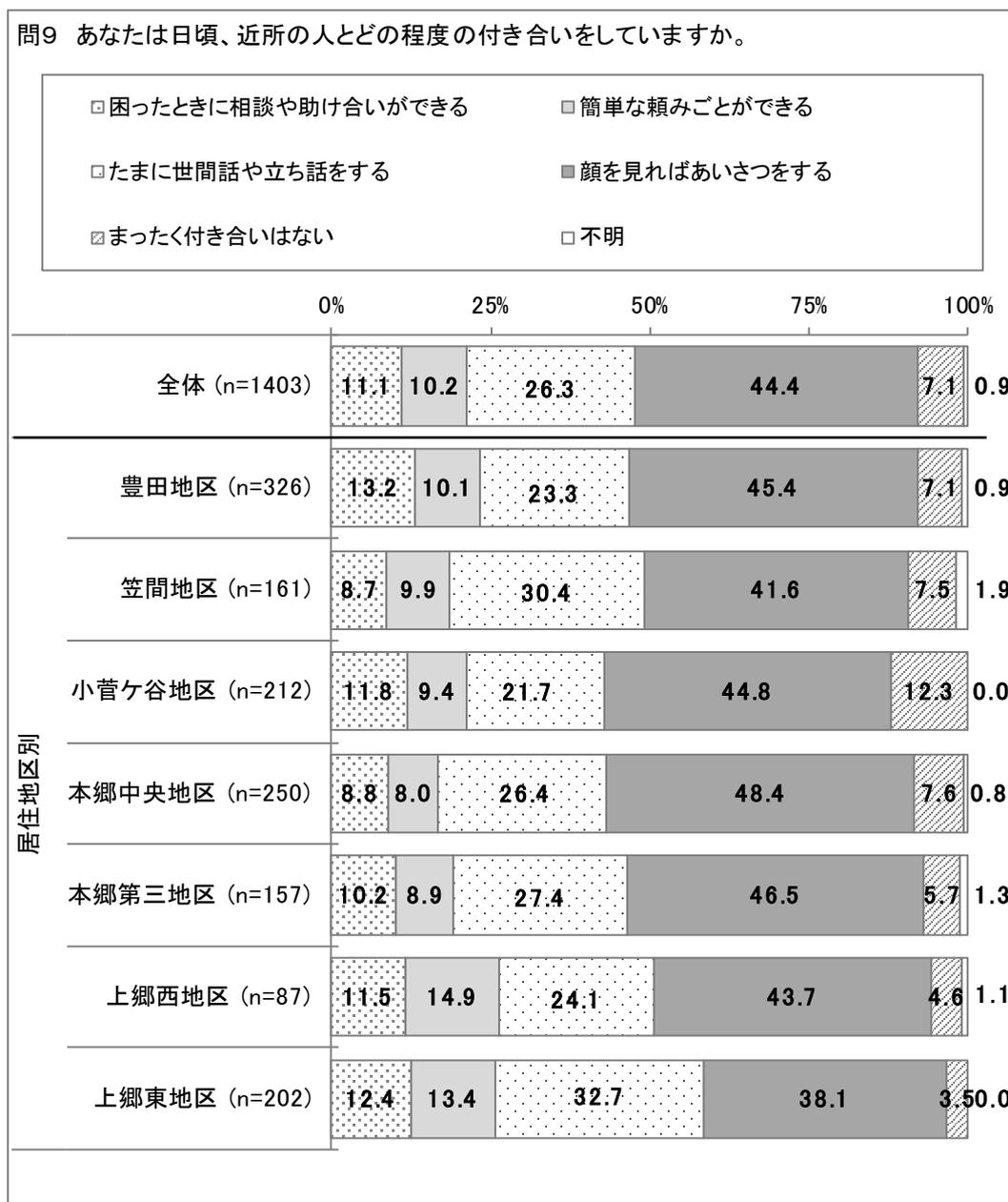
イ 隣近所とのつき合い方：性年齢別

- ・『立ち話以上のつき合い』をしている割合は、男性は年齢が上がるほど高くなっており、「18～39歳男性」では24.7%、「75歳以上男性」では54.4%である。
- ・女性の『立ち話以上のつき合い』の割合は「65～74歳女性」（64.9%）と「75歳以上女性」（66.3%）はほぼ差が見られなくなっている。



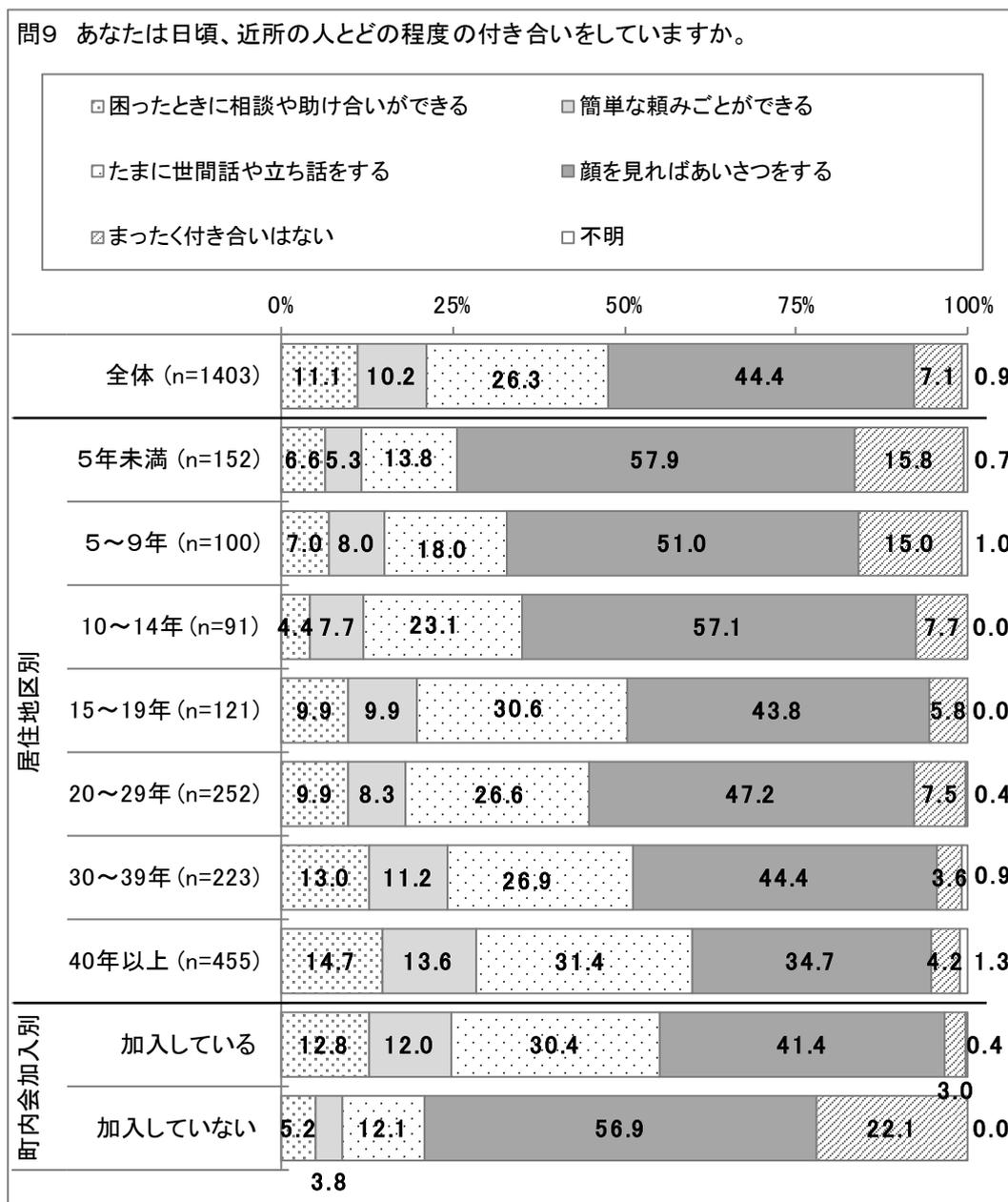
ウ 隣近所とのつき合い方：居住地区別

- ・『立ち話以上のつき合い』の割合は、「上郷東地区」（58.5%）が全体より10ポイント以上多い。
- ・一方、「小菅ヶ谷地区」では「まったく付き合いはない」（12.3%）が全体より5ポイント以上多い。



エ 隣近所とのつき合い方：区内居住期間別・町内会加入別

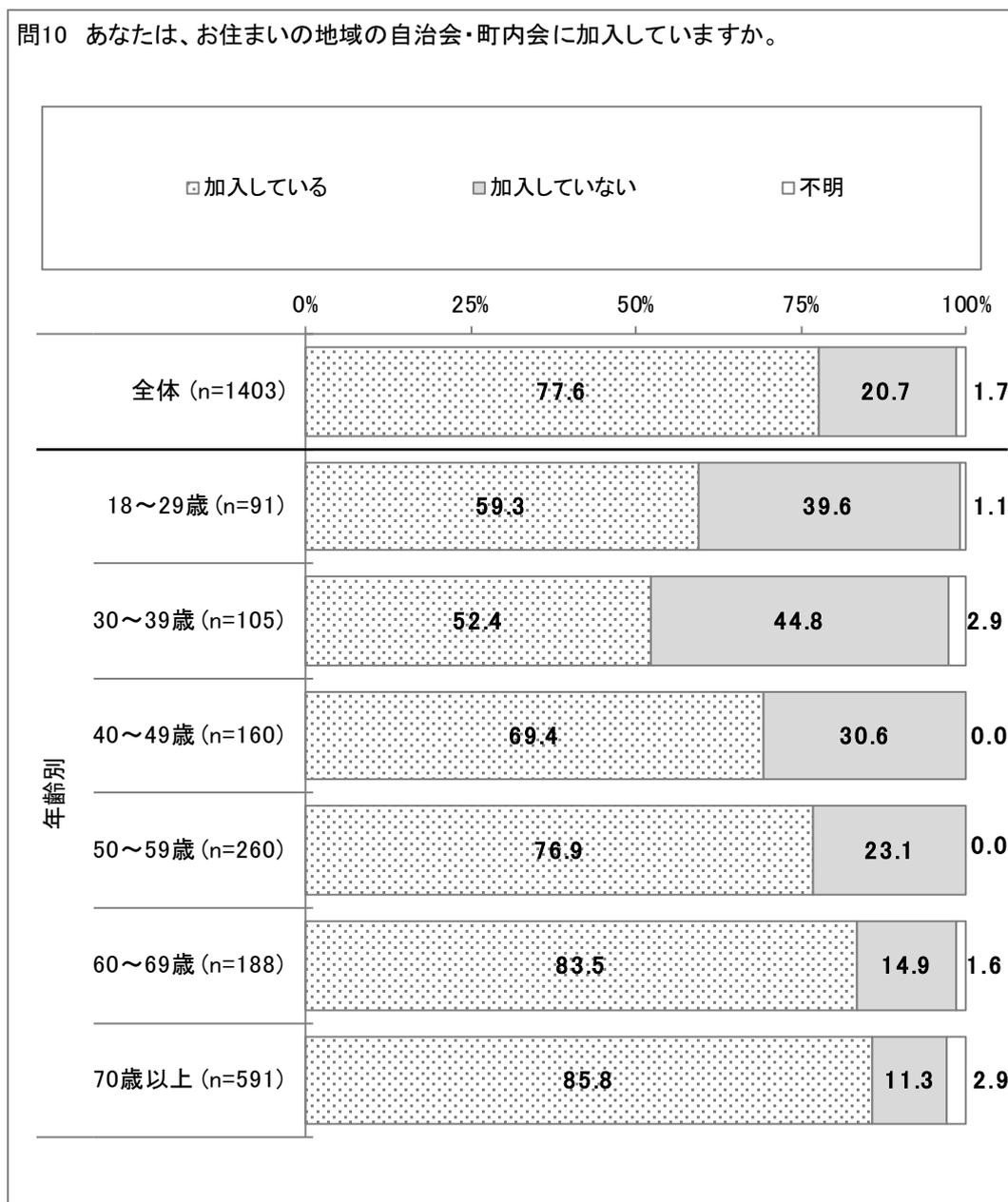
- ・区内居住期間が「15～19年」を境に『立ち話以上のつき合い』をしている割合は多くなる傾向が見られ、「40年以上」では59.7%となっている。
- ・町内会に「加入している」では『立ち話以上のつき合い』は55.2%で、「加入していない」（21.1%）を30ポイント以上多い。



(2) 自治会・町内会に加入しているか（問 10）

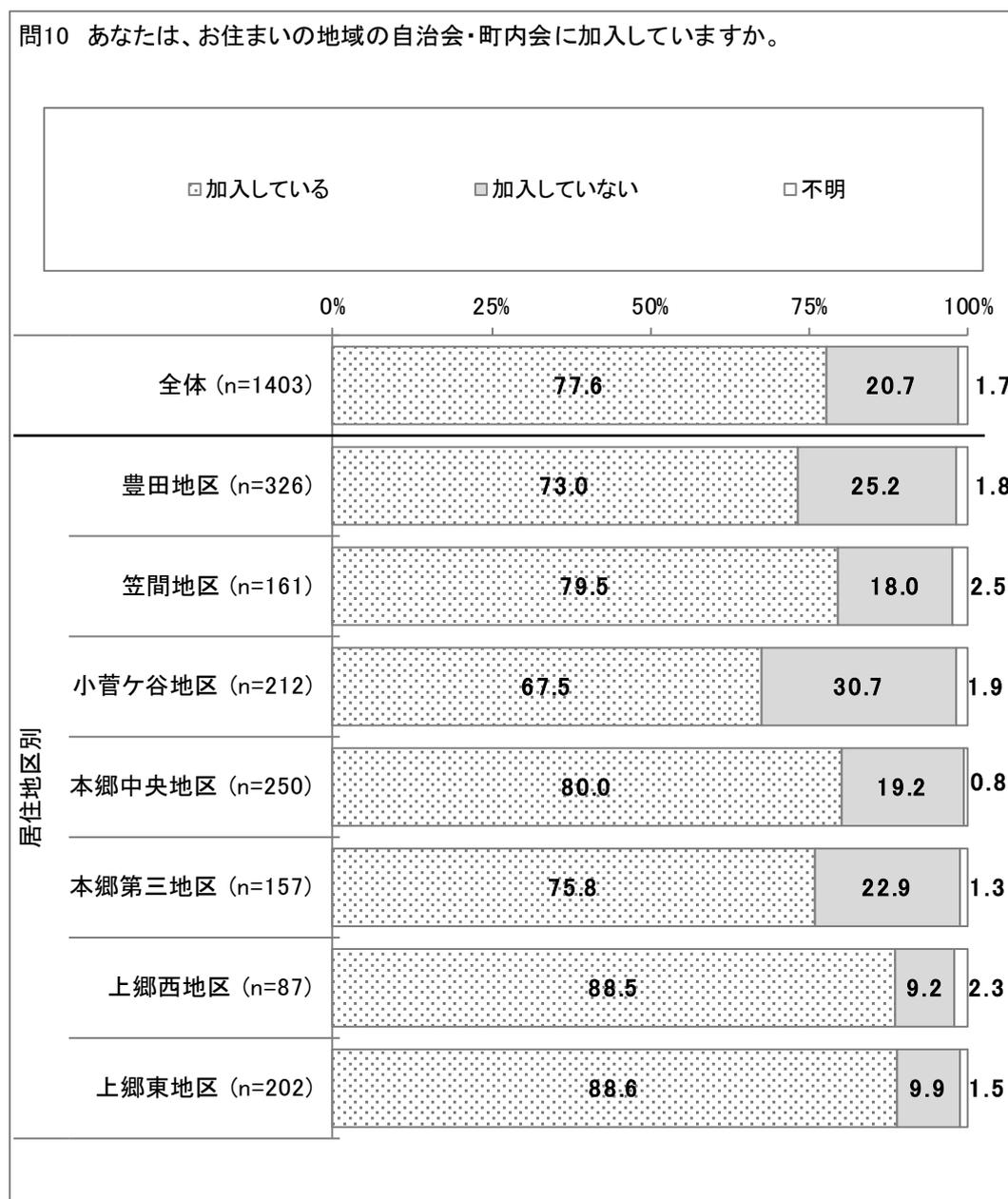
ア 自治会・町内会に加入しているか：全体・年齢別

- ・全体では「加入している」（77.6%）が「加入していない」（20.7%）を大きく上回っている。
- ・「加入している」は「18～29歳」が「30～39歳」を上回っているが、「40～49歳」以降は年代が上がるにつれその割合は多くなっている。



イ 自治会・町内会に加入しているか：居住地区別

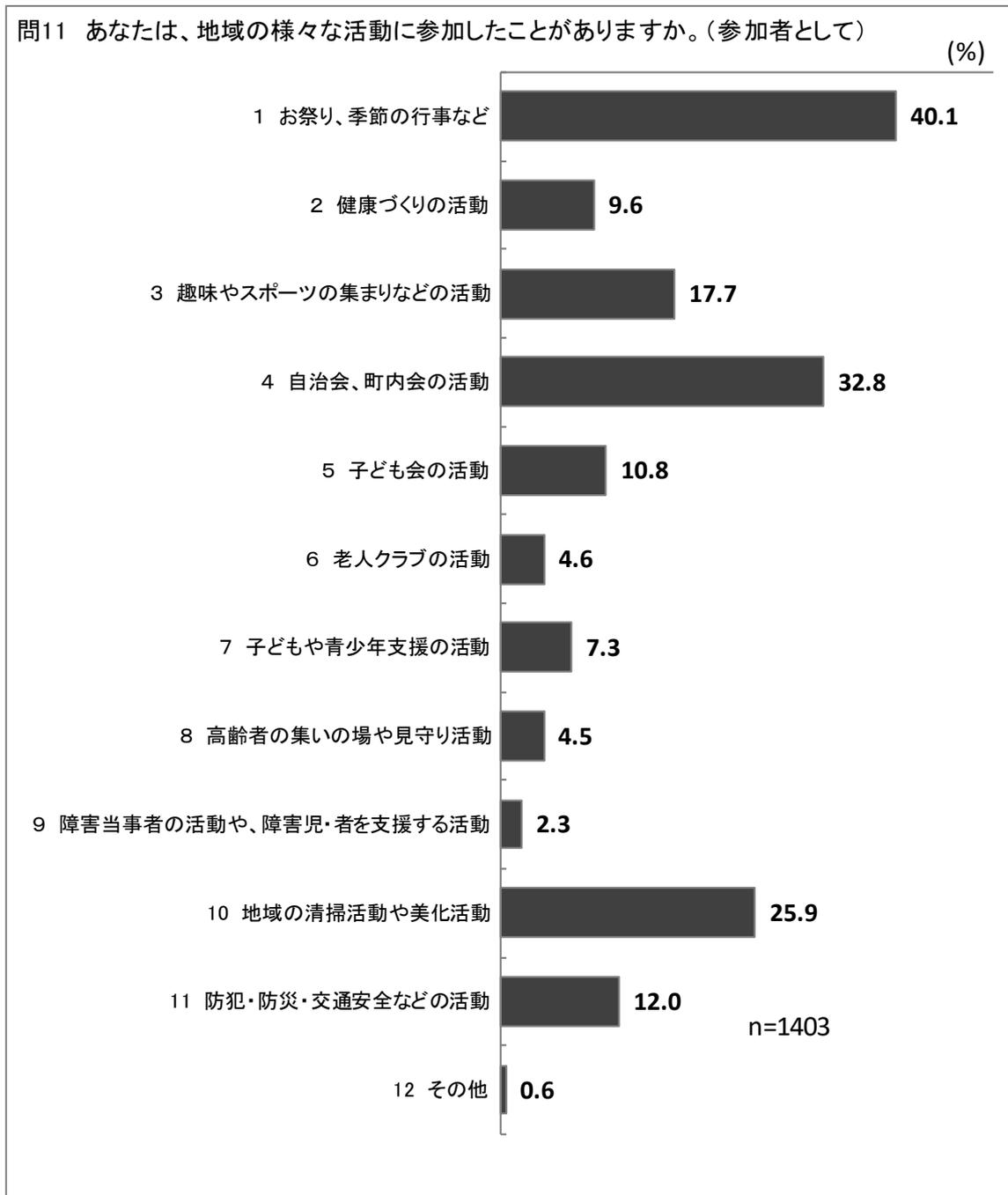
- ・「上郷西地区」と「上郷東地区」は「加入している」の割合が9割近くを占め、全体より10ポイント以上多くなっている。
- ・「小菅ヶ谷地区」は「加入していない」(30.7%)が全体より10ポイント多い。



(3) 地域活動への参加者としての参加（問 11）

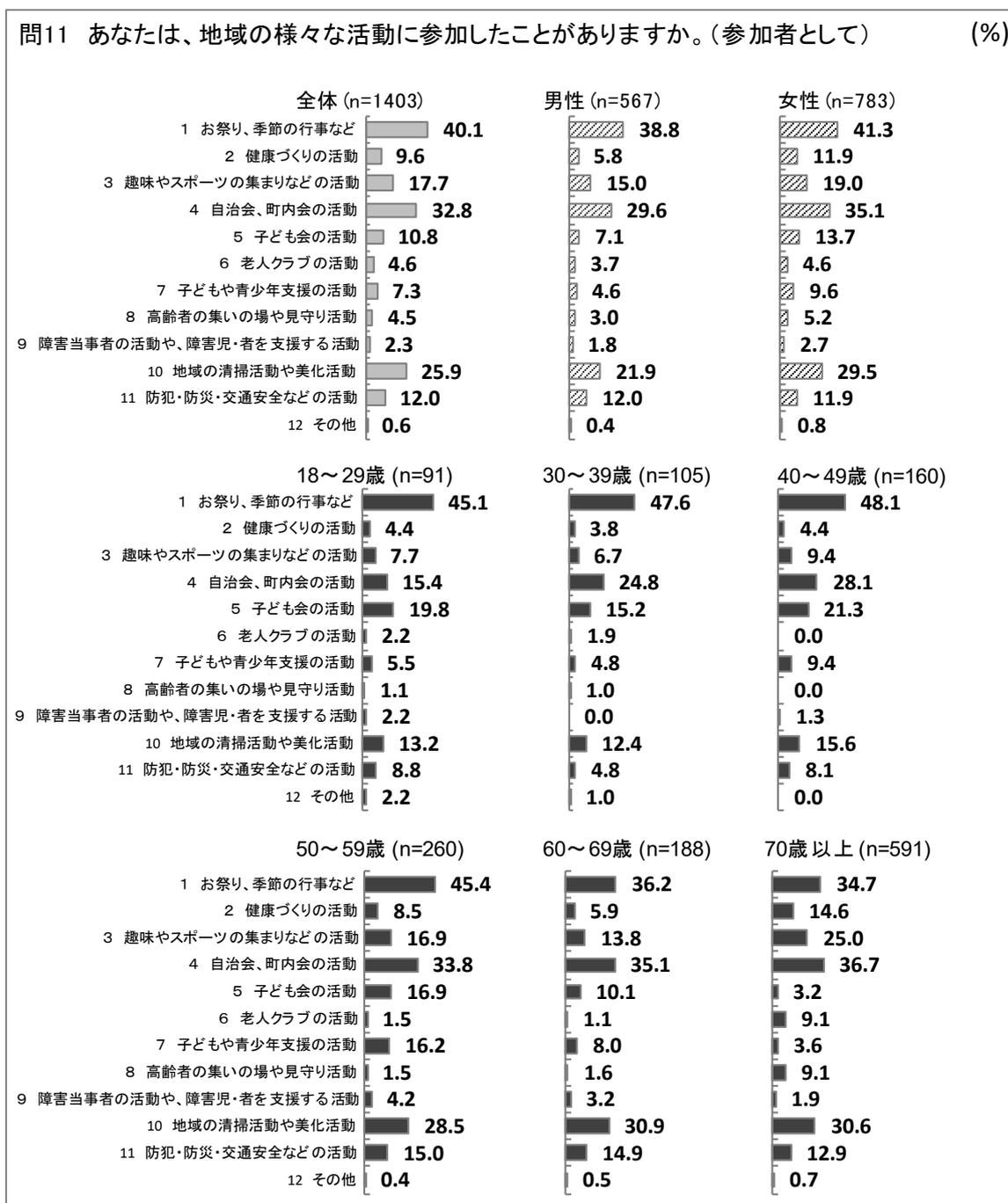
ア 参加者としての参加：全体

- ・参加者として「参加している」割合が最も高いのは、「お祭り、季節の行事など」（40.1%）で、「自治会、町内会の活動」（32.8%）、「地域の清掃活動や美化活動」（25.9%）が続いている。



イ 参加者としての参加：性別・年齢別

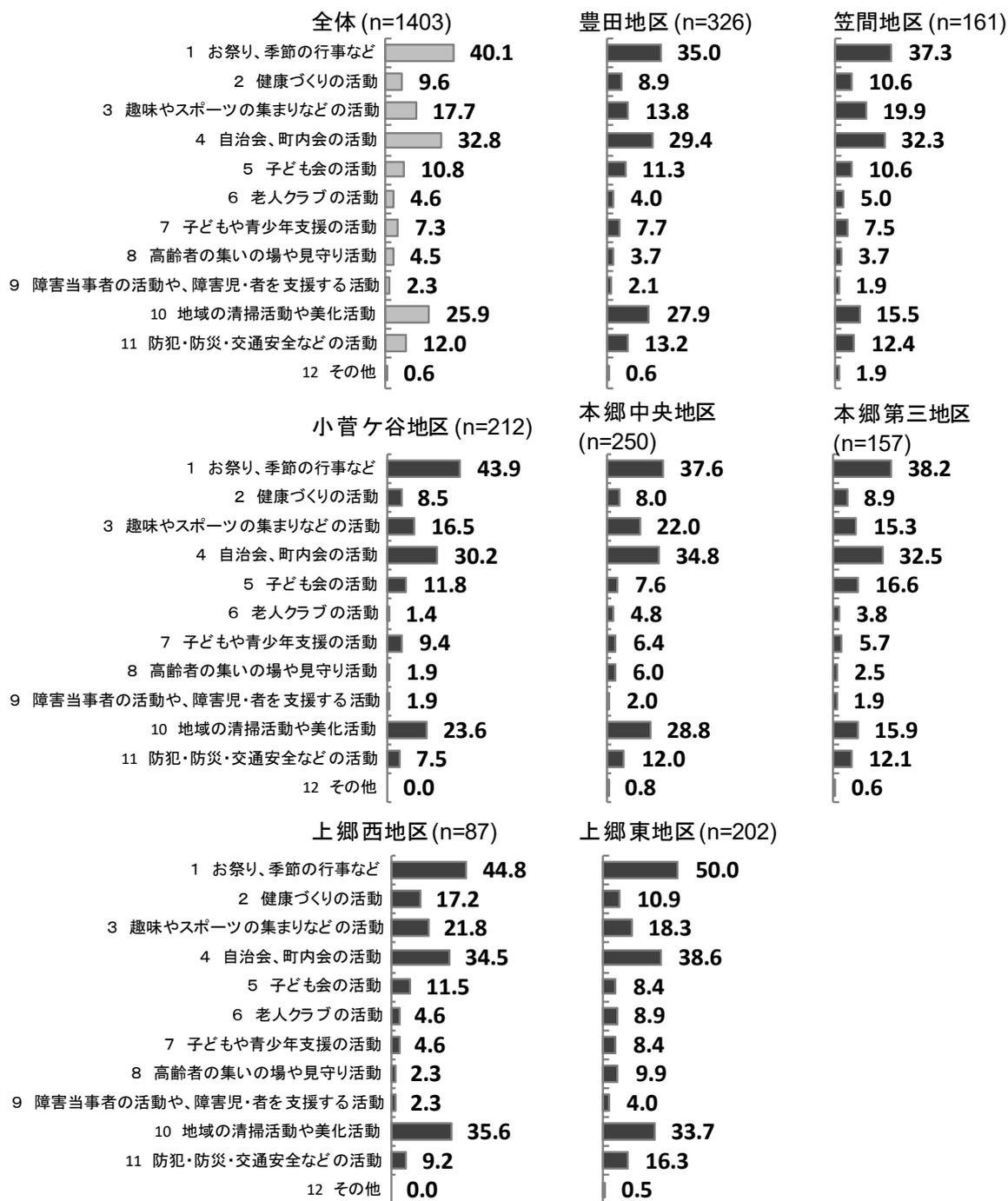
- ・性別では、「参加している」の割合は「防犯・防災・交通安全などの活動」をのぞく10項目（「その他」をのぞく）で女性が男性を上回っている。
- ・年齢別では「お祭り、季節の行事など」は「18～29歳」から「50～59歳」で「参加している」の割合が40%を超えているが、「60～69歳」と「70歳以上」では30%台となっている。一方「自治会、町内会の活動」と「地域の清掃活動や美化活動」は年齢が上がるにつれ「参加している」の割合が高くなる傾向が見られ、「60～69歳」と「70歳以上」では「自治会、町内会の活動」と「地域の清掃活動や美化活動」の2つの活動が30%台となっている。



ウ 参加者としての参加：居住地区別

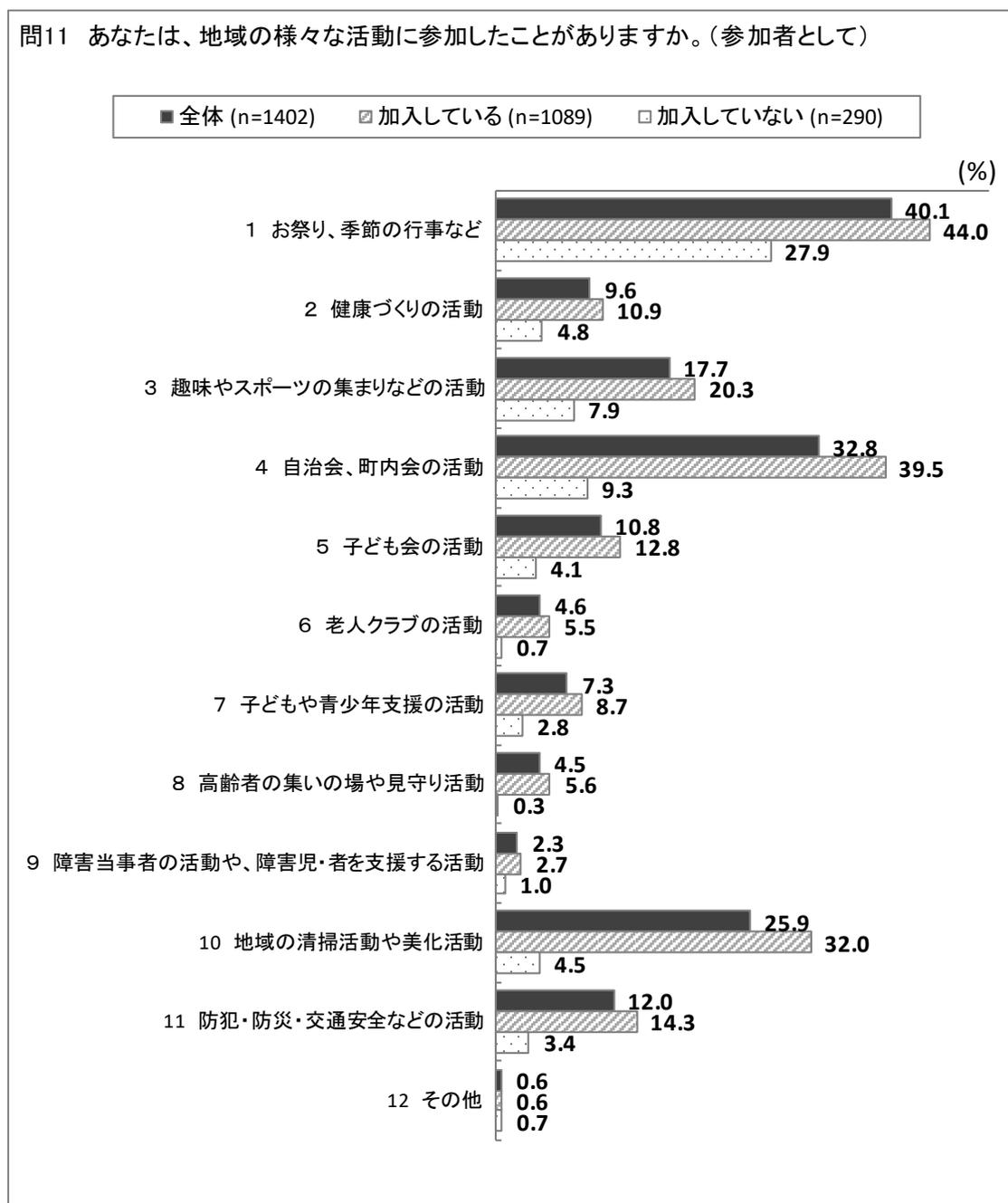
- ・居住地区別では、「お祭り、季節の行事など」は「上郷東地区」（50.0%）が「参加している」割合が最も高く、「上郷西地区」（44.8%）が続いている。「自治会、町内会の活動」も同傾向で、「上郷東地区」（38.6%）が最も多く、「本郷中央地区」（34.8%）、「上郷西地区」（34.5%）が続いている。

問11 あなたは、地域の様々な活動に参加したことがありますか。(参加者として) (%)



エ 参加者としての参加：町内会加入別

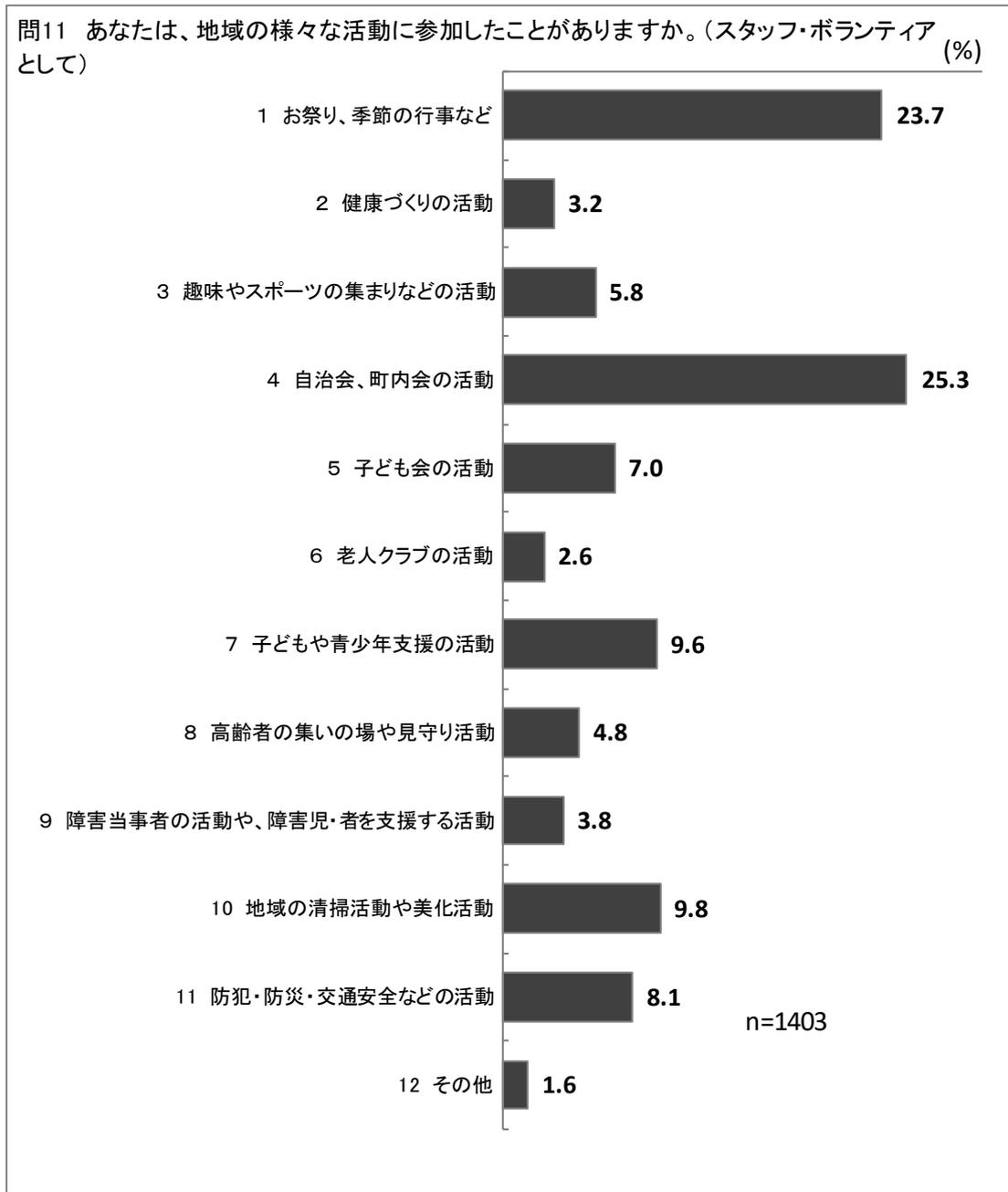
- ・町内会加入別では、参加者として「参加している」割合は「その他」をのぞく全ての項目で「加入している」が「加入していない」を上回っている。
- ・特に「自治会、町内会の活動」は「加入している」（39.5%）が「加入していない」（9.3%）を30ポイント以上多くなっている。「地域の清掃活動や美化活動」は「加入している」（32.0%）が「加入していない」（4.5%）を27.5ポイント上回っている。



(4) 地域活動へのスタッフ・ボランティアとしての参加（問11）

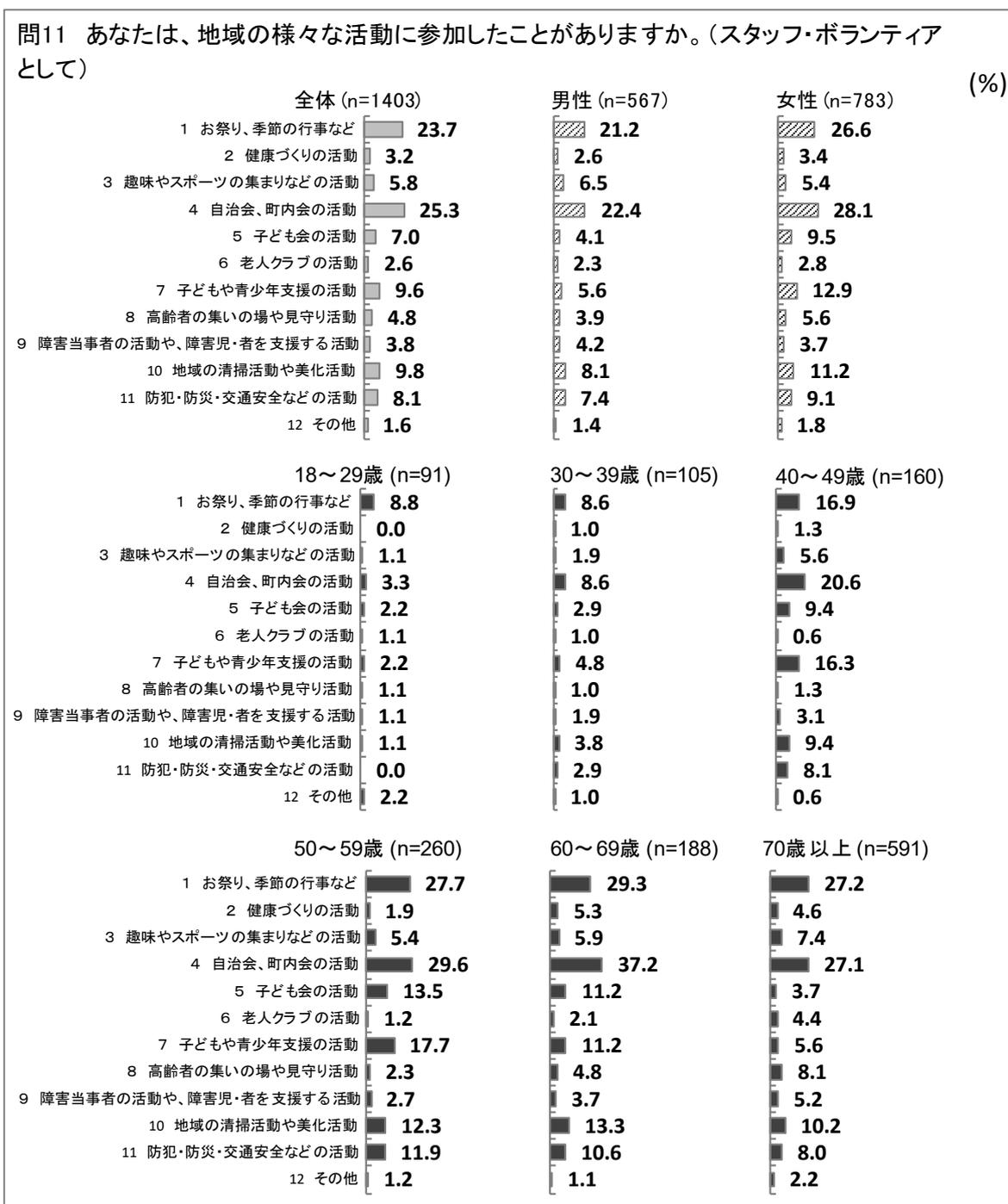
ア スタッフ・ボランティアとしての参加：全体

- ・スタッフ・ボランティアとして「参加している」割合が高いのは、「自治会、町内会の活動」（25.3%）、「お祭り、季節の行事など」（23.7%）が多く挙げられている。



イ スタッフ・ボランティアとしての参加：性別・年齢別

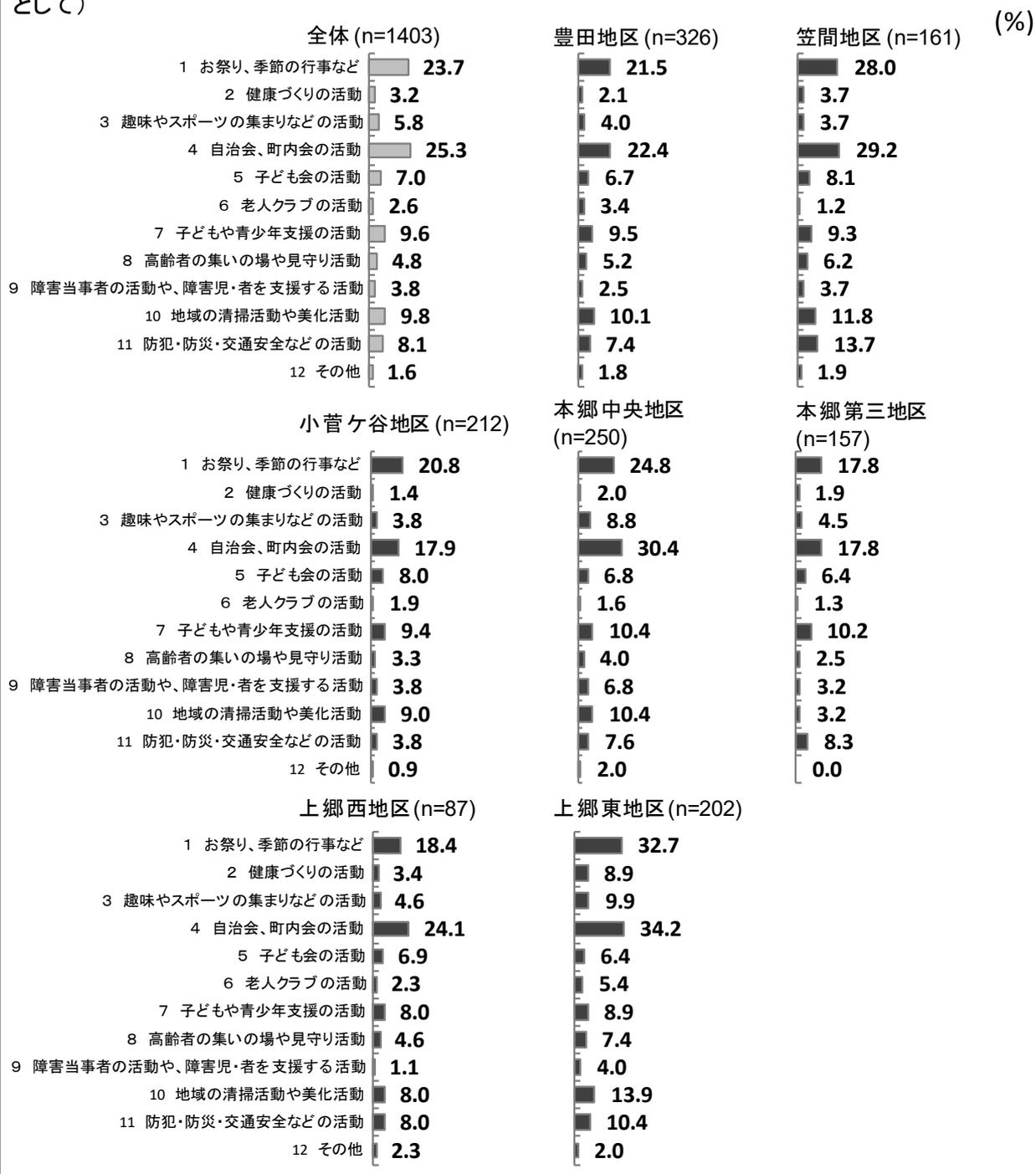
- ・性別では、「参加している」の割合は「趣味やスポーツの集まりなどの活動」「障害当事者の活動や、障害児・者を支援」をのぞく10項目（「その他」をのぞく）で女性が男性を上回っている。
- ・年齢別では「18～29歳」、「30～39歳」で「参加している」の割合は11項目（「その他」をのぞく）とも10%未満であるが、「40～49歳」では「自治会、町内会の活動」の「参加している」割合が20.6%となっている。「40～49歳」と「50～59歳」では「子どもや青少年支援の活動」が「お祭り、季節の行事など」、「自治会、町内会の活動」に次いで「参加している」割合が多くなっている。



ウ スタッフ・ボランティアとしての参加：居住地区別

- ・居住地区別では、「お祭り、季節の行事など」は「上郷東地区」(32.7%)が最も多く、「笠間地区」(28.0%)が続いている。
- ・「自治会、町内会の活動」は「上郷東地区」(34.2%)が最も多く、「本郷中央地区」(30.4%)、「笠間地区」(29.2%)が続いている。

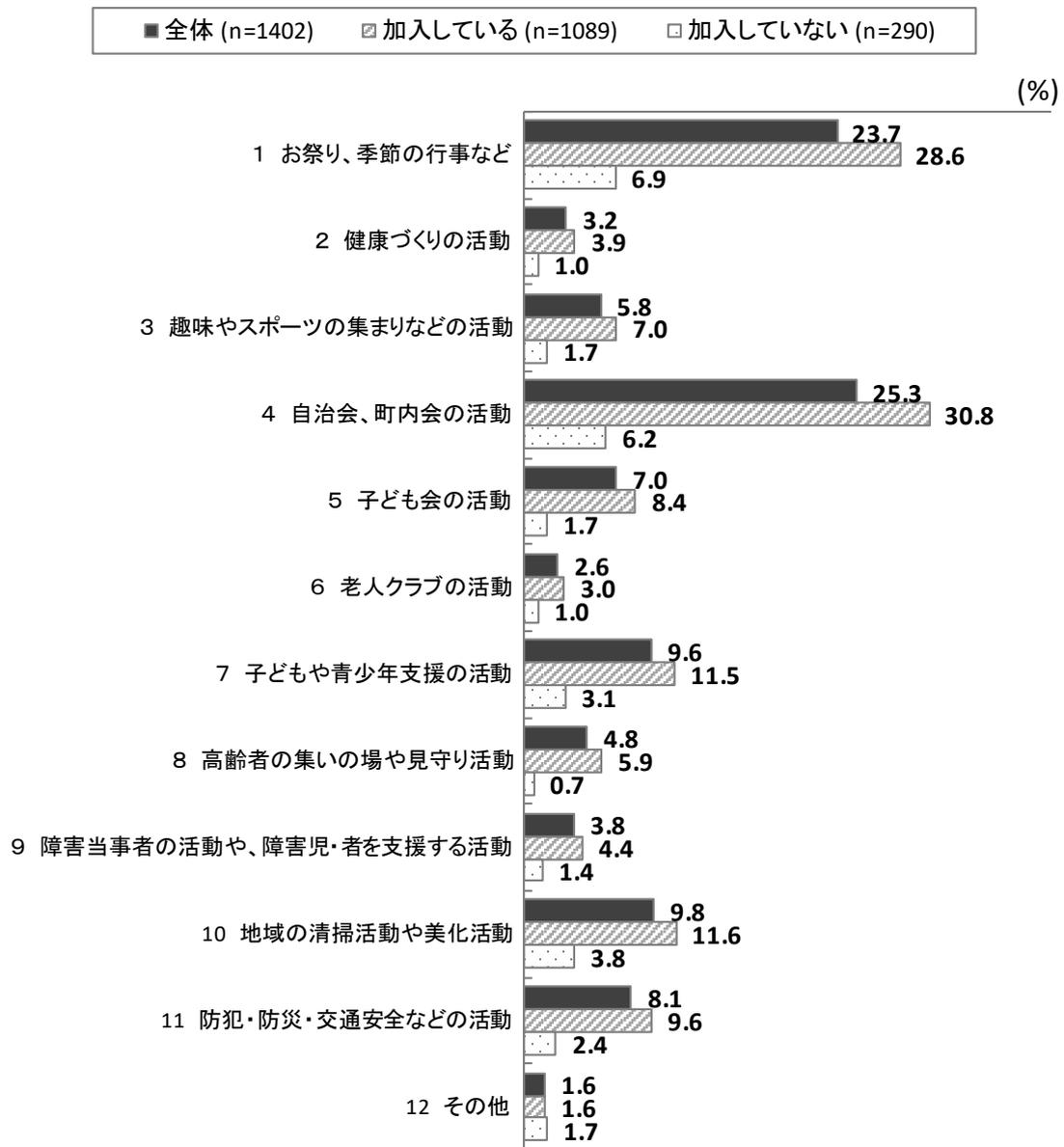
問11 あなたは、地域の様々な活動に参加したことがありますか。(スタッフ・ボランティアとして)



エ スタッフ・ボランティアとしての参加：町内会加入別

- ・町内会加入別では、スタッフ・ボランティアとして「参加している」割合は「その他」をのぞく全ての項目で「加入している」が「加入していない」を上回っている。
- ・特に「自治会、町内会の活動」は「加入している」(30.8%)が「加入していない」(6.2%)を24.6ポイント多くなっている。「お祭り、季節の行事など」は「加入している」(28.6%)が「加入していない」(6.9%)を21.7ポイント上回っている。

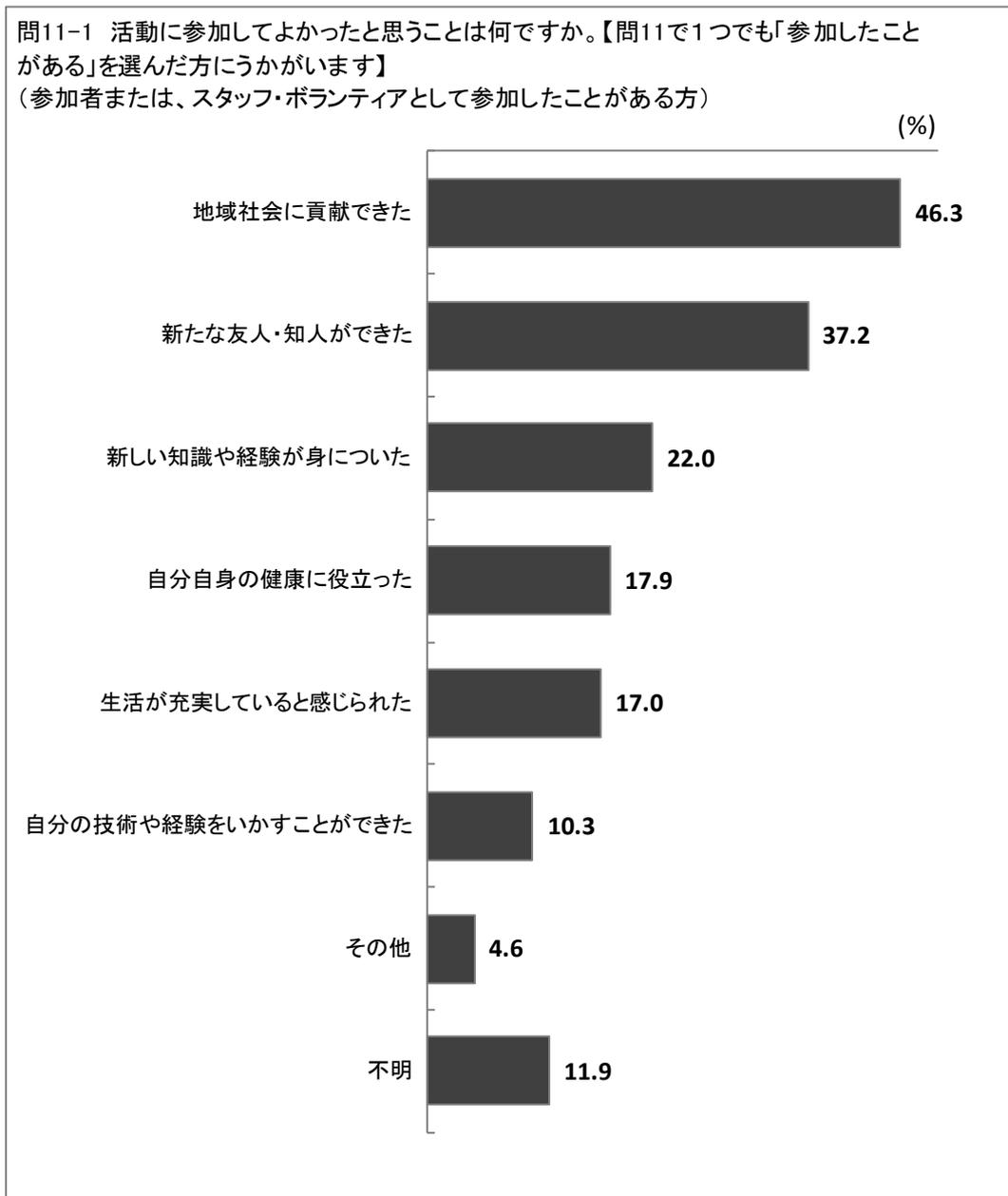
問11 あなたは、地域の様々な活動に参加したことがありますか。(スタッフ・ボランティアとして)



(5) 活動に参加してよかったこと（問11-1）

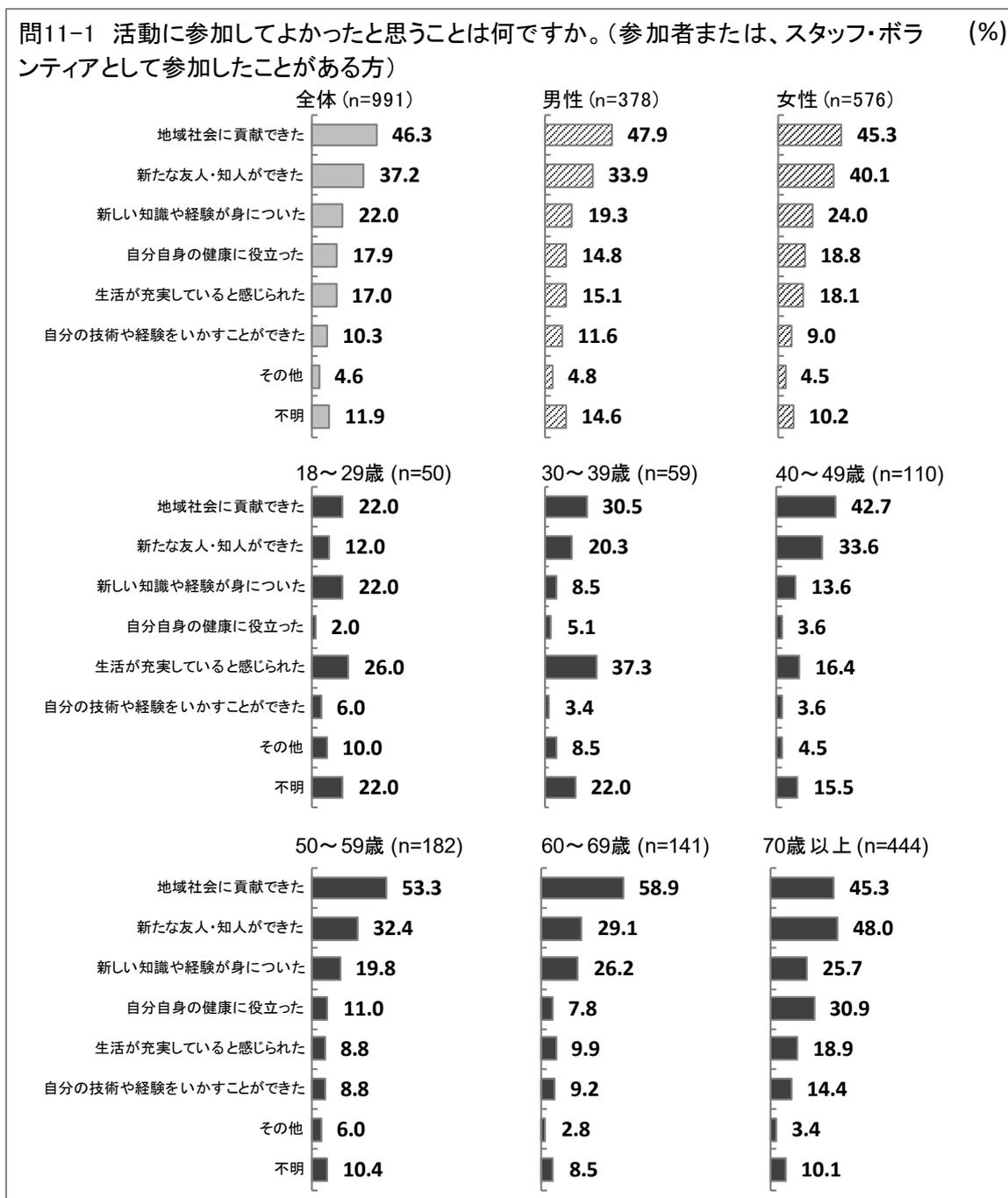
ア 活動に参加してよかったこと：全体

・参加者でも、ボランティア・スタッフでも1つでも「参加したことがある」と回答した方にたずねたところ、「地域社会に貢献できた」（46.3%）が最も多く、「新たな友人・知人ができた」（37.2%）、「新しい知識や経験が身についた」（22.0%）が上位に挙げられている。



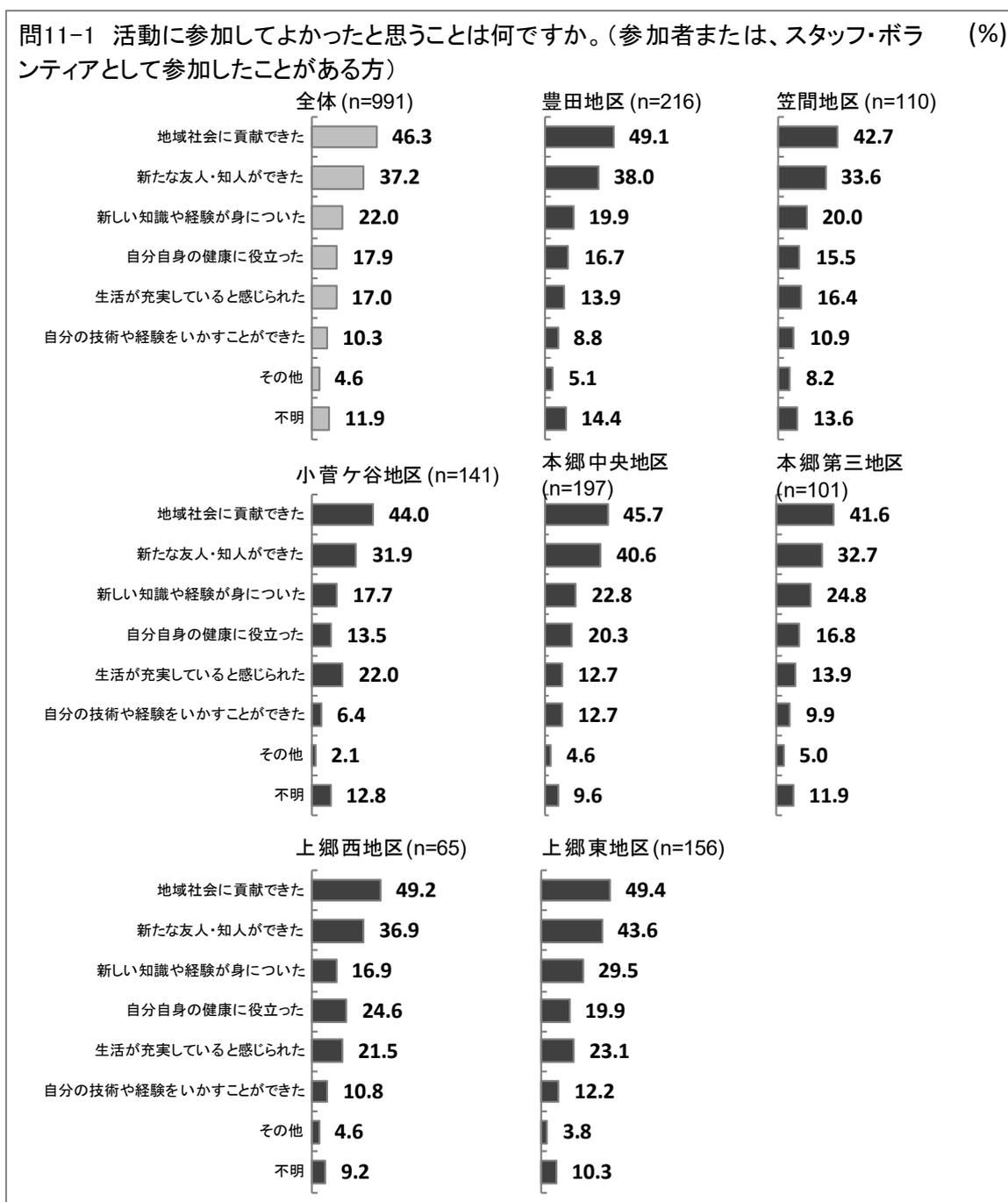
イ 活動に参加してよかったこと：性別・年齢別

- ・年齢別では、「18～29歳」と「30～39歳」では「生活が充実していると感じられた」が最も多い回答となっており、年齢による差があらわれている。



ウ 活動に参加してよかったこと：居住地区別

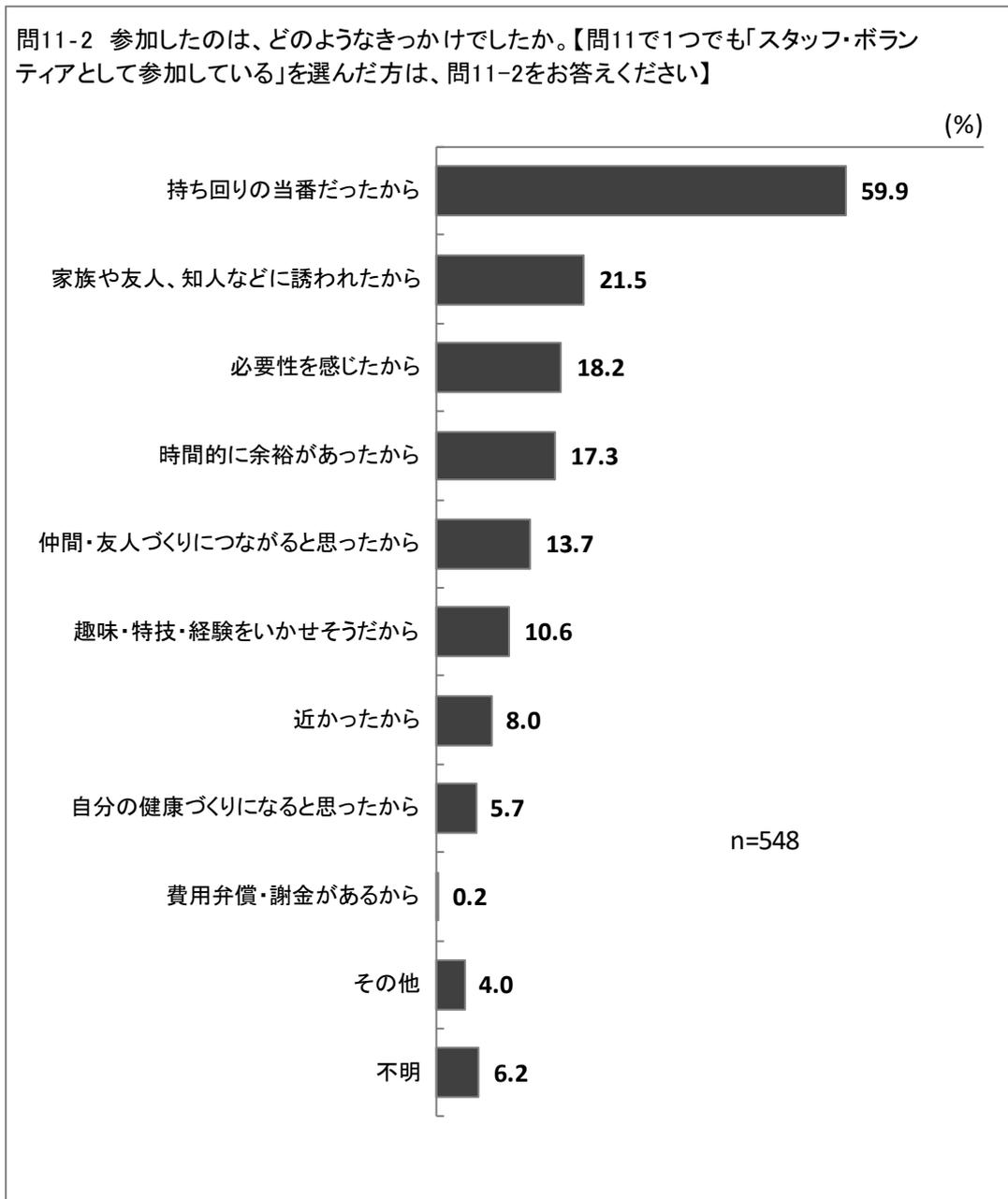
- ・居住地区別ではどの地区も「地域社会に貢献できた」が最も多く、次いで「新たな友人・知人ができた」が挙げられている。



(6) 活動に参加したきっかけ（問11-2）

ア 活動に参加したきっかけ：全体

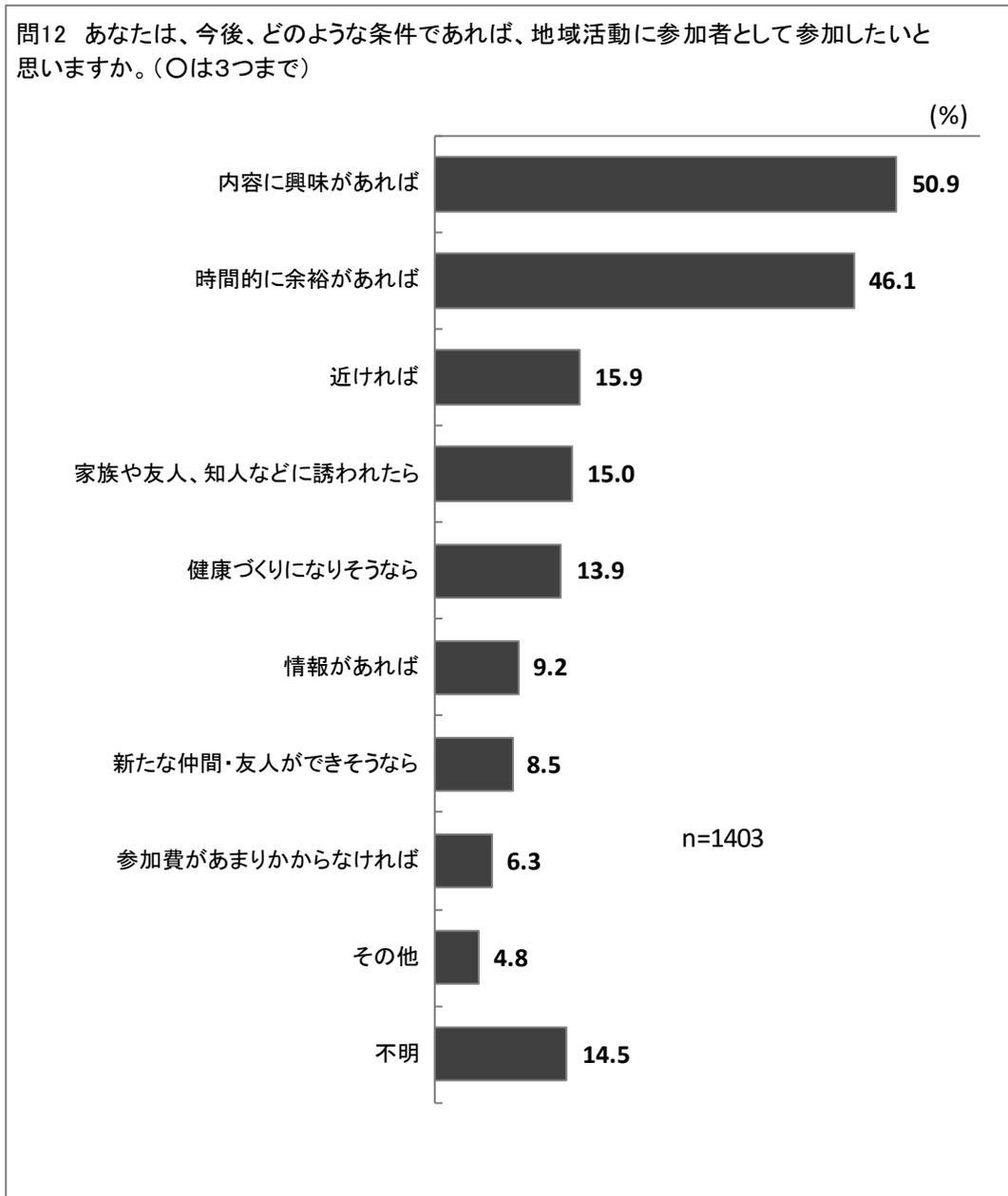
- ・ボランティア・スタッフで1つでも「参加したことがある」と回答した方にたずねたところ、「持ち回りの当番だったから」（59.9%）が最も多く、続く「家族や友人・知人などに誘われたから」（21.5%）を大きく引きはなしている。



(7) 今後、参加者として地域活動に参加したいと思う条件（問12）

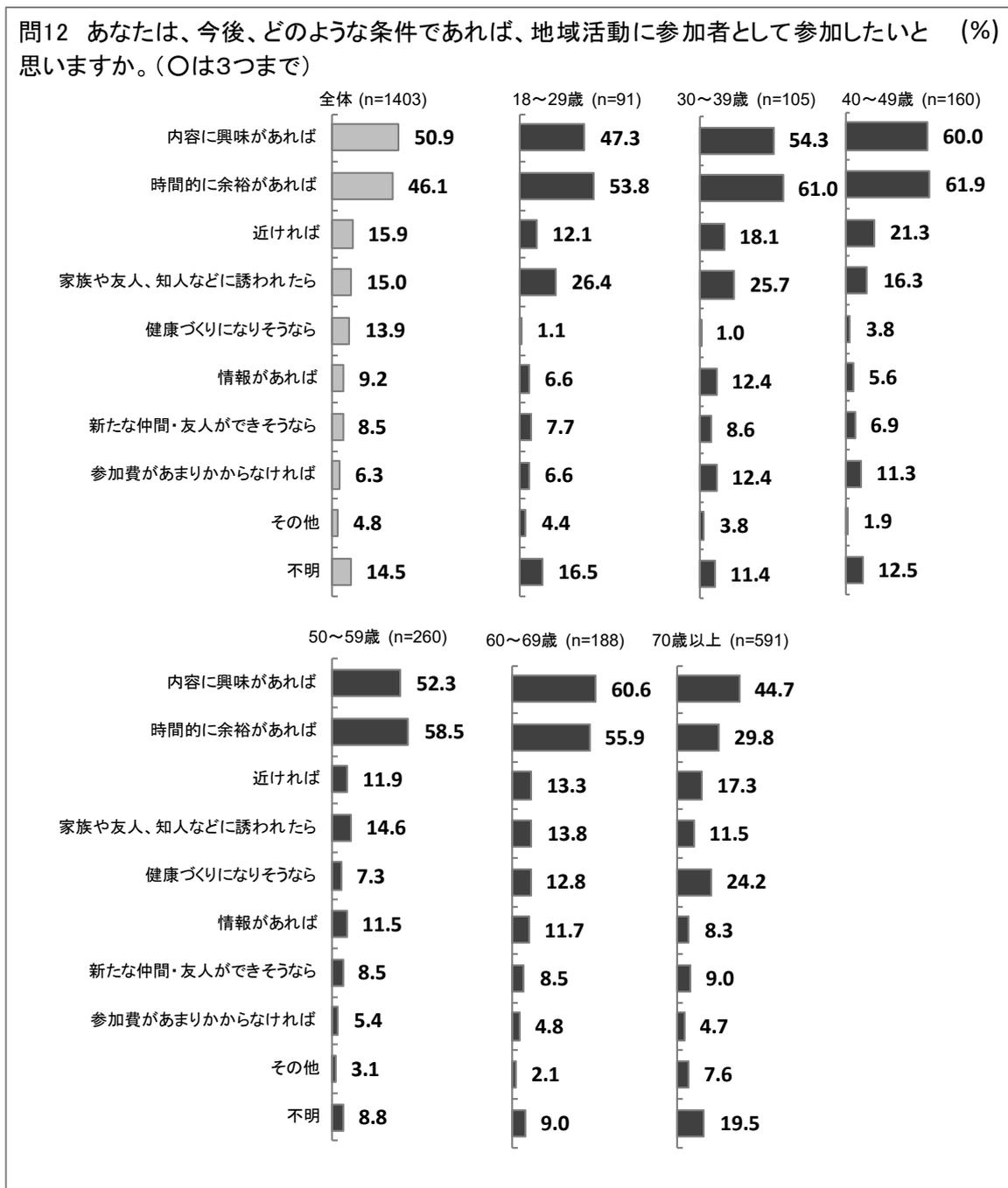
ア 今後、参加者として地域活動に参加したいと思う条件：全体

- ・「内容に興味があれば」（50.9%）と「時間的に余裕があれば」（46.1%）の2つの回答が、続く「近ければ」（15.9%）以降を大きく引きはなしている。



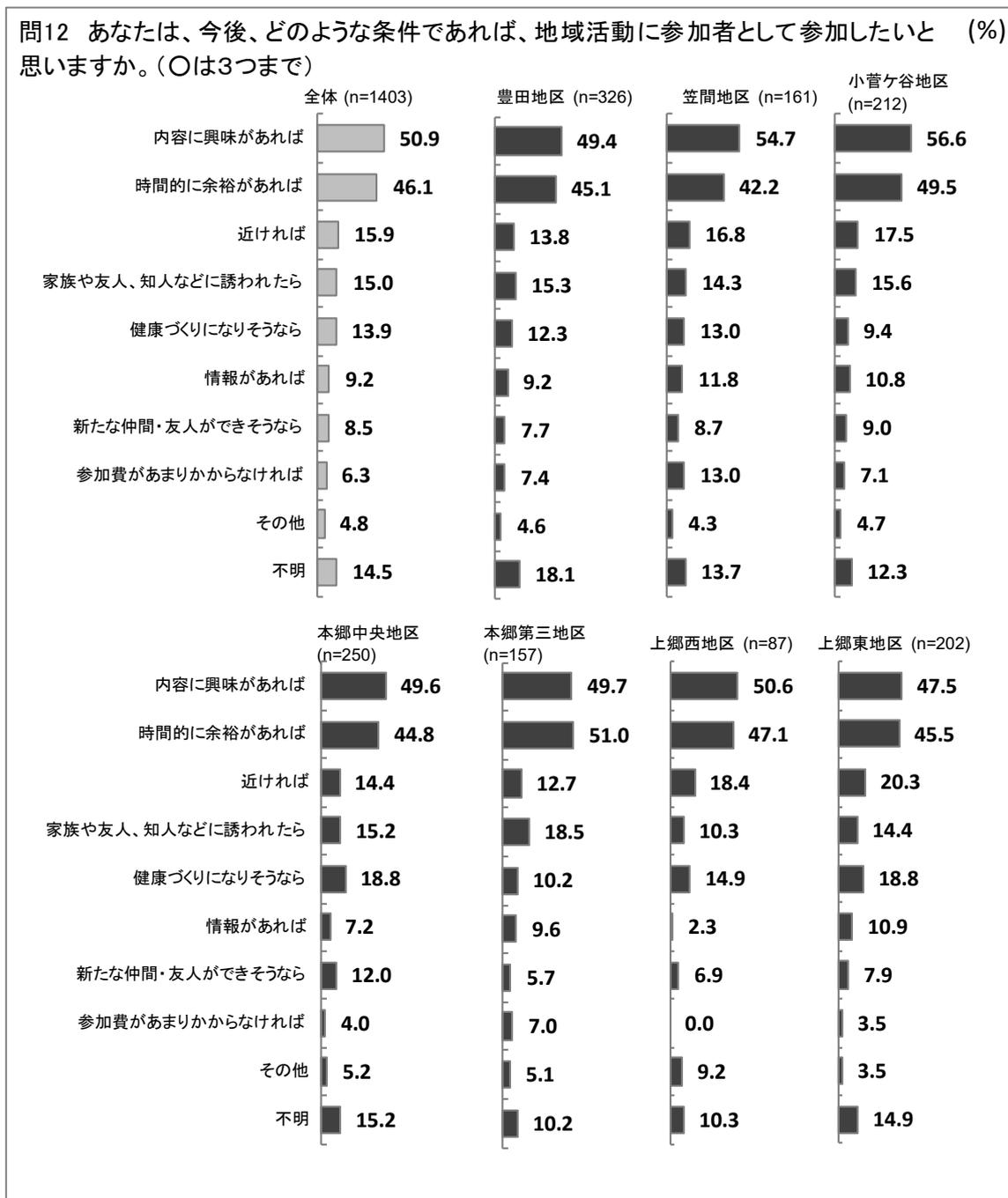
イ 今後、参加者として地域活動に参加したいと思う条件：年齢別

- ・年齢別では、「60～69歳」と「70歳以上」をのぞくと、「時間的に余裕があれば」が最も多い回答となっており、特に「30～39歳」と「40～49歳」「50～59歳」は全体を10ポイント以上多くなっている。
- ・「18～29歳」と「30～39歳」は3位に「家族や友人、知人などに誘われたら」が挙げられ、全体より10ポイント以上多くなっている。
- ・「70歳以上」では3位に「健康づくりになりそうなら」が挙げられ、全体より10ポイント以上多くなっている。



ウ 今後、参加者として地域活動に参加したいと思う条件：居住地区別

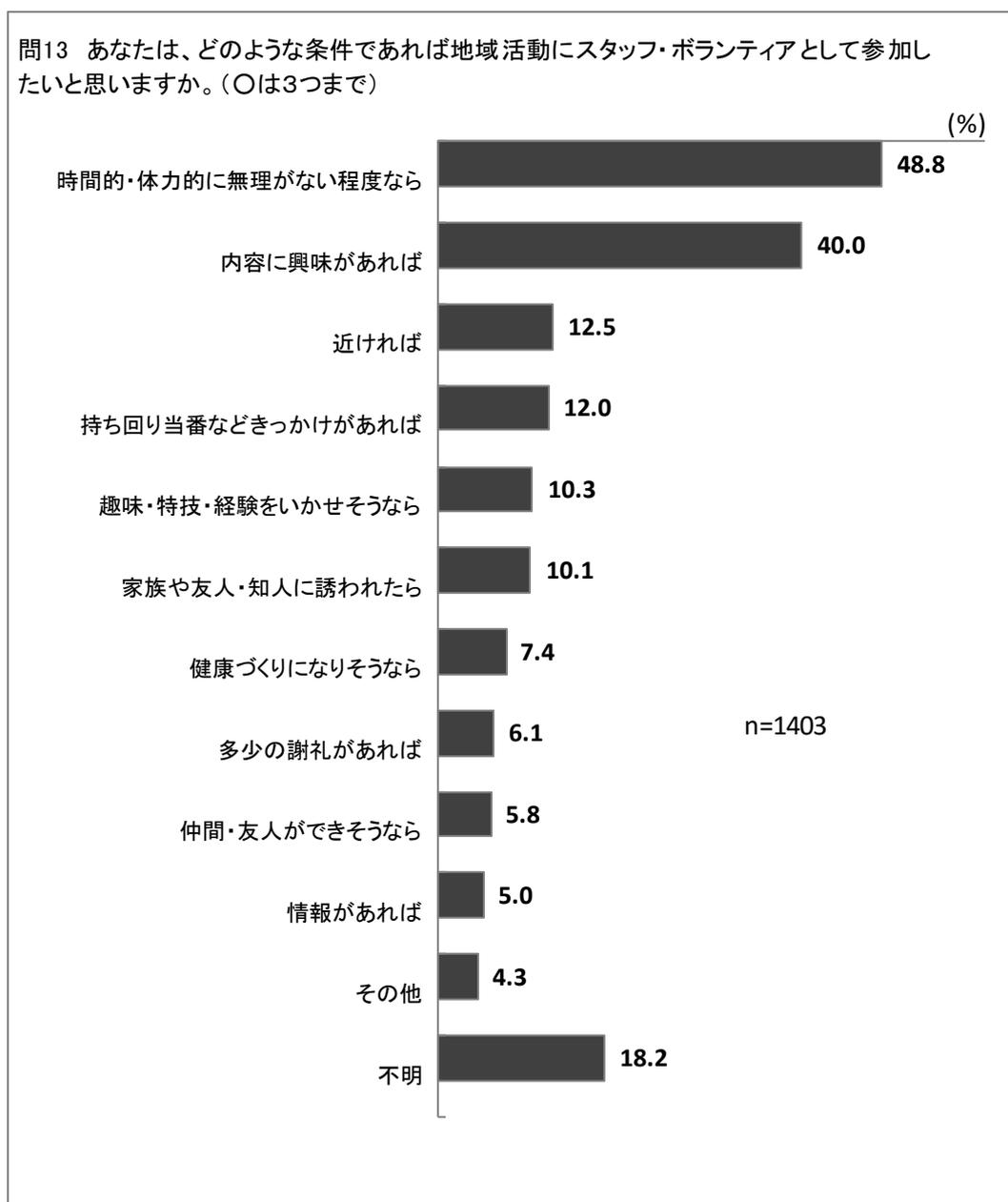
- ・居住地区別では「本郷第三地区」をのぞくといずれの地区も「内容に興味があれば」が最も多い回答となっている。「本郷第三地区」は「時間的に余裕があれば」が最も多い回答である。



(8) 今後、スタッフ・ボランティアとして地域活動に参加したいと思う条件
(問 13)

ア 今後、スタッフ・ボランティアとして地域活動に参加したいと思う条件：全体

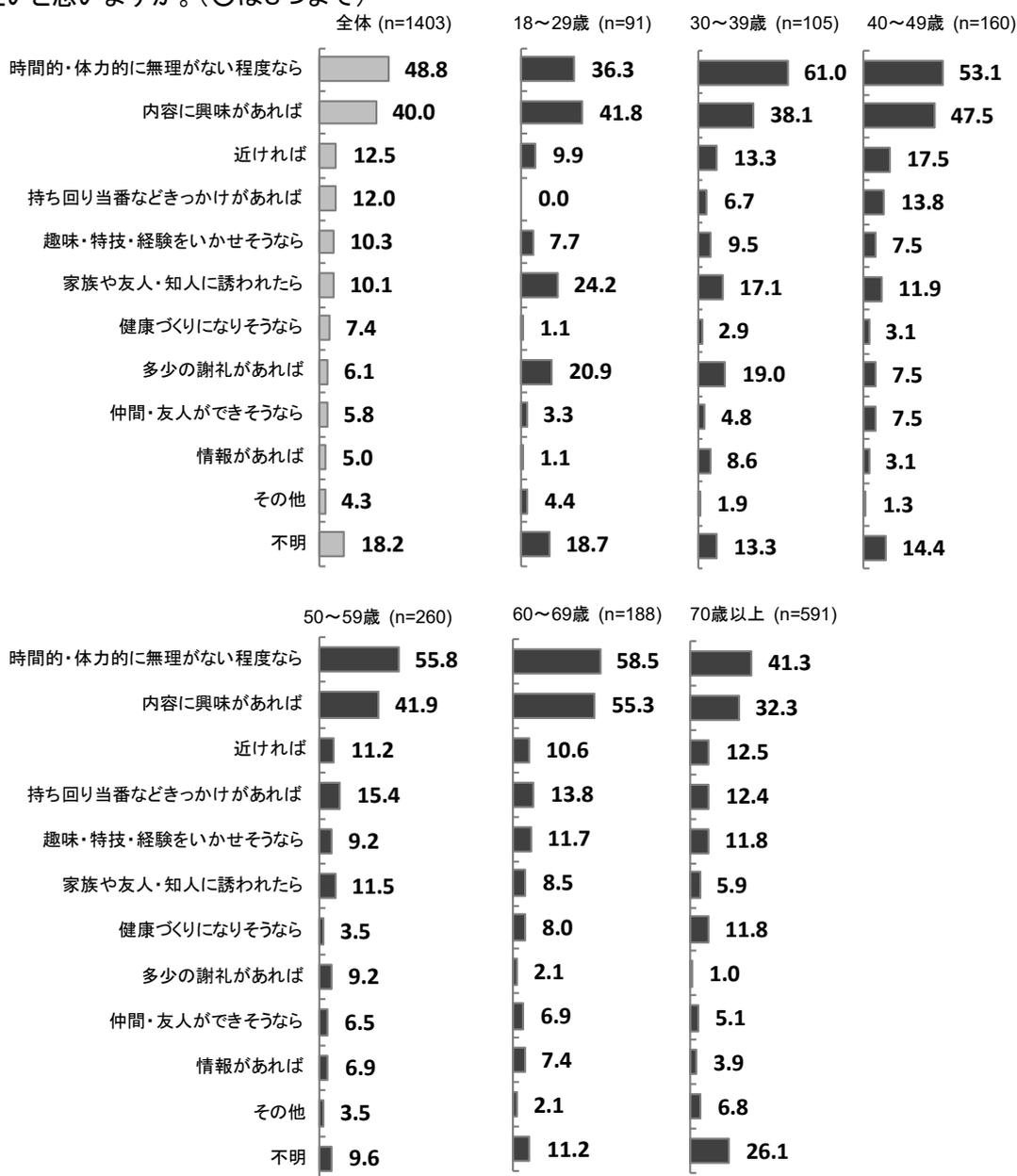
- ・「時間的・体力的に無理がない程度なら」(48.8%)と「内容に興味があれば」(40.0%)が、続く「近ければ」(12.5%)を大きく引きはなしている。



イ 今後、スタッフ・ボランティアとして地域活動に参加したいと思う条件：年齢別

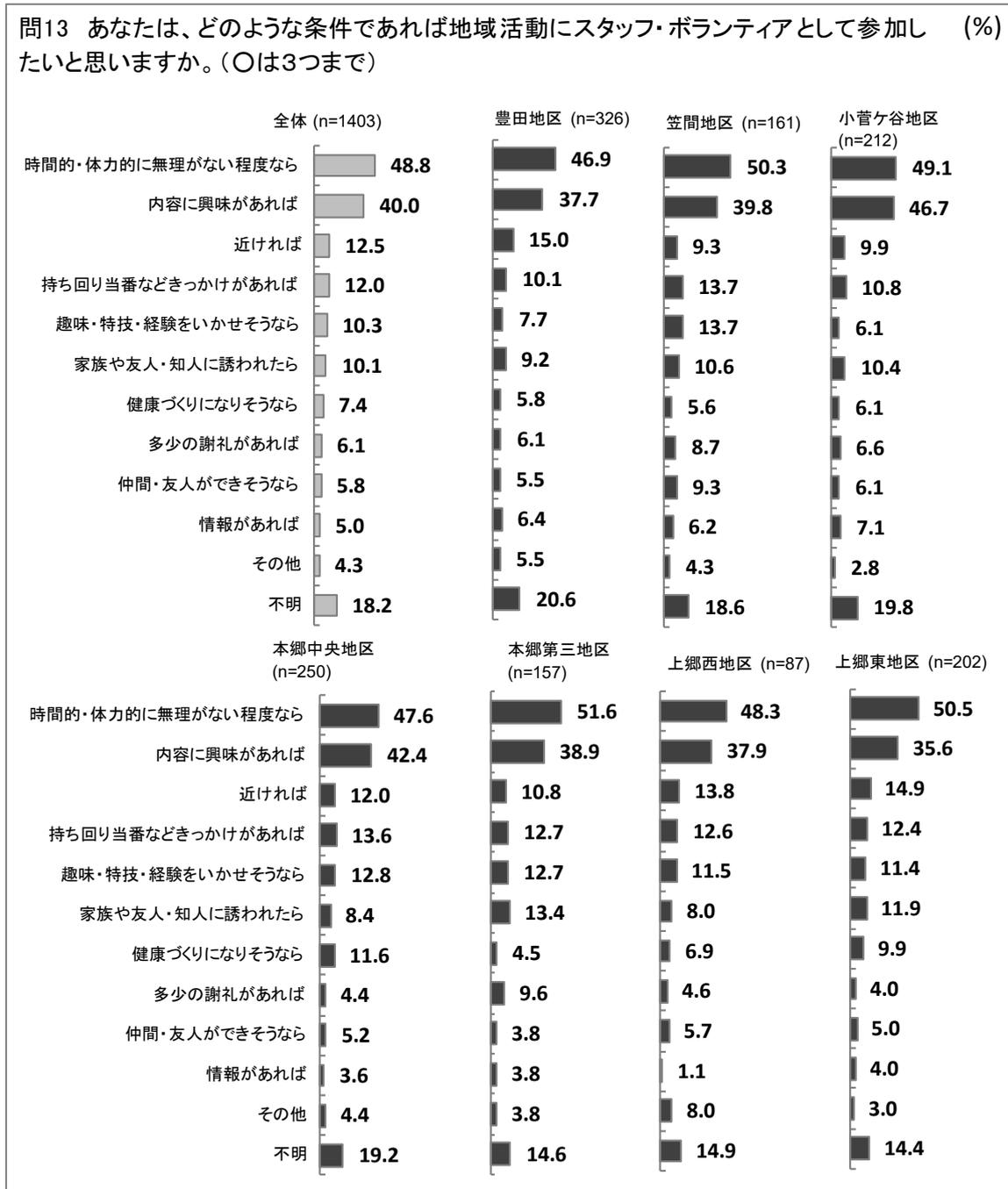
- ・年齢別では、「18～29歳」をのぞくと「時間的・体力的に無理がない程度なら」が最も多い回答である。「18～29歳」は「内容に興味があれば」（41.8%）が最も多い回答である。
- ・「30～39歳」は「時間的・体力的に無理がない程度なら」（61.0%）が全体（48.8%）より12.2ポイント以上多くなっている。
- ・「18～29歳」では「家族や友人・知人に誘われたら」（24.2%）が3位に挙げられている。

問13 あなたは、どのような条件であれば地域活動にスタッフ・ボランティアとして参加したいと思いますか。（○は3つまで）



ウ 今後、ボランティアとして地域活動に参加したいと思う条件：居住地区別

- ・居住地区別ではどの地区も「時間的・体力的に無理がない程度なら」が最も多い回答で、「内容に興味があれば」が続いている。

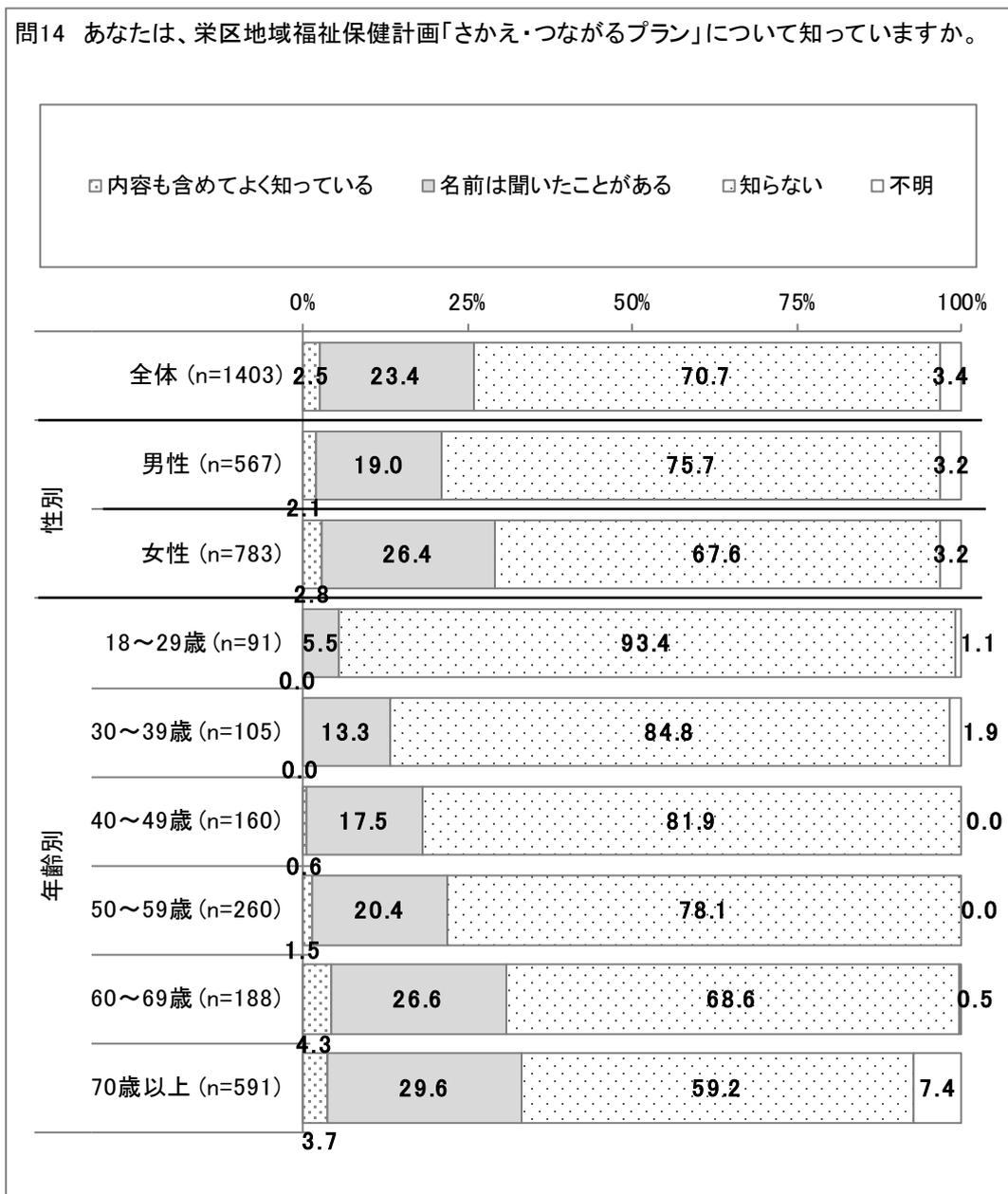


3 福祉保健について

(1) 栄区地域福祉保健計画「さかえ・つながるプラン」の認知（問14）

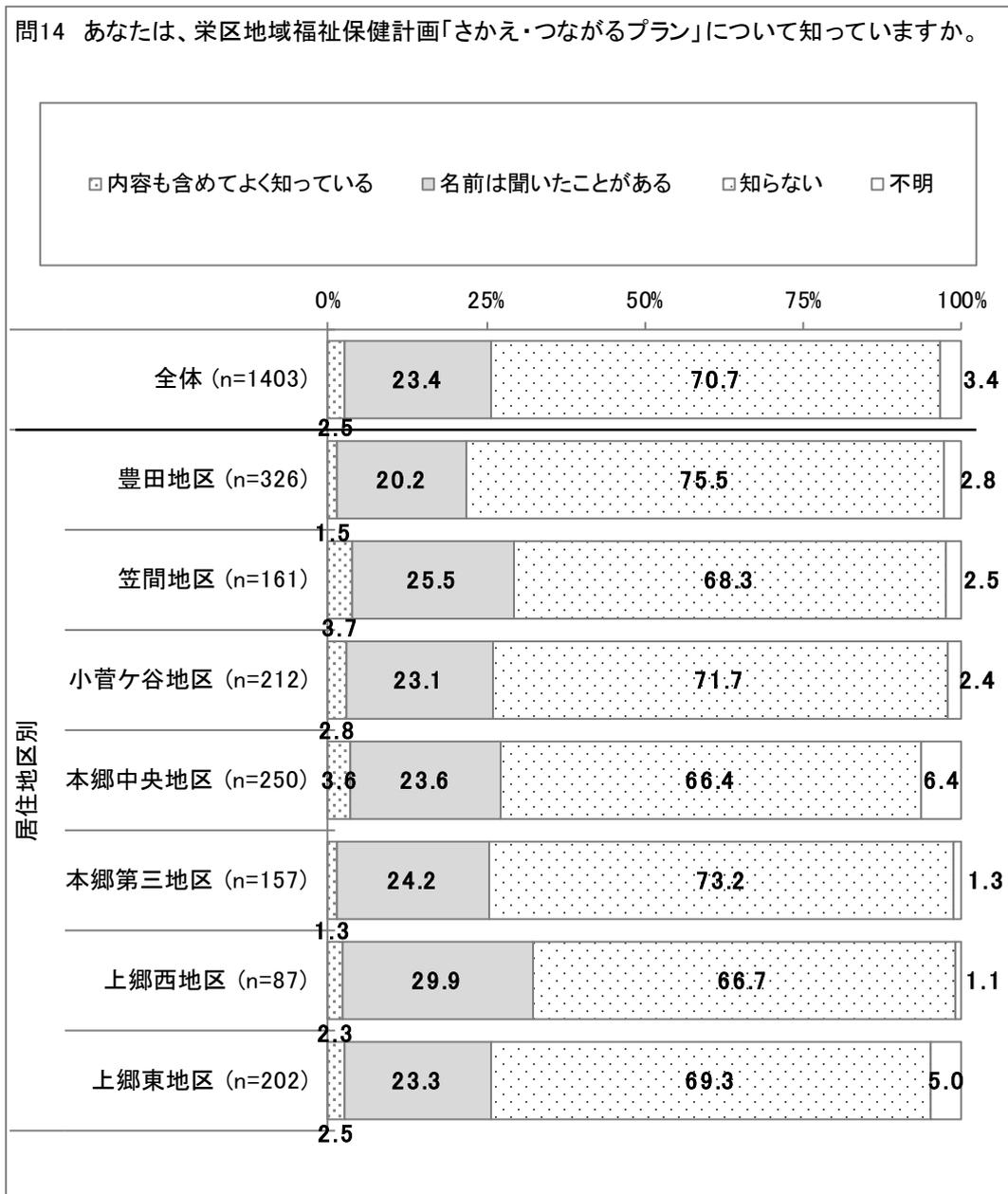
ア 栄区地域福祉保健計画「さかえ・つながるプラン」の認知：全体・年齢別

- ・全体では「内容も含めてよく知っている」（2.5%）と「名前は聞いたことがある」（23.4%）を合わせると『知っている』は25.9%である。
- ・年齢別では、年代が上がるにつれ「内容も含めてよく知っている」、「名前は聞いたことがある」の割合が多くなっている。「60～69歳」と「70歳以上」では『知っている』が30%を超えている。



イ 栄区地域福祉保健計画「さかえ・つながるプラン」の認知：居住地区別

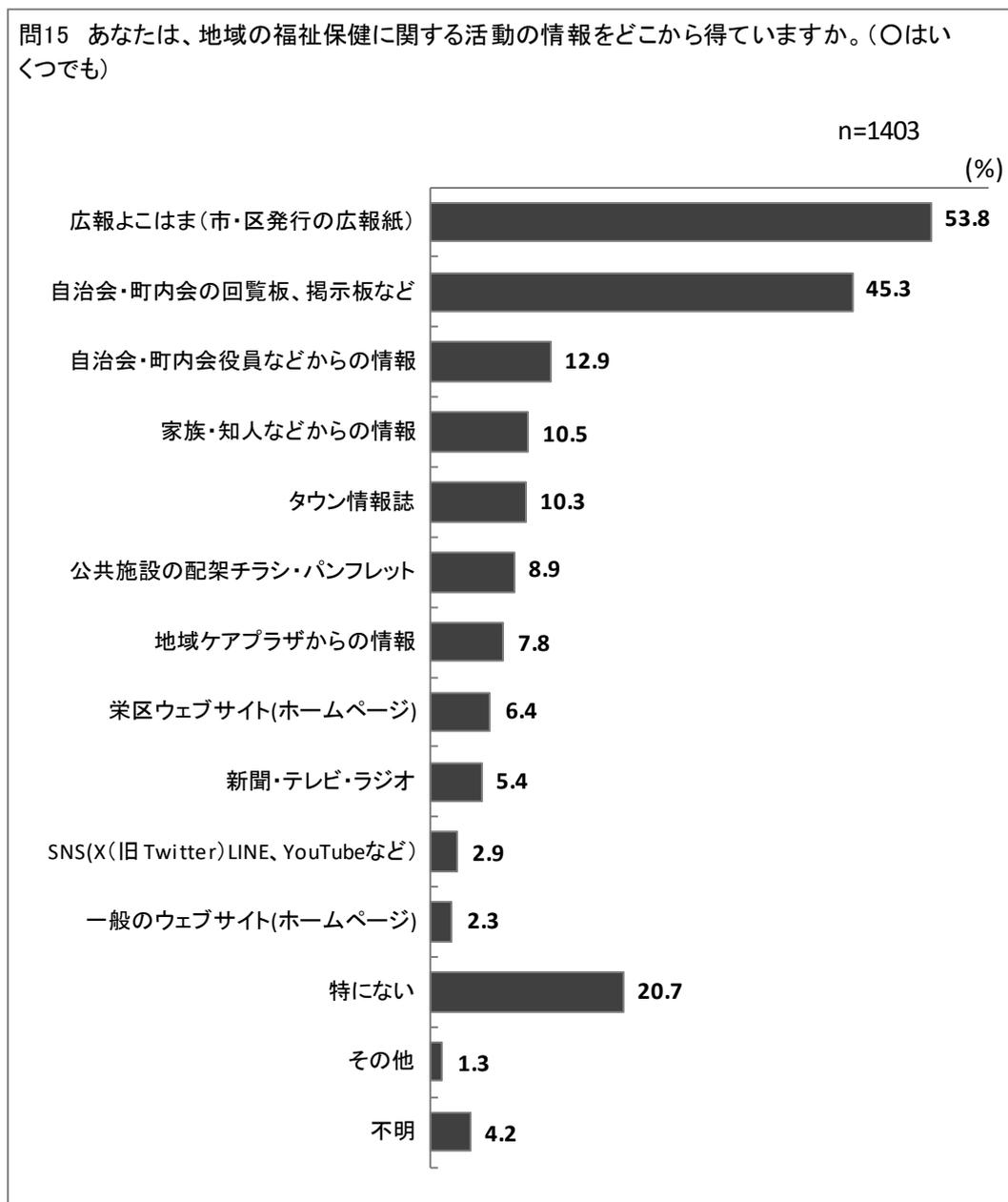
- ・上郷西地区では『知っている』が30%を超えている。



(2) 情報をどこから得ているか (問 15)

ア 情報をどこから得ているか：全体

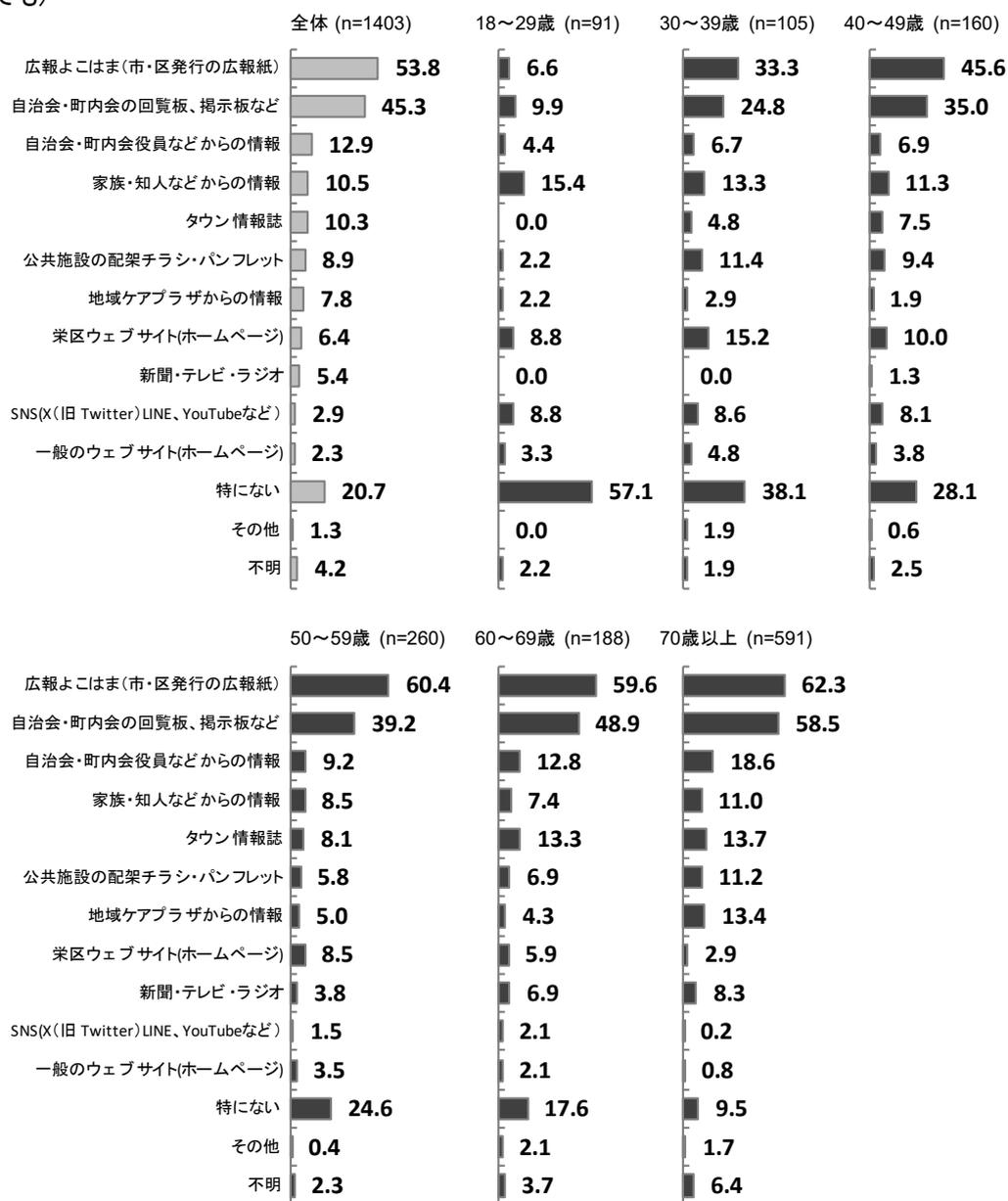
- ・「広報よこはま（市・区発行の広報紙）」（53.8%）と「自治会・町内会の回覧板、掲示板など」（45.3%）が、続く「自治会・町内会役員などからの情報」（12.9%）を大きく引きはなしている。
- ・「特にない」（20.7%）は約2割の回答である。



イ 情報をどこから得ているか：年齢別

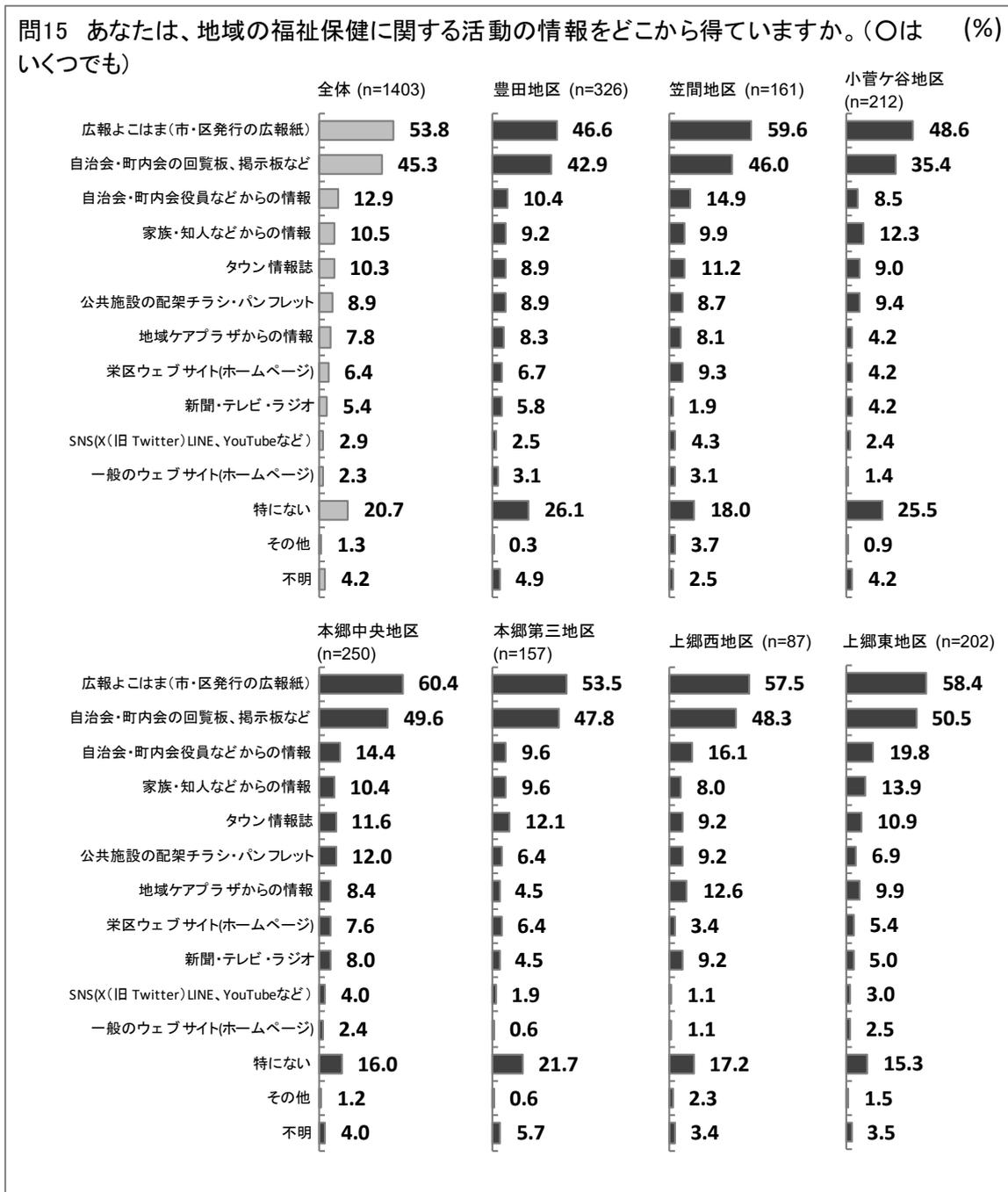
- ・年齢別では、「40～49歳」より上の年代は「広報よこはま（市・区発行の広報紙）」が最も多くなっている。
- ・「18～29歳」では「特にない」（57.1%）が最も多く、次いで「家族・知人などからの情報」（15.4%）となっている。
- ・「30～39歳」では「特にない」（38.1%）が最も多く、次いで「広報よこはま（市・区発行の広報紙）」（33.3%）となっている。

問15 あなたは、地域の福祉保健に関する活動の情報をどこから得ていますか。（○は（%）いくつでも）



ウ 情報をどこから得ているか：居住地区別

- ・いずれの地区も「広報よこはま（市・区発行の広報紙）」と「自治会・町内会の回覧板、掲示板など」が上位2位となっている。
- ・「本郷中央地区」では「広報よこはま（市・区発行の広報紙）」が60.4%と全体より5ポイント以上多くなっている。

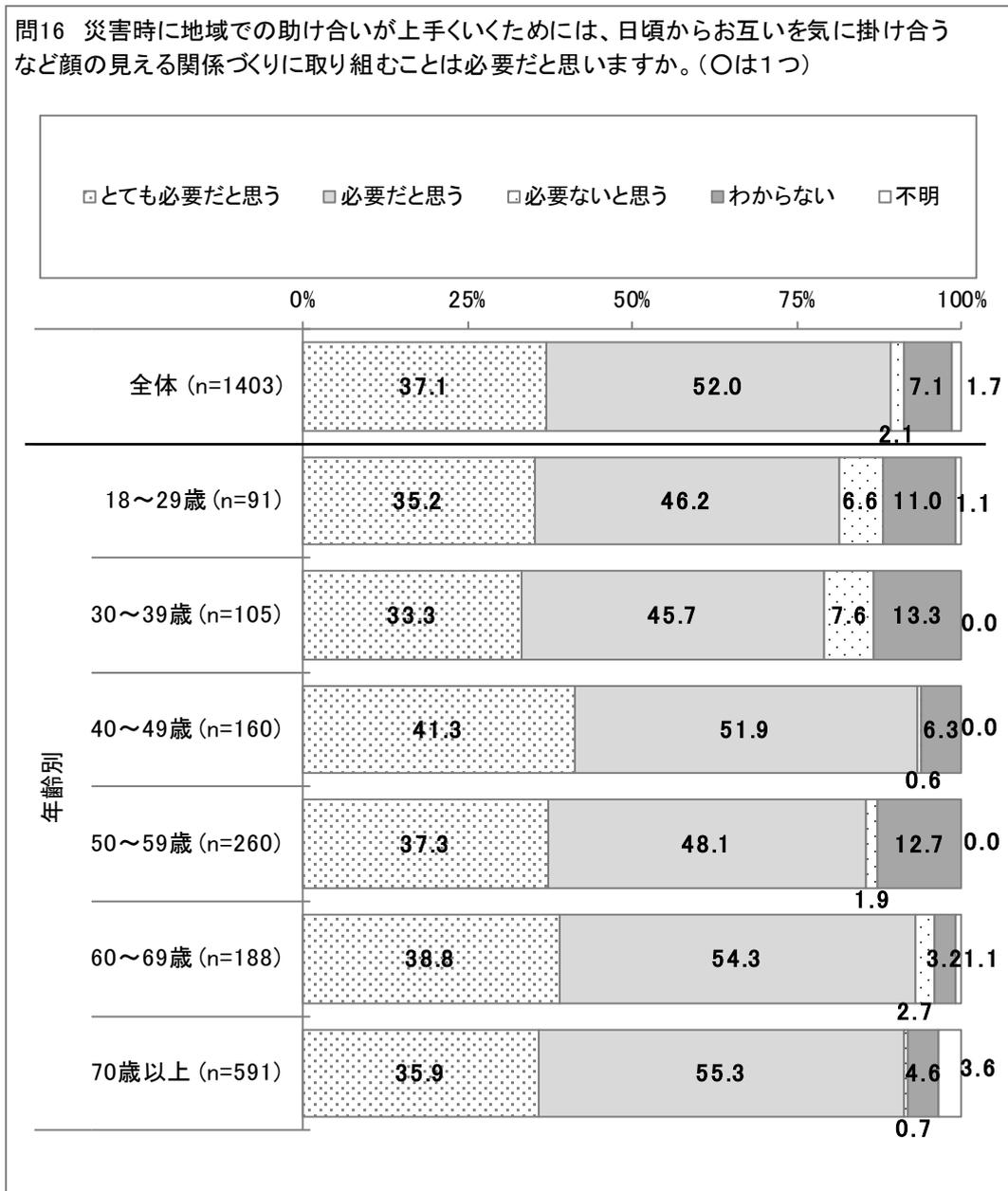


4 安全・安心・健康について

(1) 顔の見える関係づくりに取り組むことは必要か（問 16）

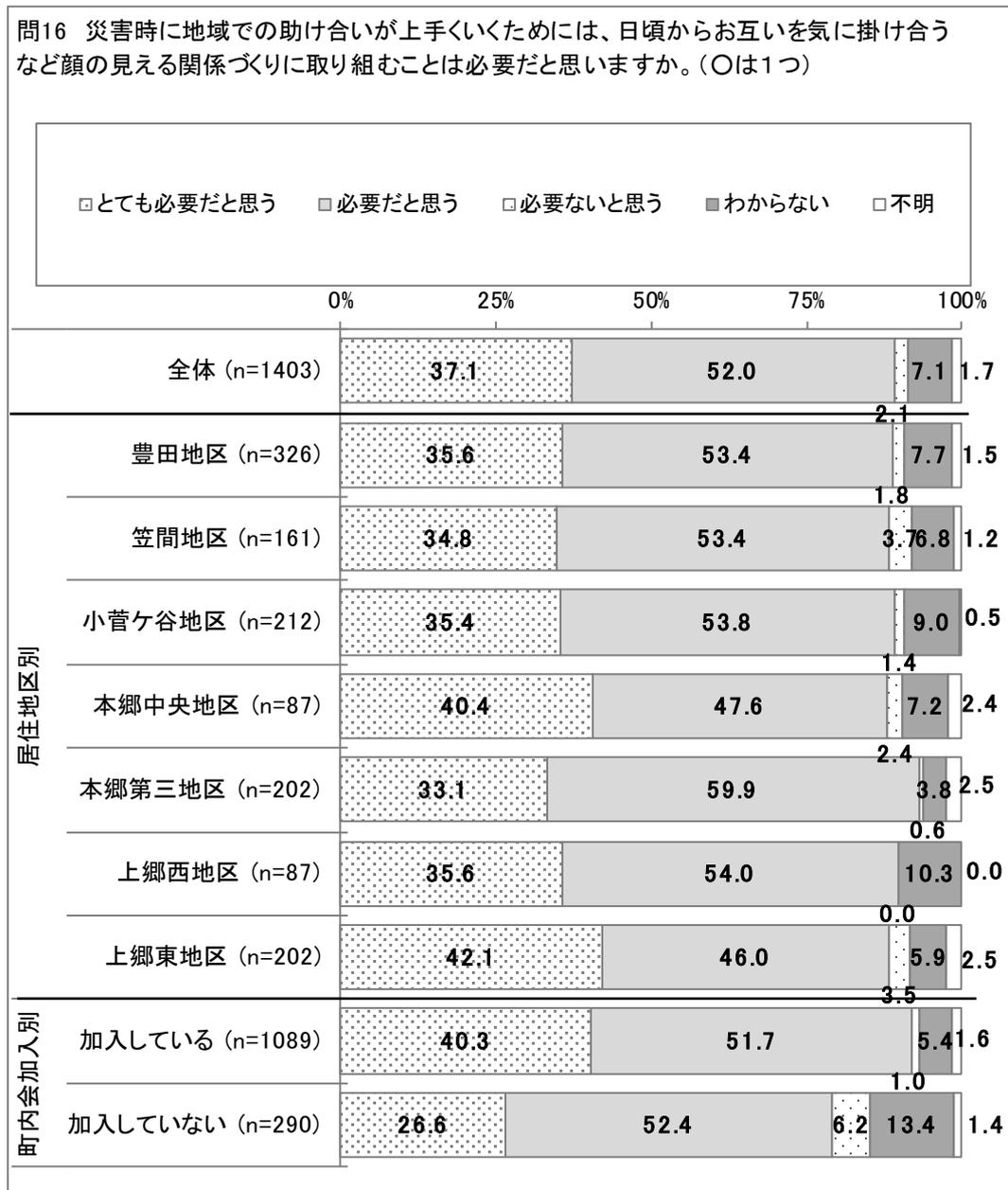
ア 顔の見える関係づくりに取り組むことは必要か：全体・年齢別

- ・全体では「とても必要だと思う」（37.1%）と「必要だと思う」（52.0%）を合わせた『必要』の割合は89.1%である。
- ・年齢別では、いずれの年代も『必要』の割合は約8割である。「40～49歳」では『必要』が最も多く、93.2%である。



イ 顔の見える関係づくりに取り組むことは必要か：居住地区別・町内会加入別

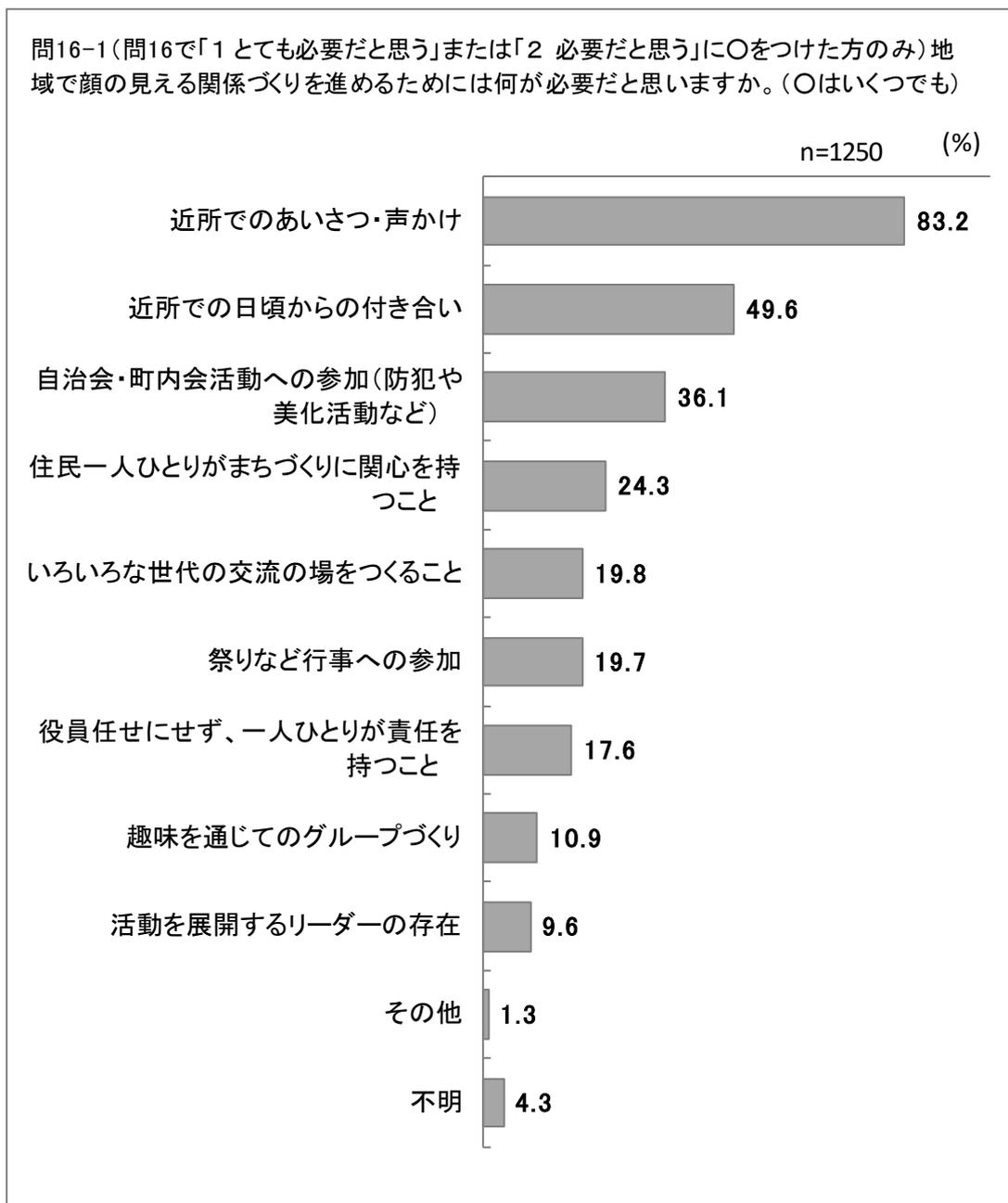
- ・いずれの地区も『必要』が9割程度の回答である。「本郷第三地区」が『必要』が93.0%と最も多い。
- ・町内会加入別では、『必要』の割合が「加入している」（92.0%）は「加入していない」（79.0%）より13.0ポイント多くなっている。



(2) 顔の見える関係づくりのために必要なこと（問16-1）

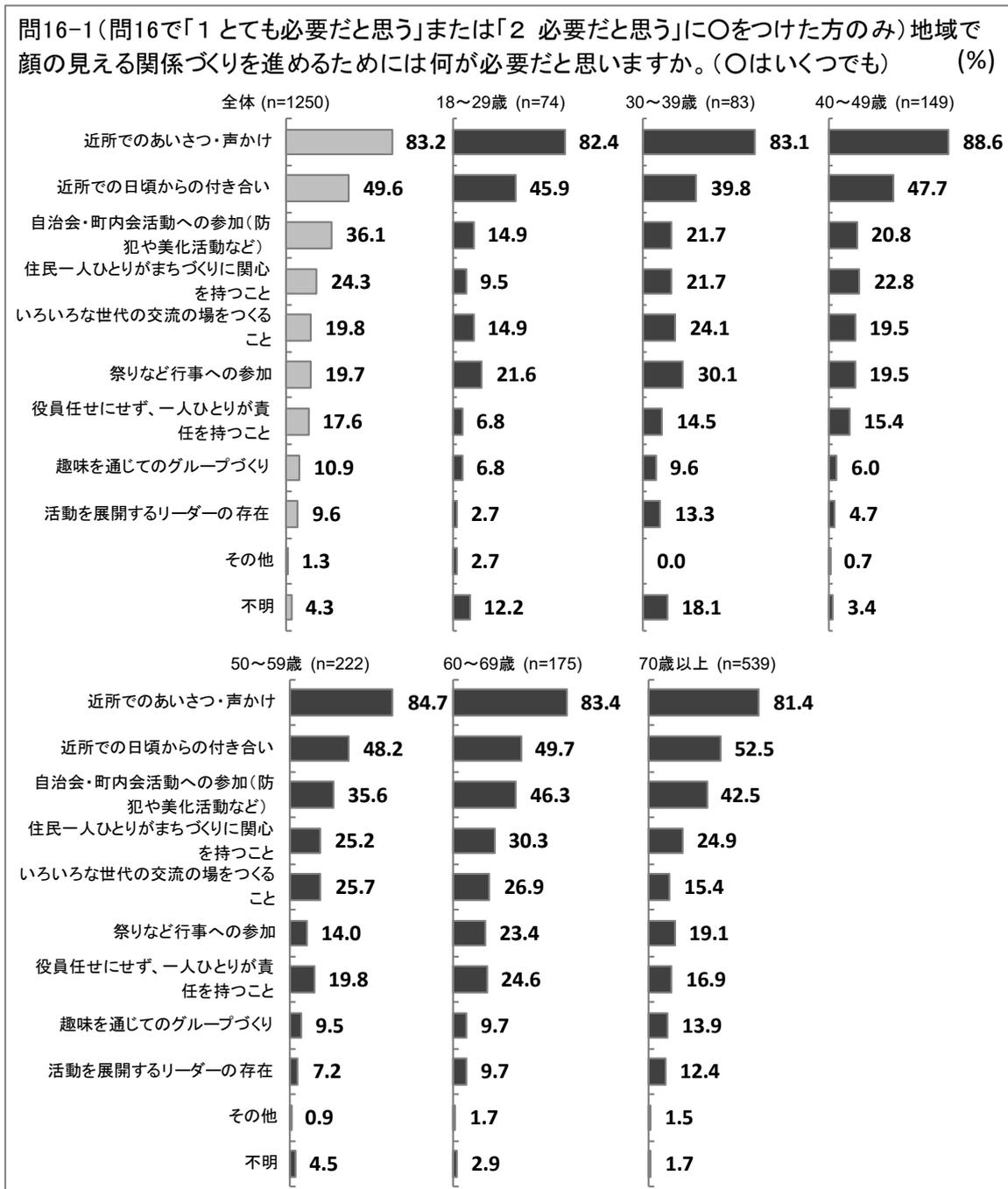
ア 顔の見える関係づくりのために必要なこと：全体・時系列

- ・『必要』（「とても必要だと思う」と「必要だと思う」）と回答した方に必要なことをたずねたところ、「近所でのあいさつ・声かけ」（83.2%）が最も多く、続く「近所での日頃からの付き合い」（49.6%）を大きく引きはなしている。



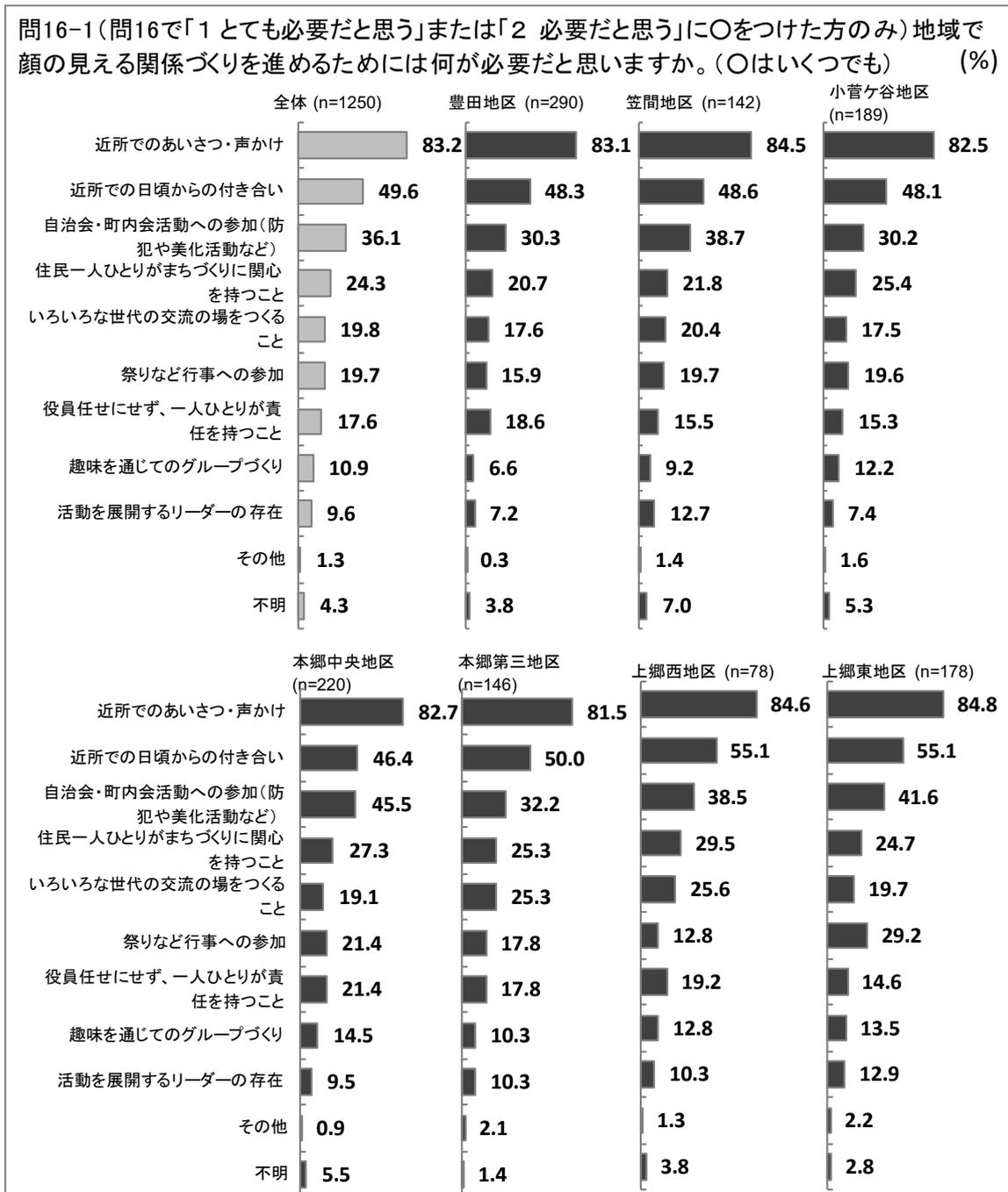
イ 顔の見える関係づくりのために必要なこと：年齢別

- ・いずれの年代も「近所でのあいさつ・声かけ」が8割を超え、最も多い回答である。「近所での日頃からの付き合い」が2位に挙げられている。
- ・「30～39歳」では「祭りなど行事への参加」（30.1%）が3位に挙げられている。



ウ 顔の見える関係づくりのために必要なこと：居住地区別

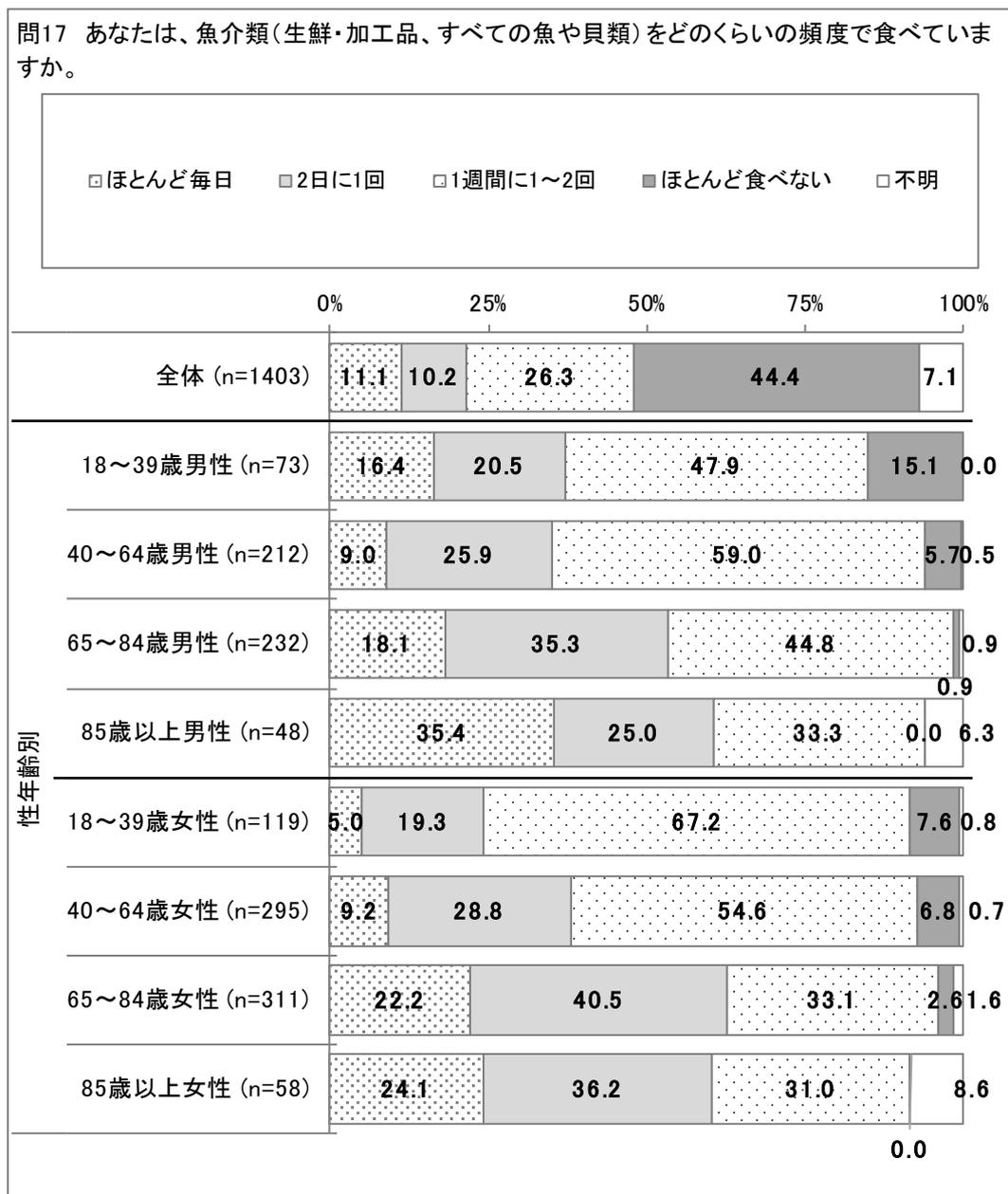
- ・いずれの地区も「近所でのあいさつ・声かけ」が8割を超え、最も多い回答である。「近所での日頃からの付き合い」が2位に挙げられている。
- ・「上郷東地区」では「祭りなど行事への参加」（29.2%）が全体を約10ポイント多い回答となっている。



(3) 食べ物を摂取する頻度（問17）

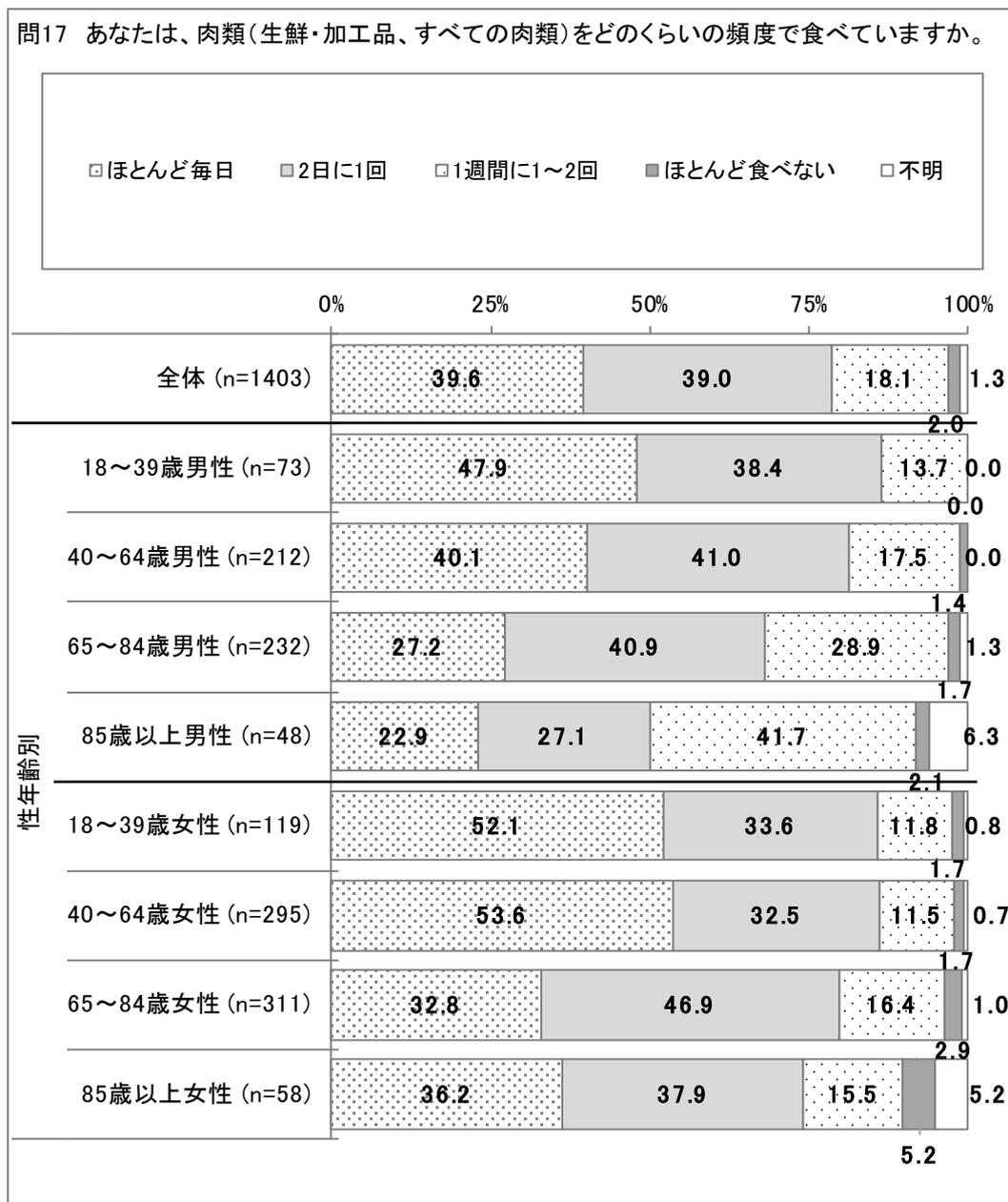
ア 魚介類を摂取する頻度：全体・性年齢別

- ・全体では「ほとんど食べない」（44.4%）が最も多く、「1週間に1～2回」（26.3%）が続いている。
- ・「18～39歳男性」を除き、男女とも年齢が上がるほど「ほとんど毎日」の割合が高くなっている。
- ・「65～84歳」と「85歳以上」では男女とも「ほとんど毎日」「2日に1回」を合わせた割合が50%を超えている。



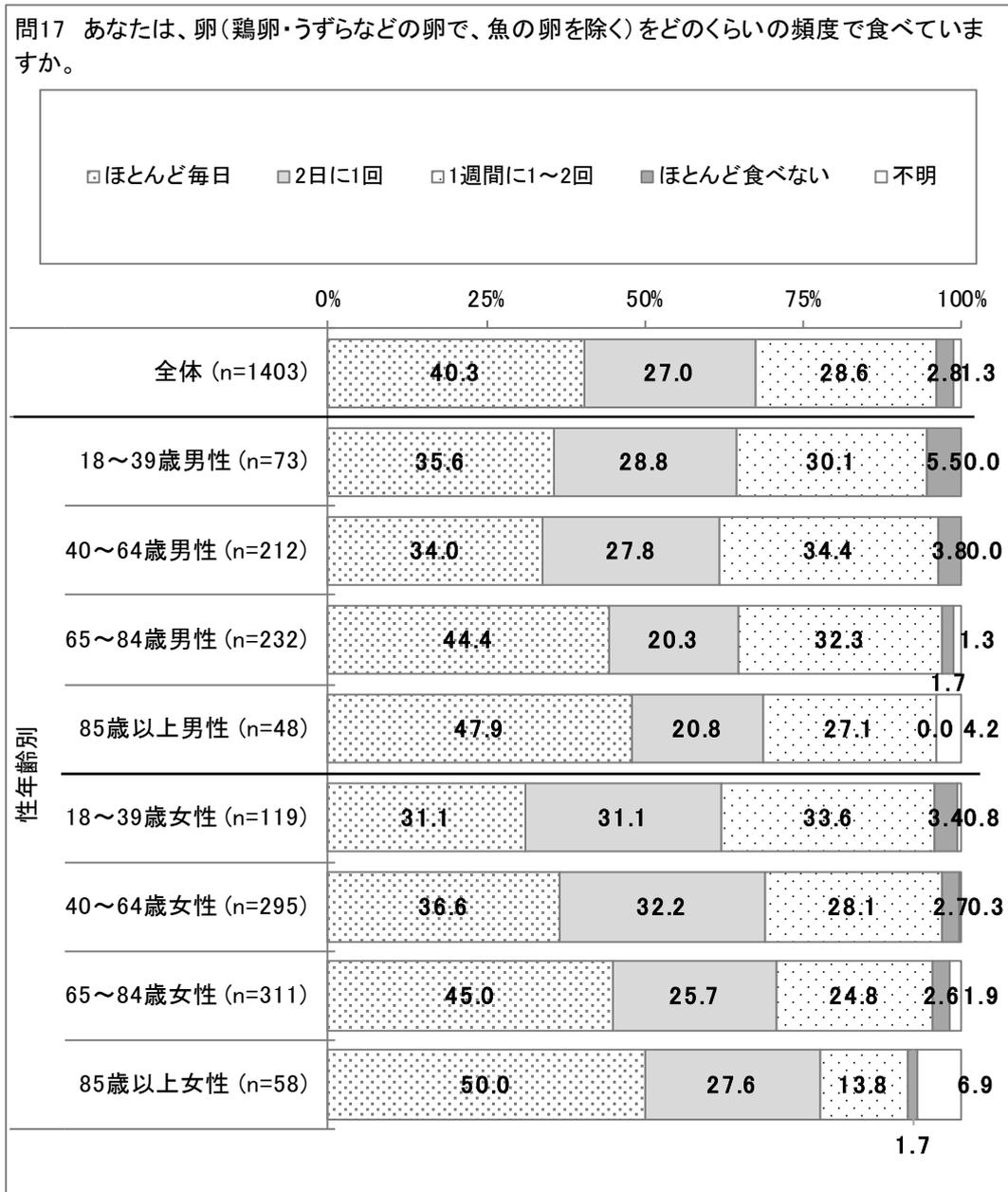
イ 肉類を摂取する頻度：全体・性年齢別

- ・全体では「ほとんど毎日」（39.6%）が最も多く、「2日に1回」（39.0%）が続いている。
- ・男性は年齢が上がるほど「ほとんど毎日」の割合が低くなっている。
- ・女性は「18～39歳」「40～64歳」では「ほとんど毎日」が50%を超えているが、「65～84歳」「85歳以上」では35%前後にとどまっている。



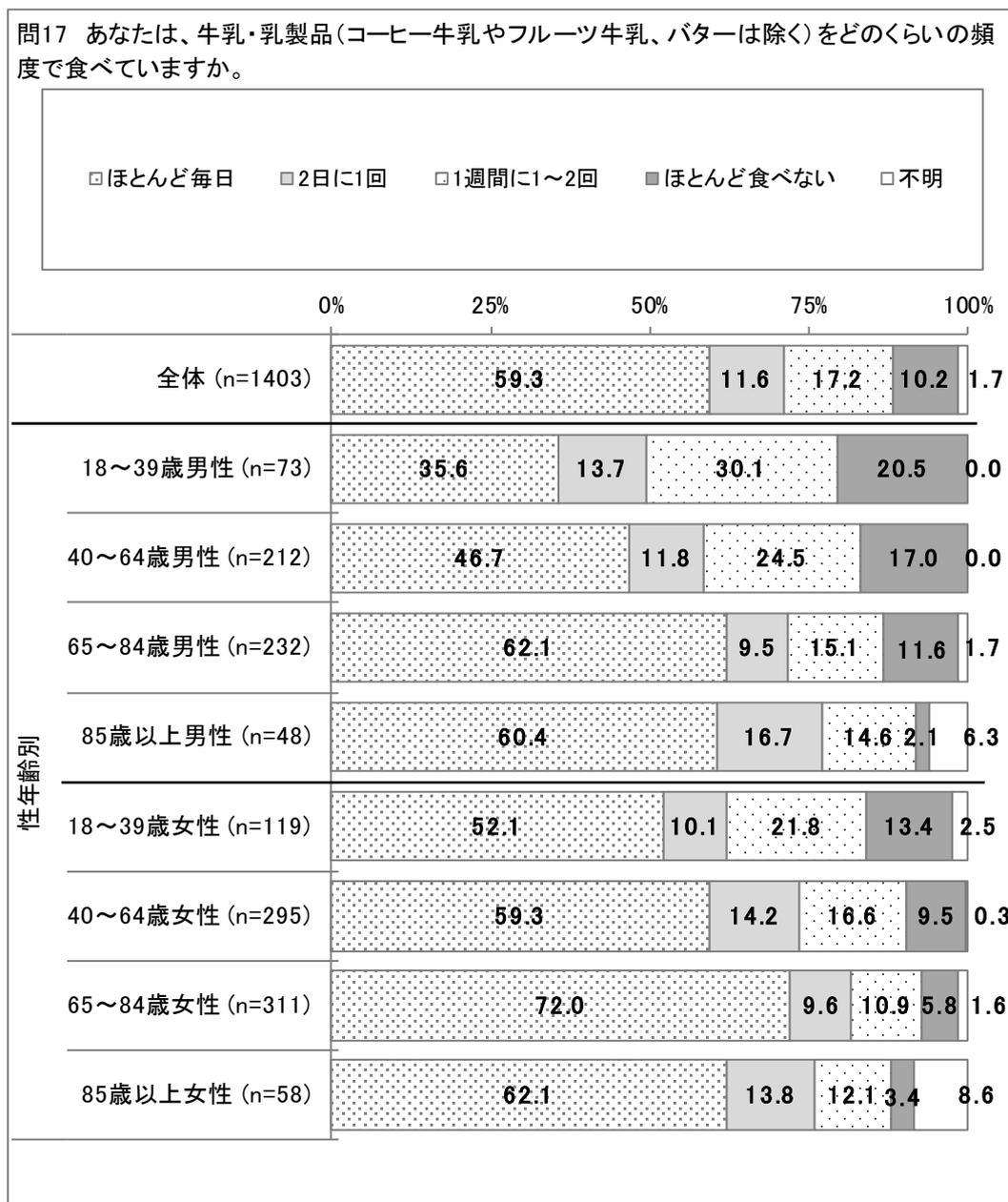
ウ 卵を摂取する頻度：全体・性年齢別

- ・全体では「ほとんど毎日」（40.3%）が最も多く、「1週間に1～2回」（28.6%）が続いている。
- ・女性は年代が上がるほど「ほとんど毎日」の割合が高くなる傾向が見られるが、男性は65歳未満と65歳以上で異なる傾向が見られ、「65～84歳」と「85歳以上」は「ほとんど毎日」の割合が高くなっている。



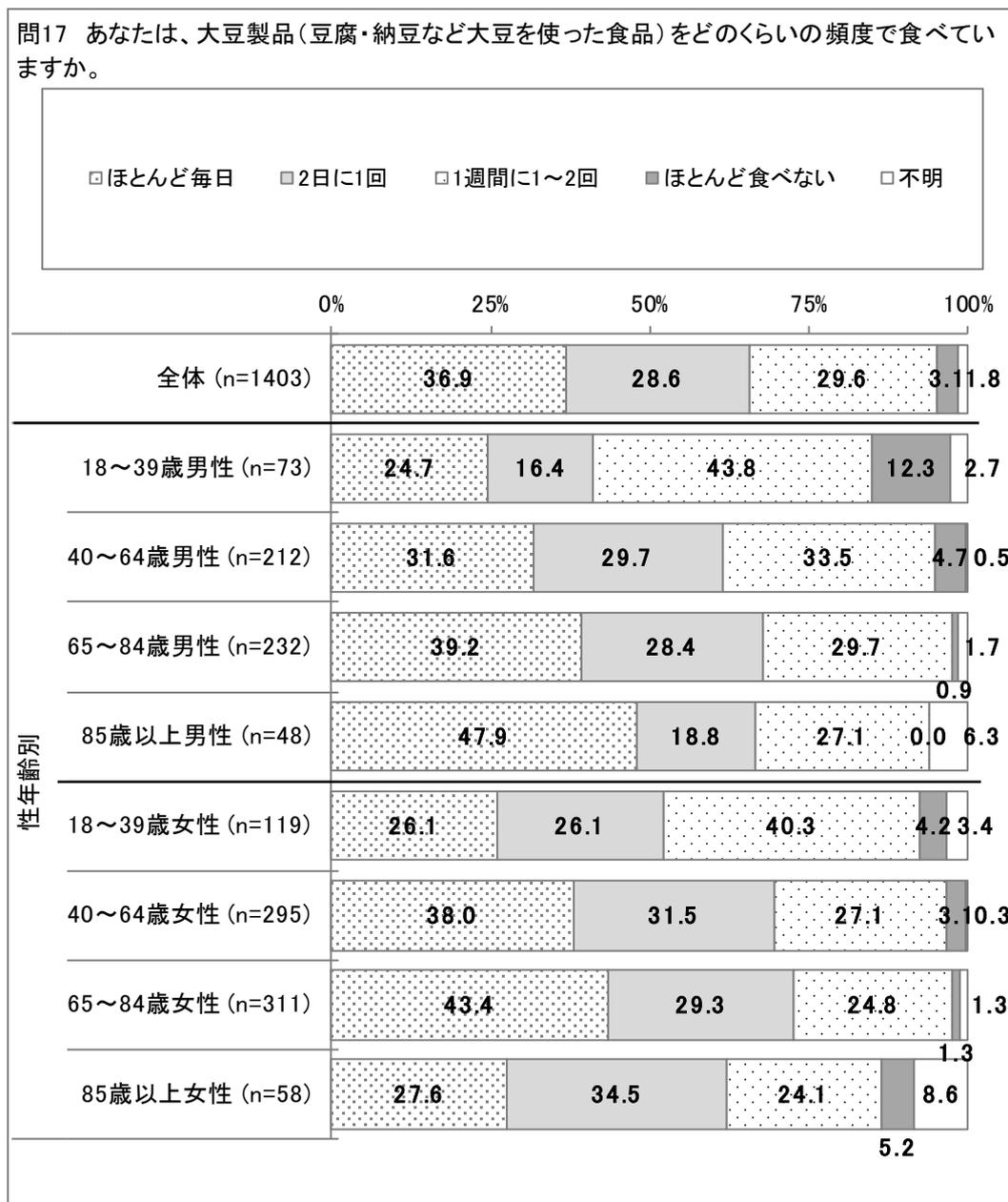
エ 牛乳・乳製品を摂取する頻度：全体・性年齢別

- ・全体では「ほとんど毎日」（59.3%）が最も多くなっている。
- ・男女とも「65～84歳」までは年齢が上がるほど「ほとんど毎日」の割合が高くなる傾向が見られる。いずれの年代も同じ年代で男女を比べると女性は男性より「ほとんど毎日」の割合が多くなっている。



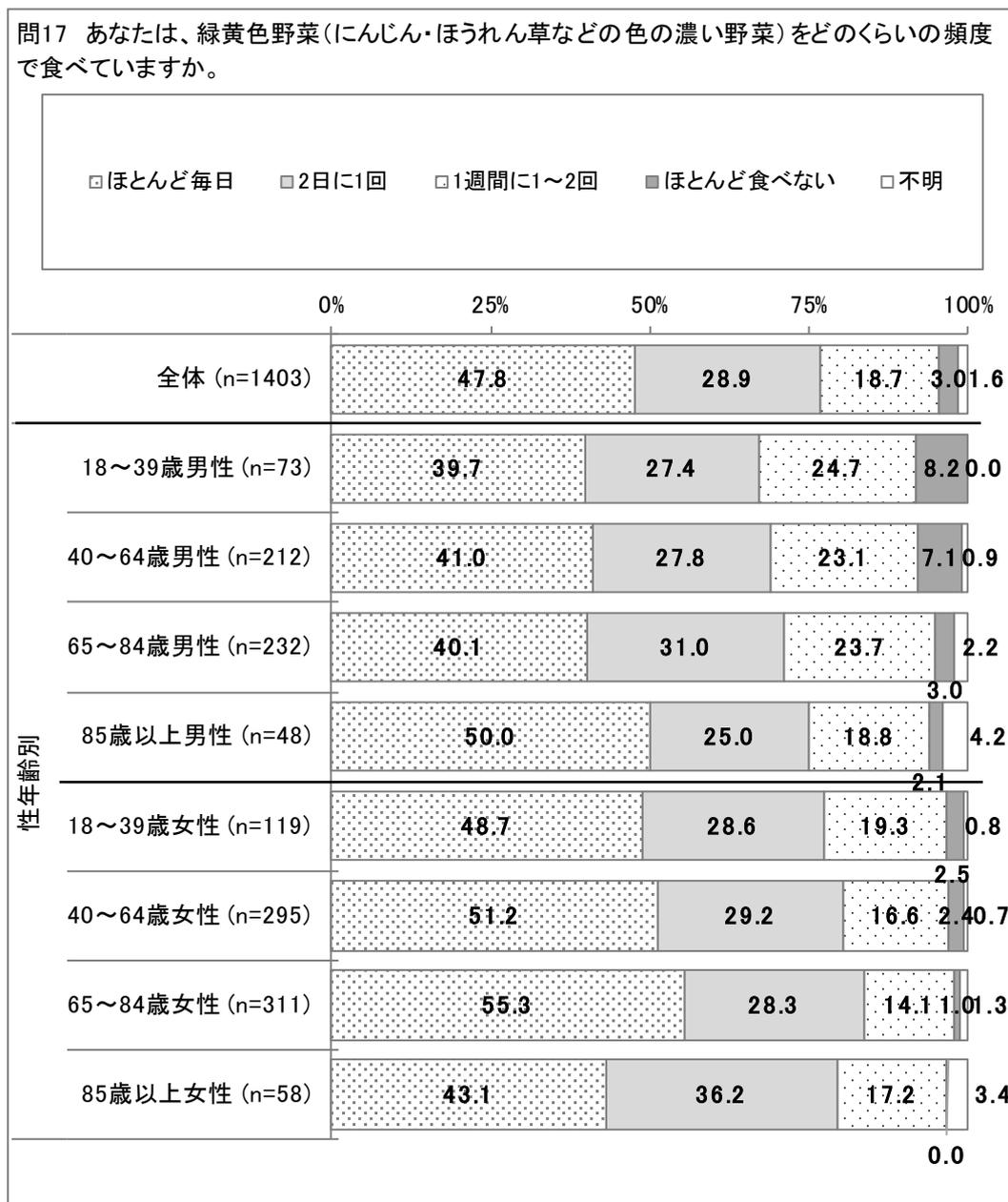
オ 大豆製品を摂取する頻度：全体・性年齢別

- ・全体では「ほとんど毎日」（36.9％）が最も多く、「1週間に1～2回」（29.6％）が続いている。
- ・男性は年齢が上がるほど「ほとんど毎日」の割合が高くなっている。女性は「65～84歳」までは年代が上がるにつれ「ほとんど毎日」の割合が多くなる傾向があるが、「85歳以上女性」では「ほとんど毎日」（27.6％）は「65～84歳女性」を15.8ポイント下回っている。



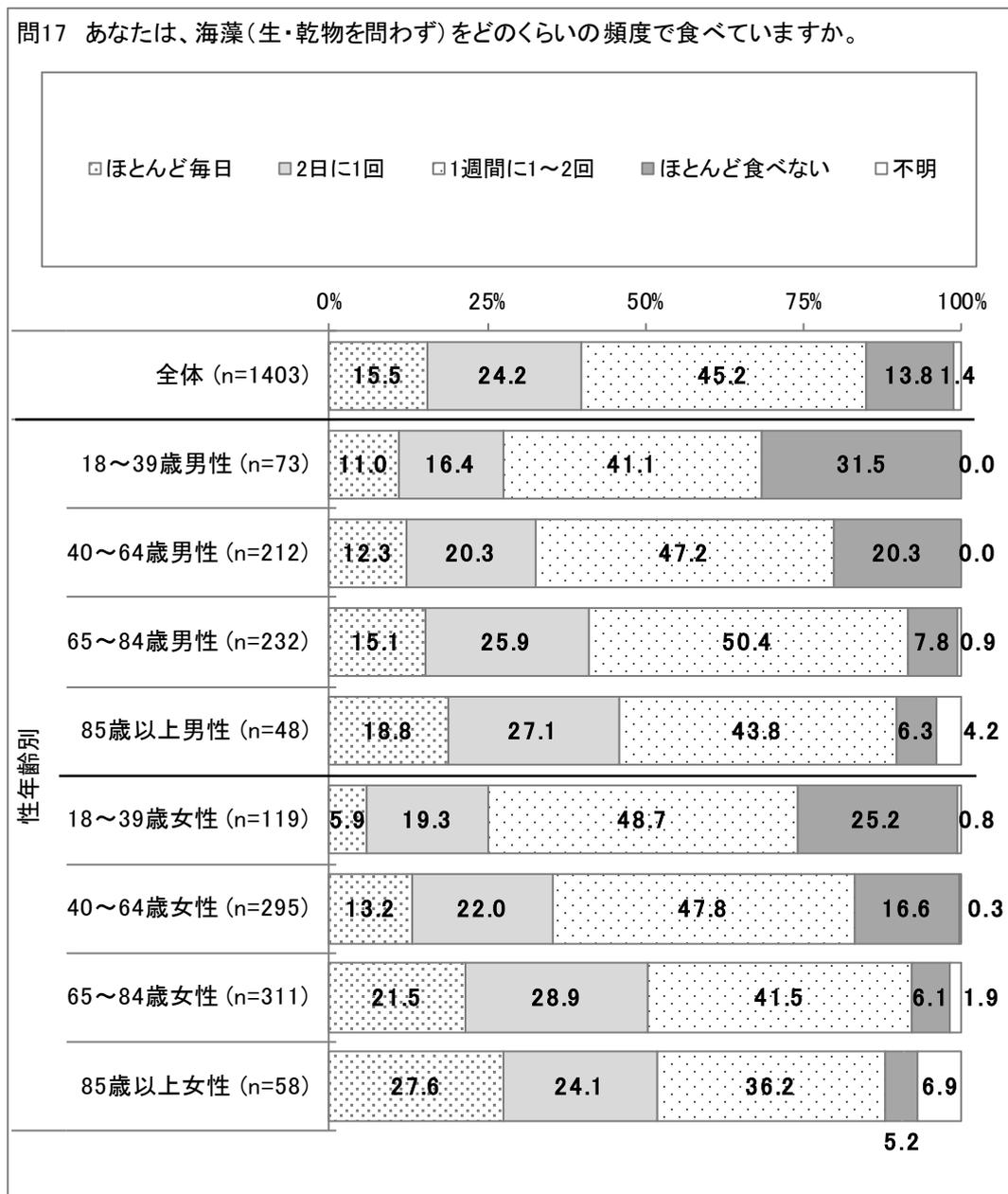
カ 緑黄色野菜を摂取する頻度：全体・性年齢別

- ・全体では「ほとんど毎日」（47.8%）が最も多く、「2日に1回」（28.9%）が続いている。
- ・男性は「85歳以上」が「ほとんど毎日」（50.0%）の割合が最も高くなっている。女性は「85歳以上」をのぞくいずれの年代も同じ年代の男性に比べて「ほとんど毎日」の割合が多いが、「85歳以上女性」は「85歳以上男性」より「ほとんど毎日」の割合が少なく、「65～84歳女性」と比べ「ほとんど毎日」の割合は12.2ポイント下回っている。



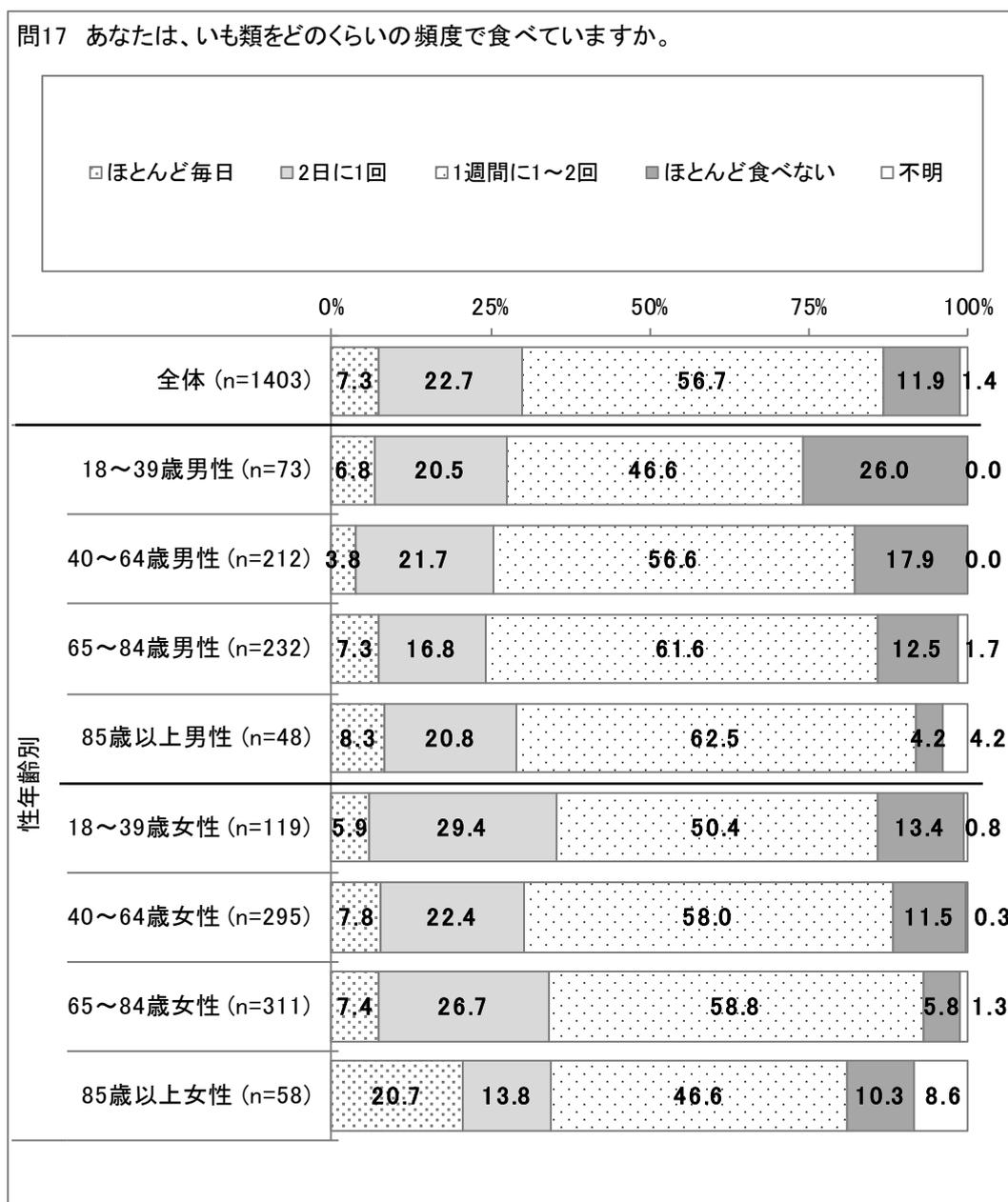
キ 海藻を摂取する頻度：全体・性年齢別

- ・全体では「1週間に1～2回」（45.2%）が最も多く、「2日に1回」（24.2%）が続いている。
- ・男女とも年齢が上がるほど「ほとんど毎日」「2日に1回」を合わせた割合が高くなっている。



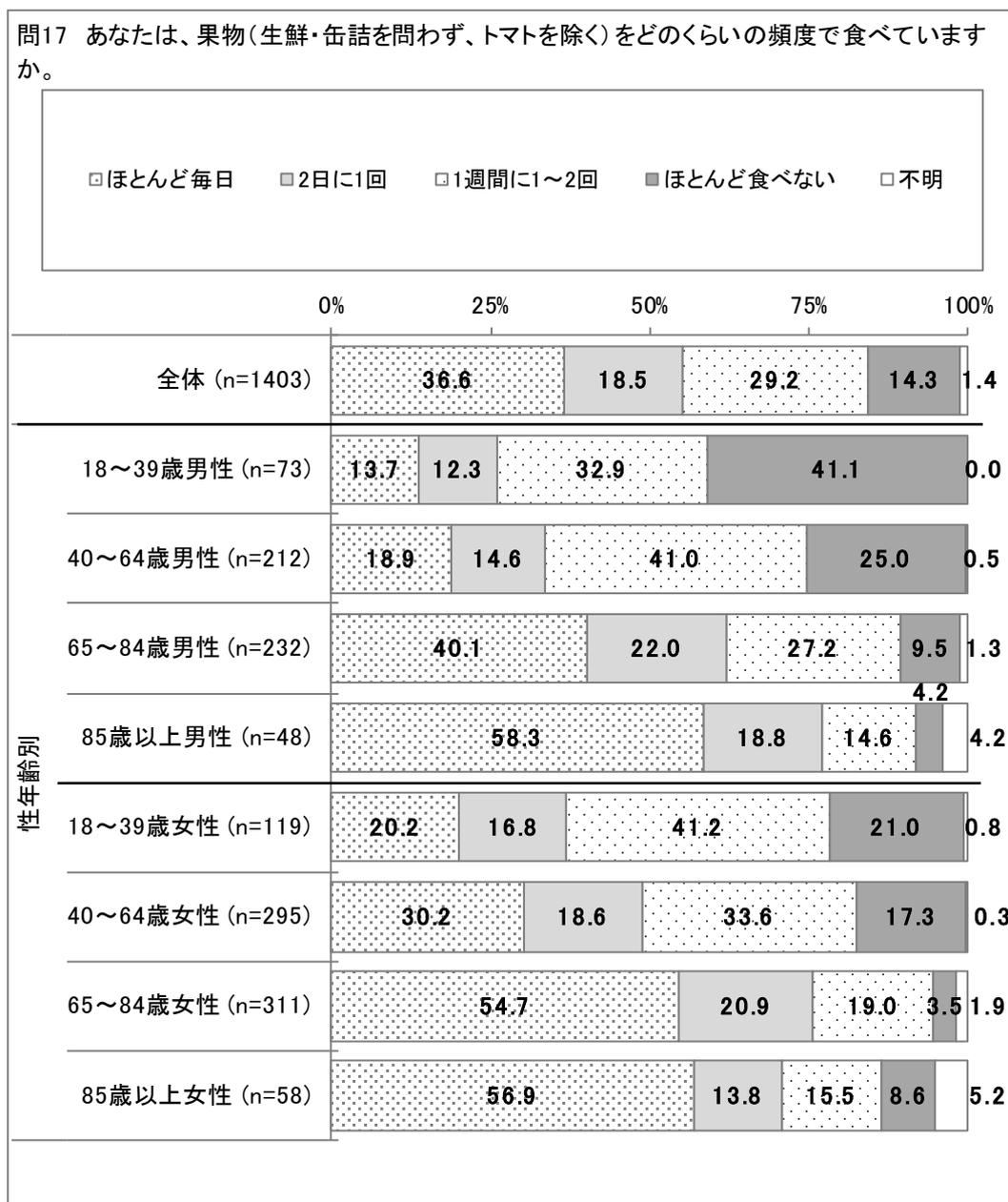
ク いも類を摂取する頻度：全体・性年齢別

- ・全体では「1週間に1～2回」（56.7%）が最も多く、「2日に1回」（22.7%）が続いている。
- ・他の食品に比べ、性別や年代による傾向は見られないが、「18～39歳男性」は「ほとんど食べない」（26.0%）が全体に比べ14.1ポイント多い。



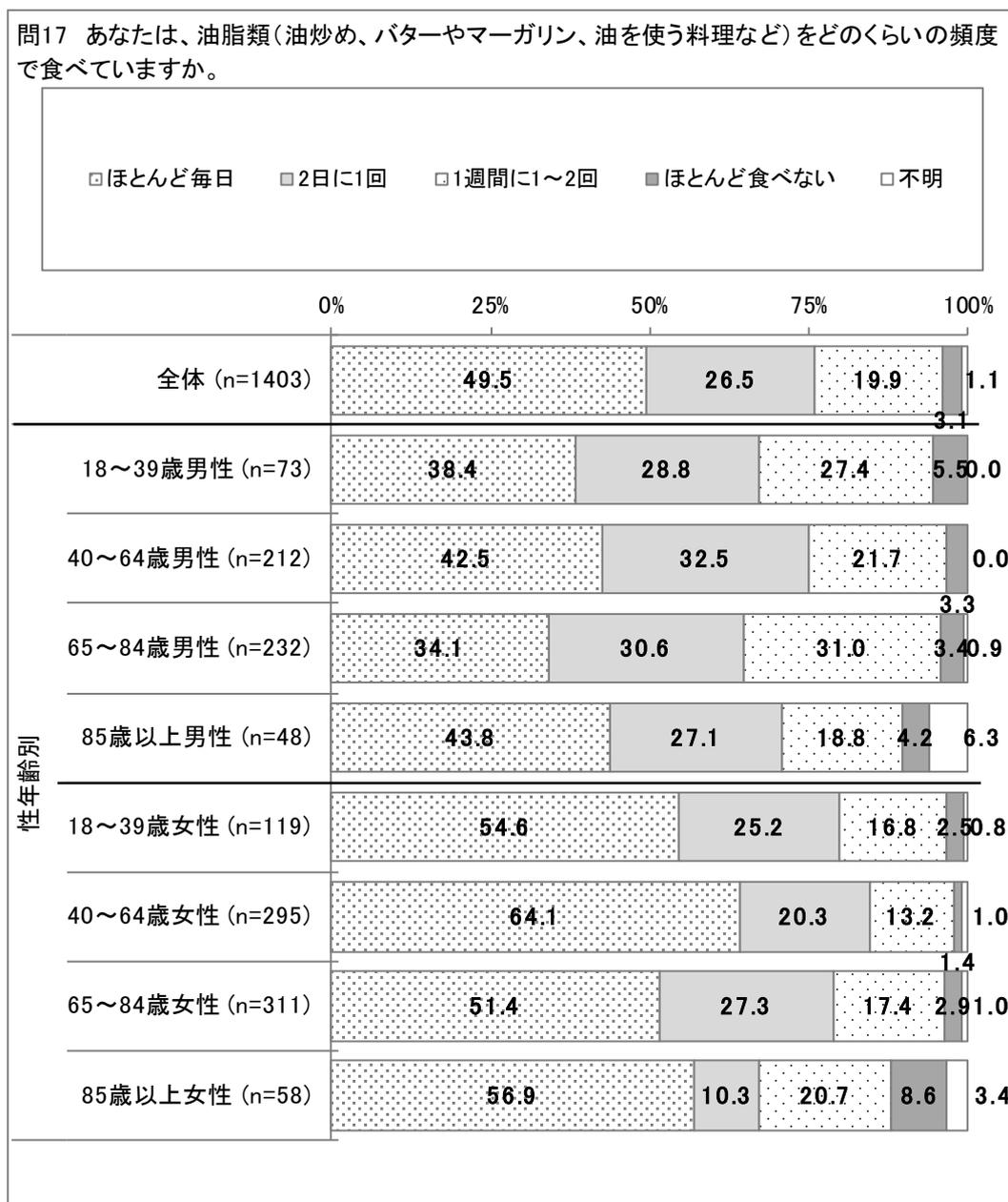
ケ 果物を摂取する頻度：全体・性年齢別

- ・全体では「ほとんど毎日」（36.6%）が最も多く、「1週間に1～2回」（29.2%）が続いている。
- ・男女とも年齢が上がるほど「ほとんど毎日」の割合が高くなっている。



コ 油脂類を摂取する頻度：全体・性年齢別

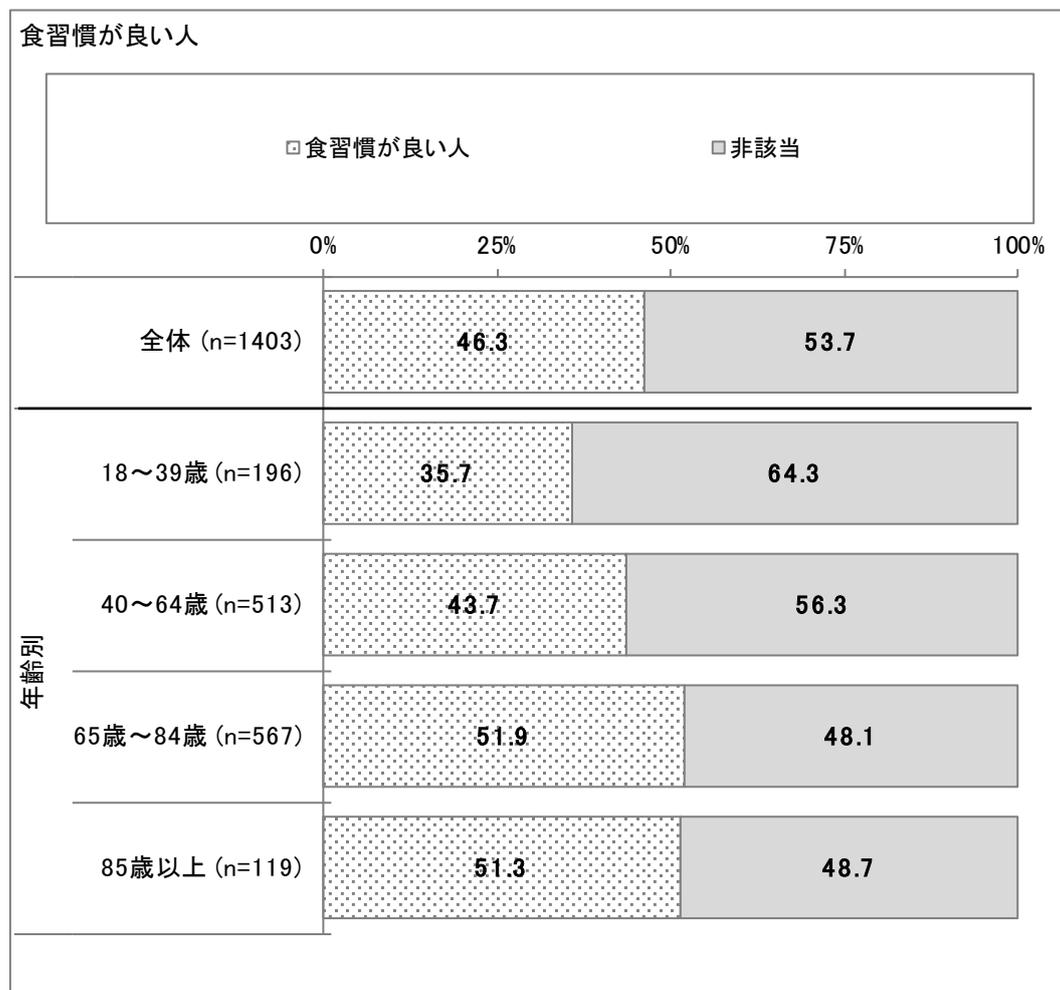
- ・全体では「ほとんど毎日」（49.5%）が最も多く、「2日に1回」（26.5%）が続いている。
- ・「40～64歳女性」の「ほとんど毎日」は64.1%と全体より14.6ポイント多くなっている。



(4) 食習慣が良い人（問 17）

ア 食習慣が良い人：全体・年齢別

- ・食習慣が良い人を、問 17 の 10 項目の集計（※）により求めた。
- ・該当者は全体の 46.3% で、「65～84 歳」までは年代が上がるほど該当者は多くなっている。「65～84 歳」と「85 歳以上」の該当者は半数を超えている。

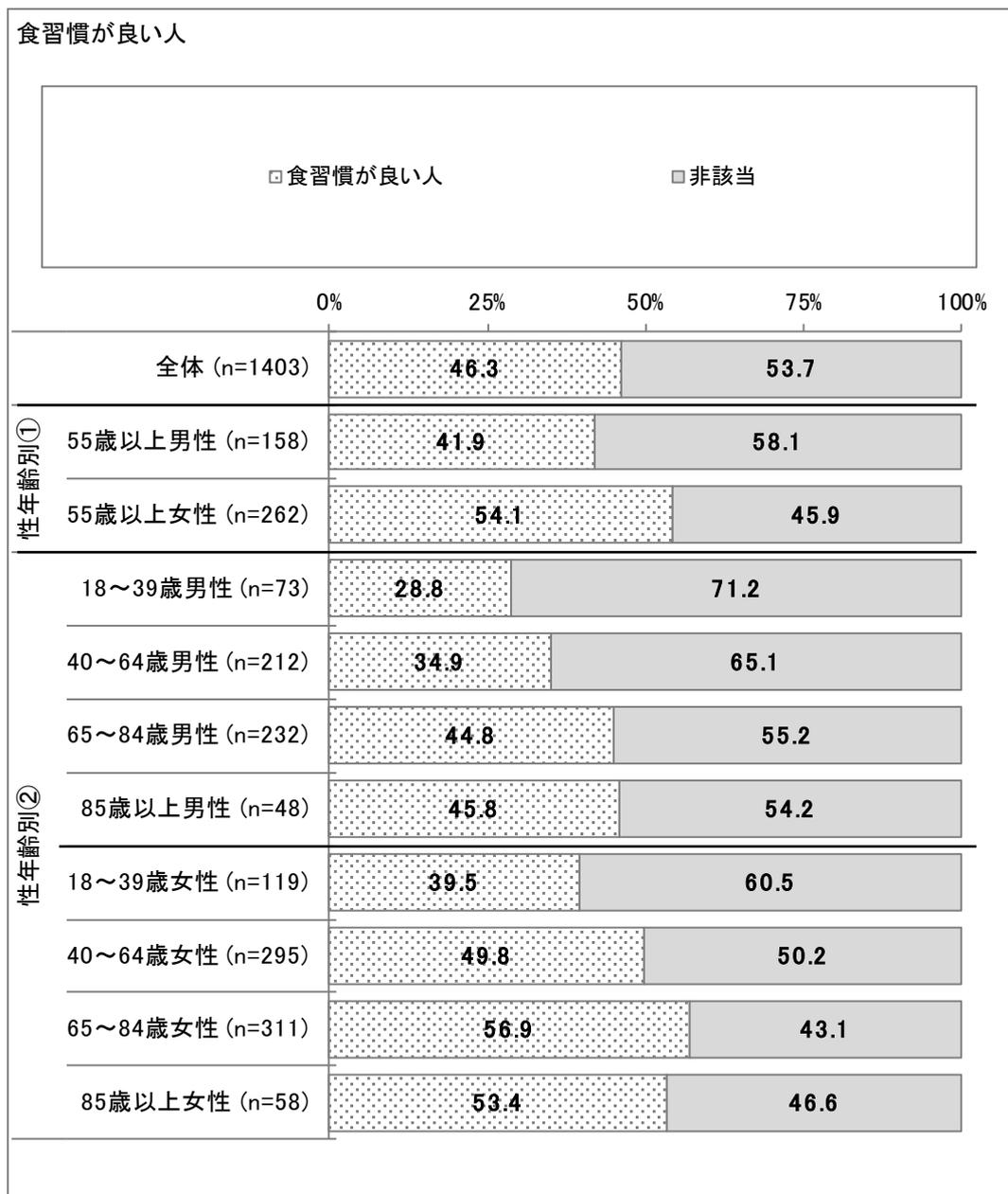


※「食習慣が良い人」の算出方法

問 17 の 10 項目のうち、4 品目以上「ほとんど毎日」と回答した人

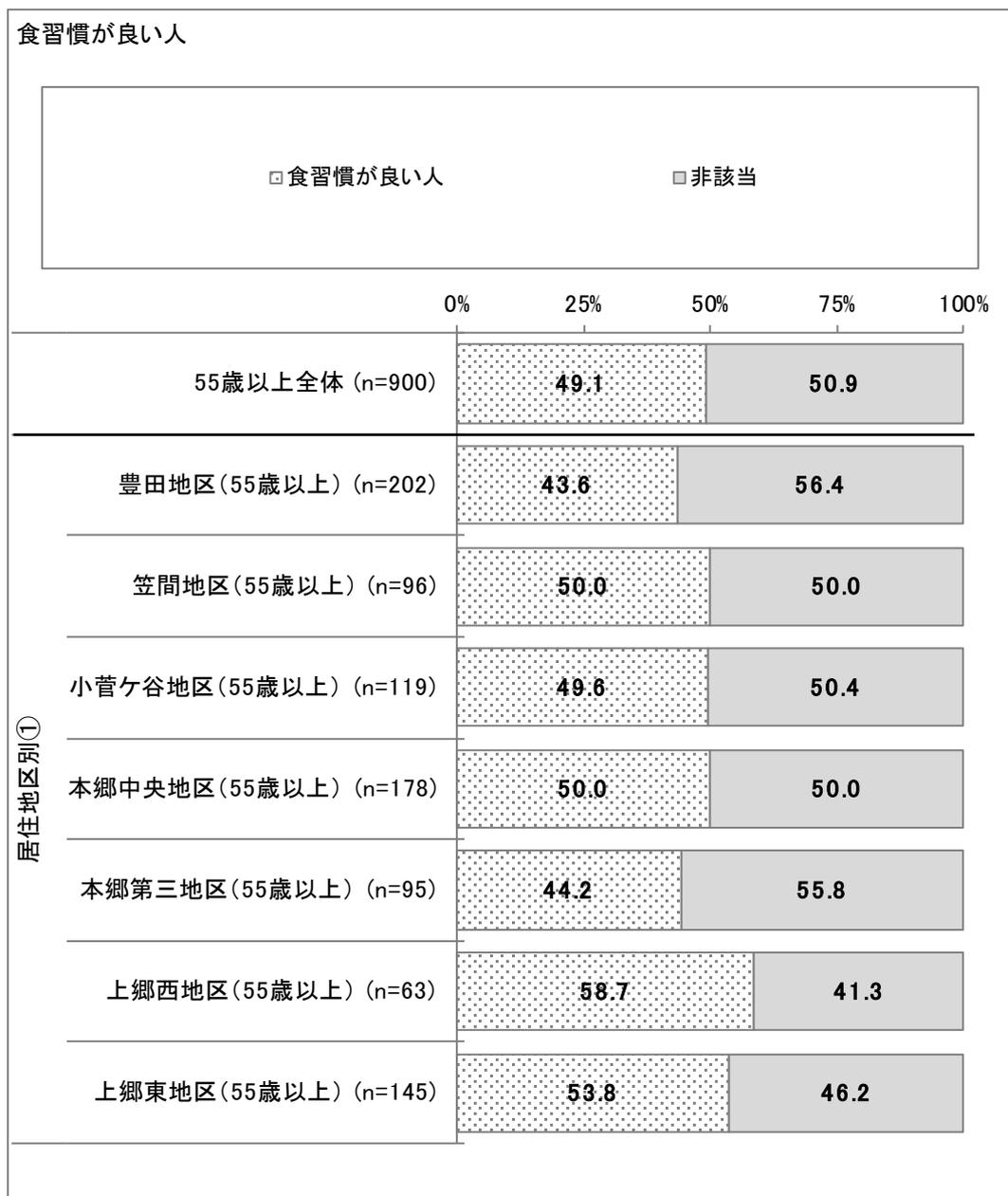
イ 食習慣が良い人：全体・性年齢別

- ・「55歳以上」の男女を比べると、女性（54.1%）は男性（41.9%）より12.2ポイント該当者の割合が多くなっている。
- ・性年齢別の該当者は男女とも「65～84歳」までは年代が上がるにつれ割合が高くなる傾向が見られる。同じ年代で男女を比べると、いずれの年代も女性が男性より該当者の割合が多くなっている。「40～64歳」が最も男女差が大きく、14.9ポイント女性が男性を上回っている。



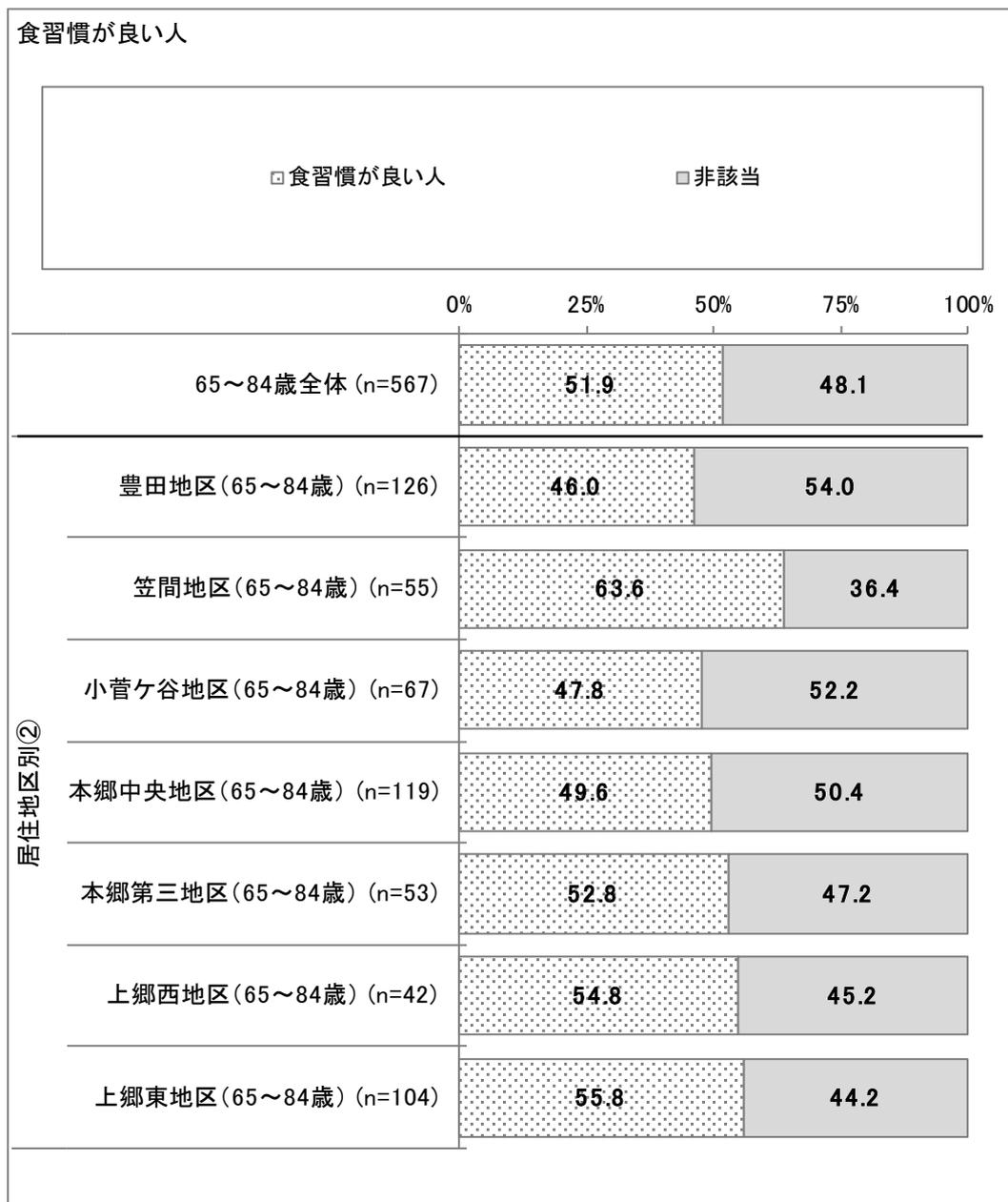
ウ 食習慣が良い人：全体（55歳以上）・居住地区別

- ・居住地区別では食習慣が良い人の該当者の割合が最も高いのは「上郷西地区」（58.7%）で、「上郷東地区」（53.8%）が続く。



エ 食習慣が良い人：全体（65～84歳）・居住地区別

- ・65～84歳の居住地区別では食習慣が良い人の該当者の割合が最も高いのは「笠間地区」（63.6%）で65～84歳全体を11.7ポイント上回っている。



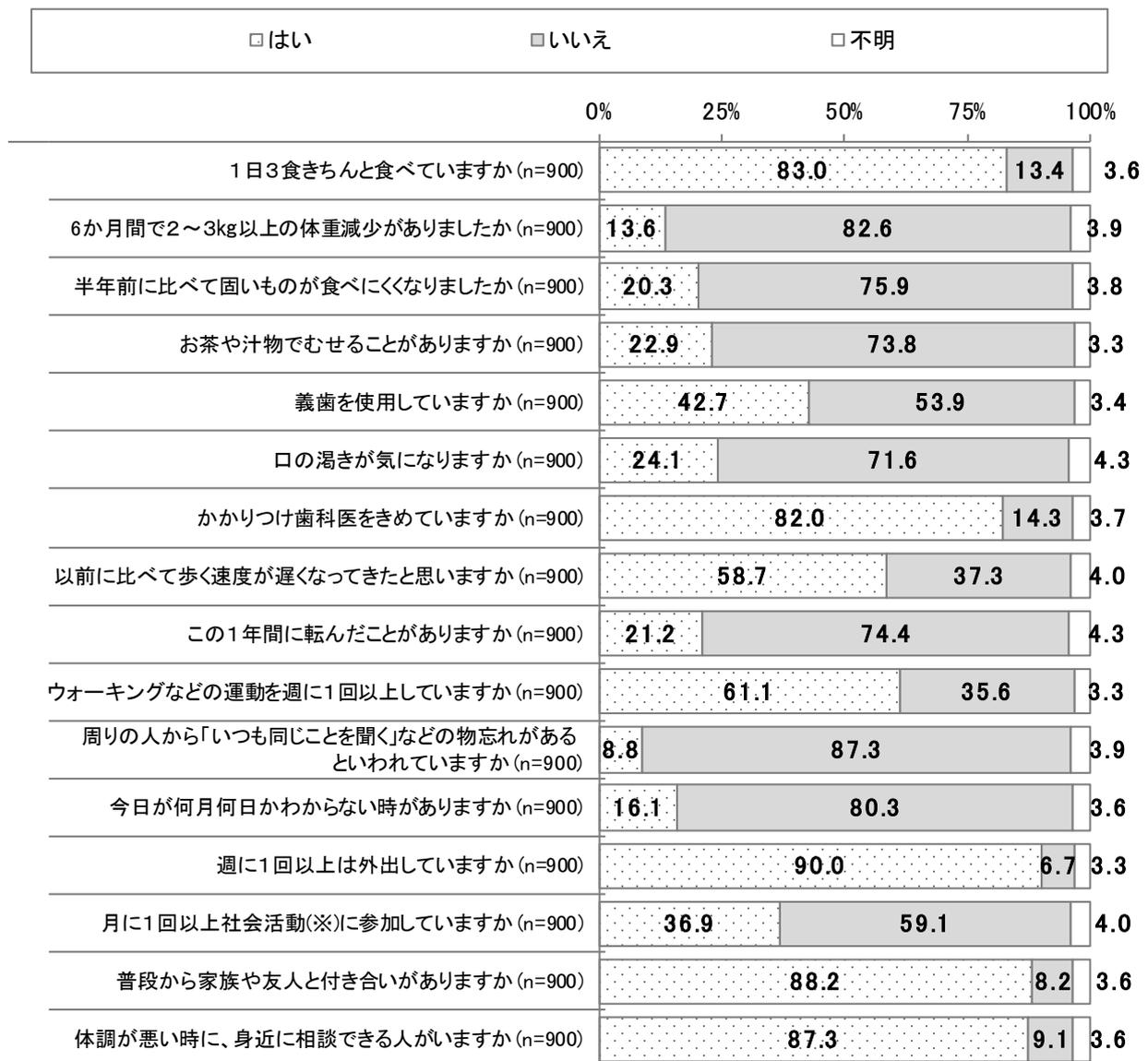
(5) 普段の生活（問18）

ア 普段の生活：全体（55歳以上）

- ・55歳以上の方に普段の生活についてたずねたところ、「週に1回以上は外出していますか」は「はい」が90.0%で最も多く、「普段から家族や友人と付き合いがありますか」、「体調が悪い時に、身近に相談できる人がいますか」、「1日3食きちんと食べていますか」、「かかりつけ歯科医を決めていますか」は「はい」が8割を超えている。

問18 あなたの普段の生活についてお聞きします。あてはまるものをお答えください。

（○は1つずつ）※55歳以上の方のみご回答ください。



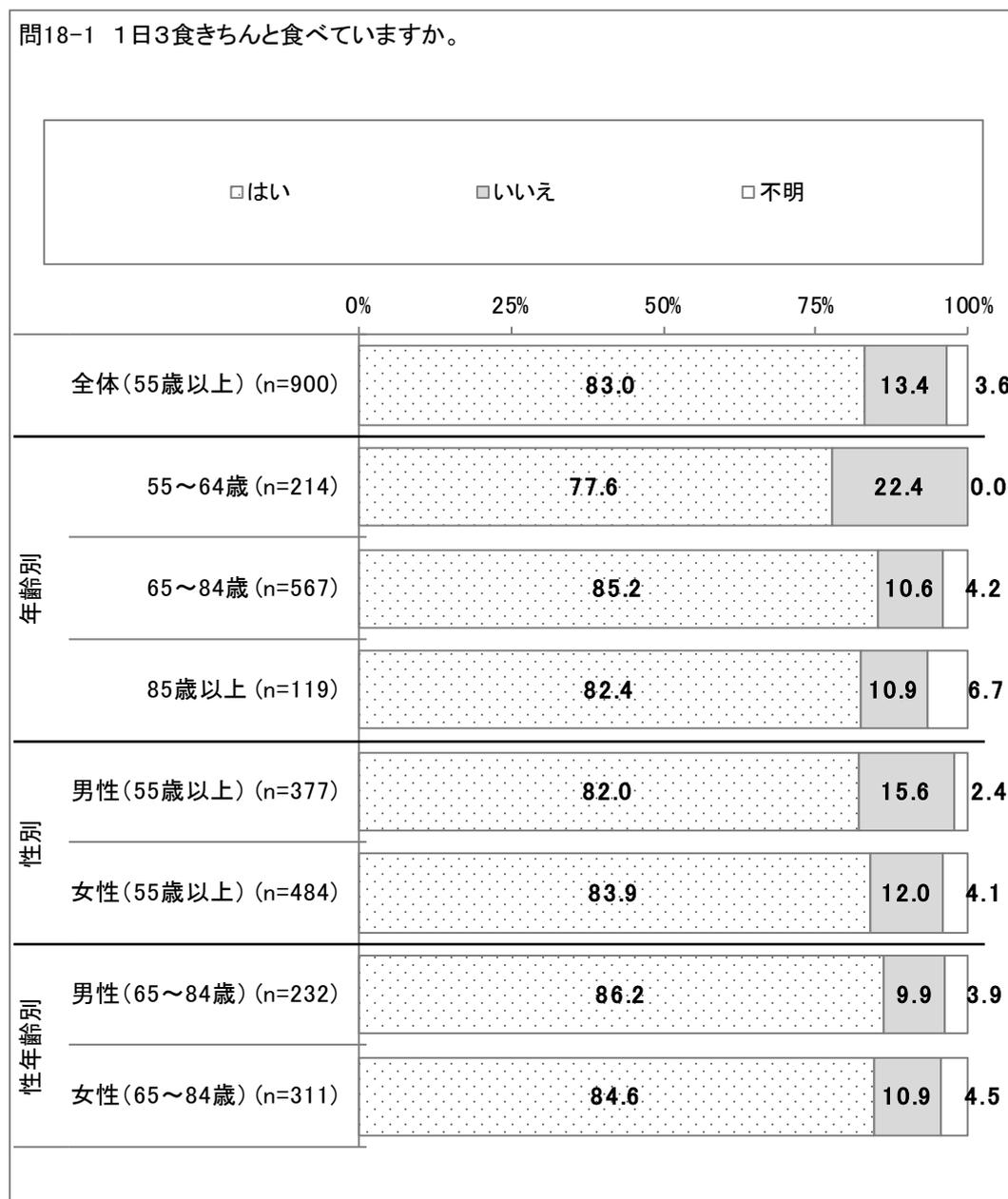
※社会活動とは、「楽しさ、やりがいのある活動やmみんなが集う機会に参加すること」です。

(例) 町内会、ボランティア、創作・趣味活動、健康体操、茶話会、シニアクラブ、サロンなど

イ 各項目の結果

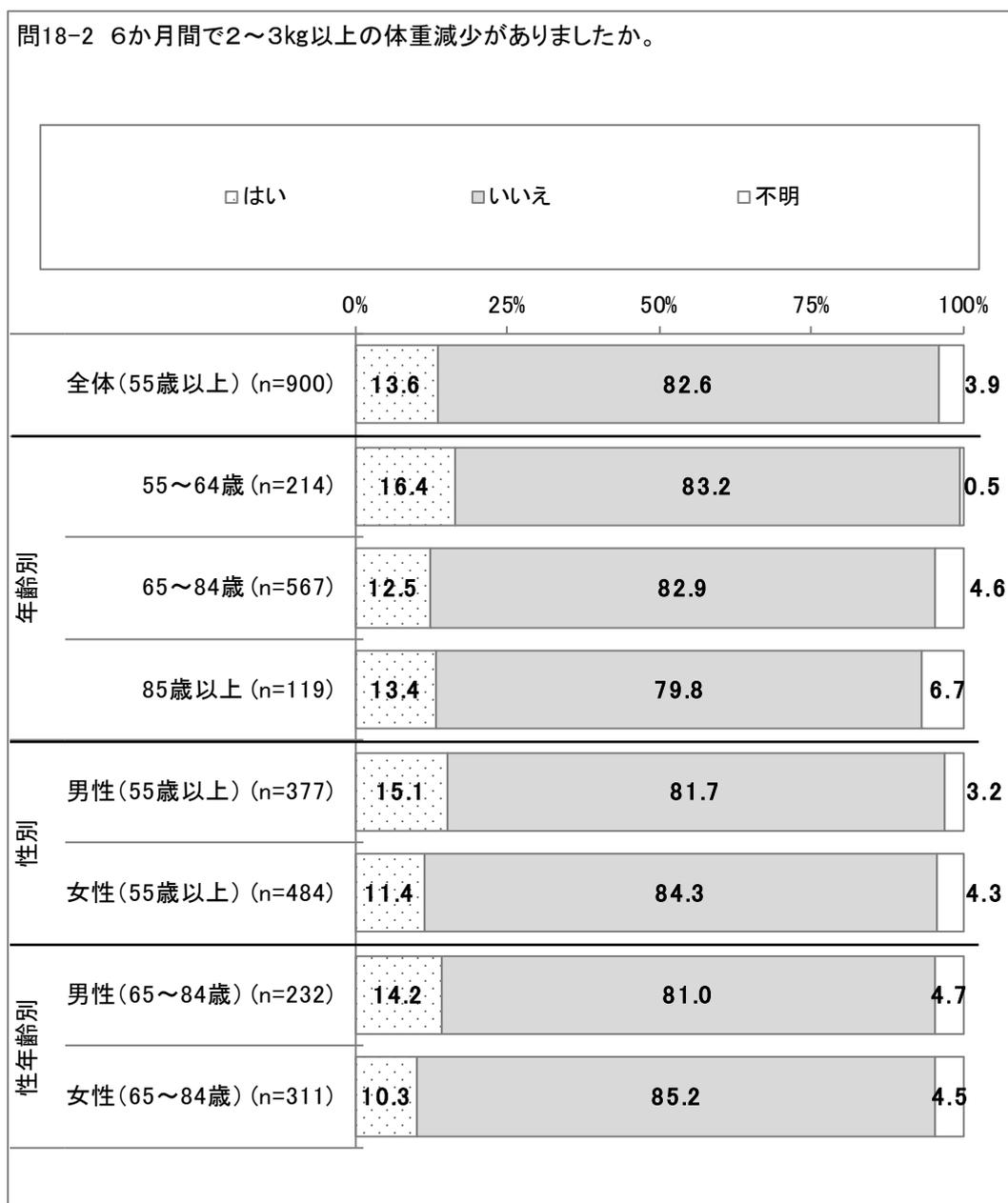
(ア) 1日3食きちんと食べているか：全体（55歳以上）・性年齢別

- ・1日3食きちんと食べている割合は全体で83.0%である。
- ・年齢別では「65～84歳」が「はい」の割合が最も高く、85.2%となっている。
- ・性別では「55歳以上」「65～84歳」とも大きな男女差は見られない。



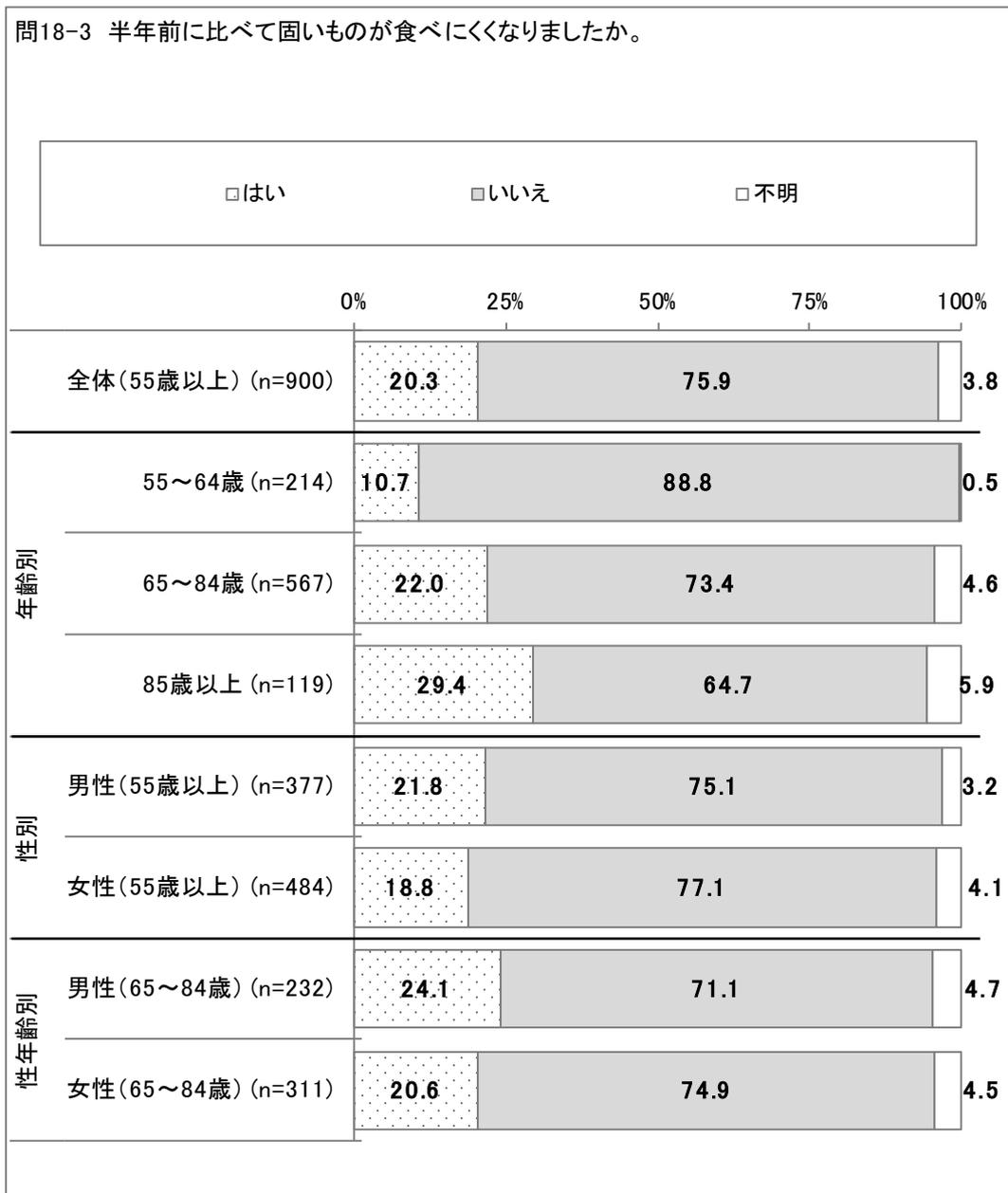
(イ) 6か月間の体重減少：全体（55歳以上）・性年齢別

- ・6か月間で2～3kgの体重減少があった割合は、全体で13.6%である。
- ・年齢別では「55～64歳」の「はい」の割合が16.4%で最も多い。
- ・「はい」の割合を性別で見ると、「55歳以上」は3.7ポイント、「65～84歳」は3.9ポイント男性が女性を上回っている。



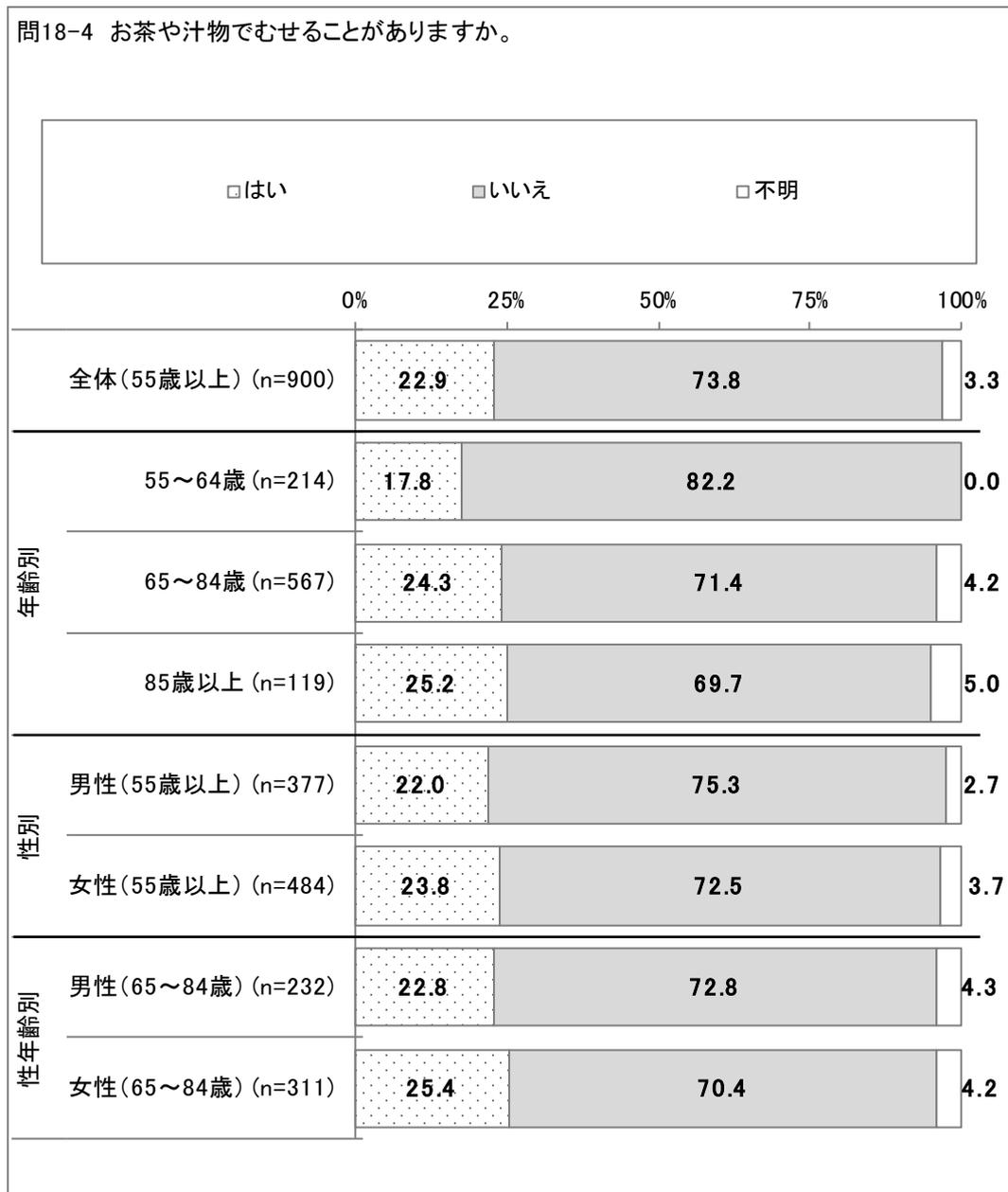
(ウ) 固いものの食べにくさ：全体（55歳以上）・性年齢別

- ・半年前に比べて固いものが食べにくくなった割合は、全体で20.3%である。
- ・年齢が上がるにつれ、固いものが食べにくくなった割合は高くなっており、「55～64歳」では10.7%であるが「85歳以上」では29.4%と18.7ポイント上回っている。
- ・「はい」の割合を性別で見ると、「55歳以上」では男性が女性を3.0ポイント、「65～84歳」では3.5ポイント上回っている。



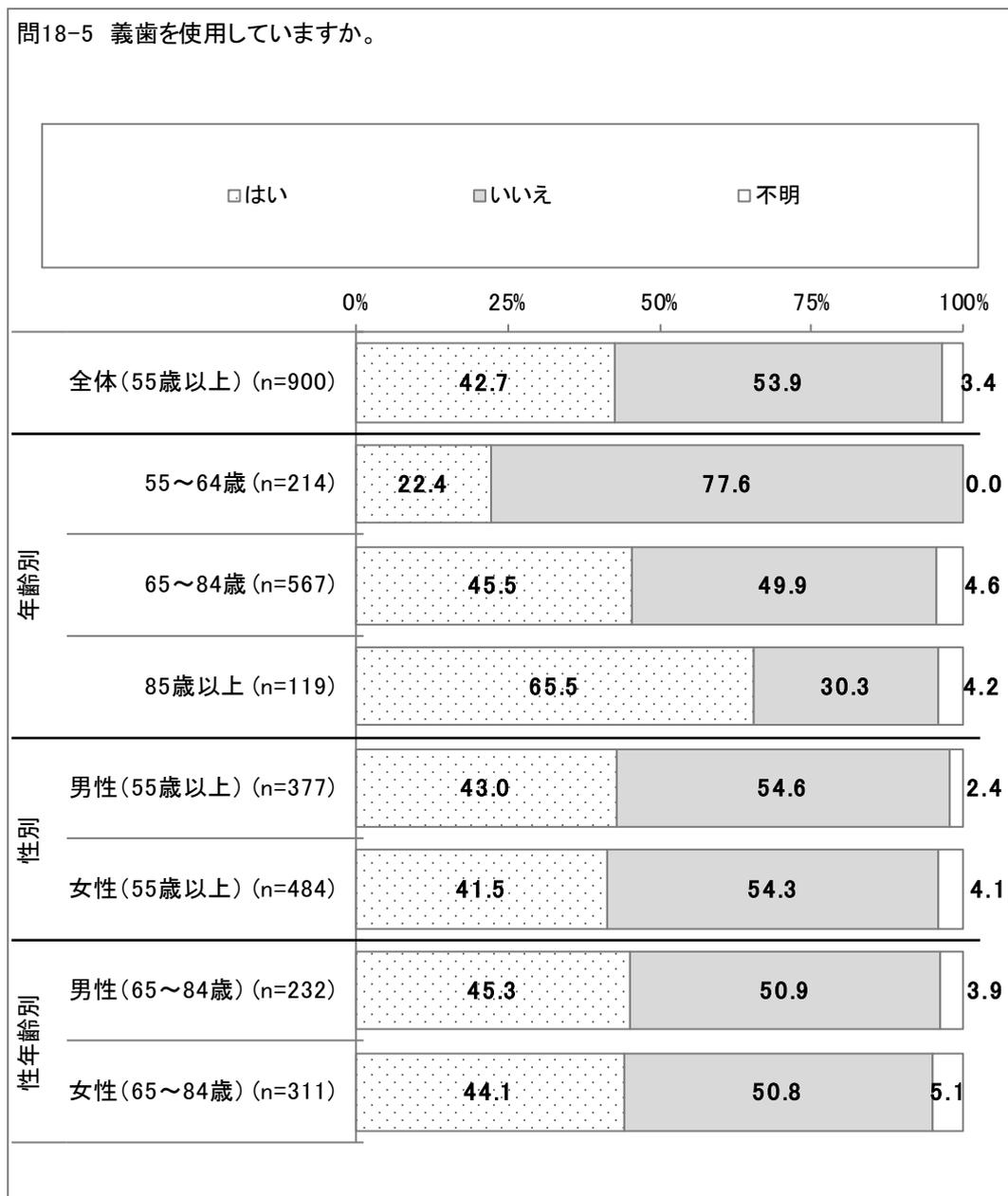
(I) お茶や汁物でむせるか：全体（55歳以上）・性年齢別

- ・お茶や汁物でむせる方は、全体で22.9%である。
- ・年齢別では「55～64歳」では17.8%であるが「65～84歳」では24.3%と6.5ポイント上昇している。「85歳以上」は25.2%と「65～84歳」をわずかに（0.9ポイント）上回っている。
- ・「はい」の割合を性別でみると「55歳以上」では女性が男性を1.8ポイント、「65～84歳」では2.6ポイント上回っている。



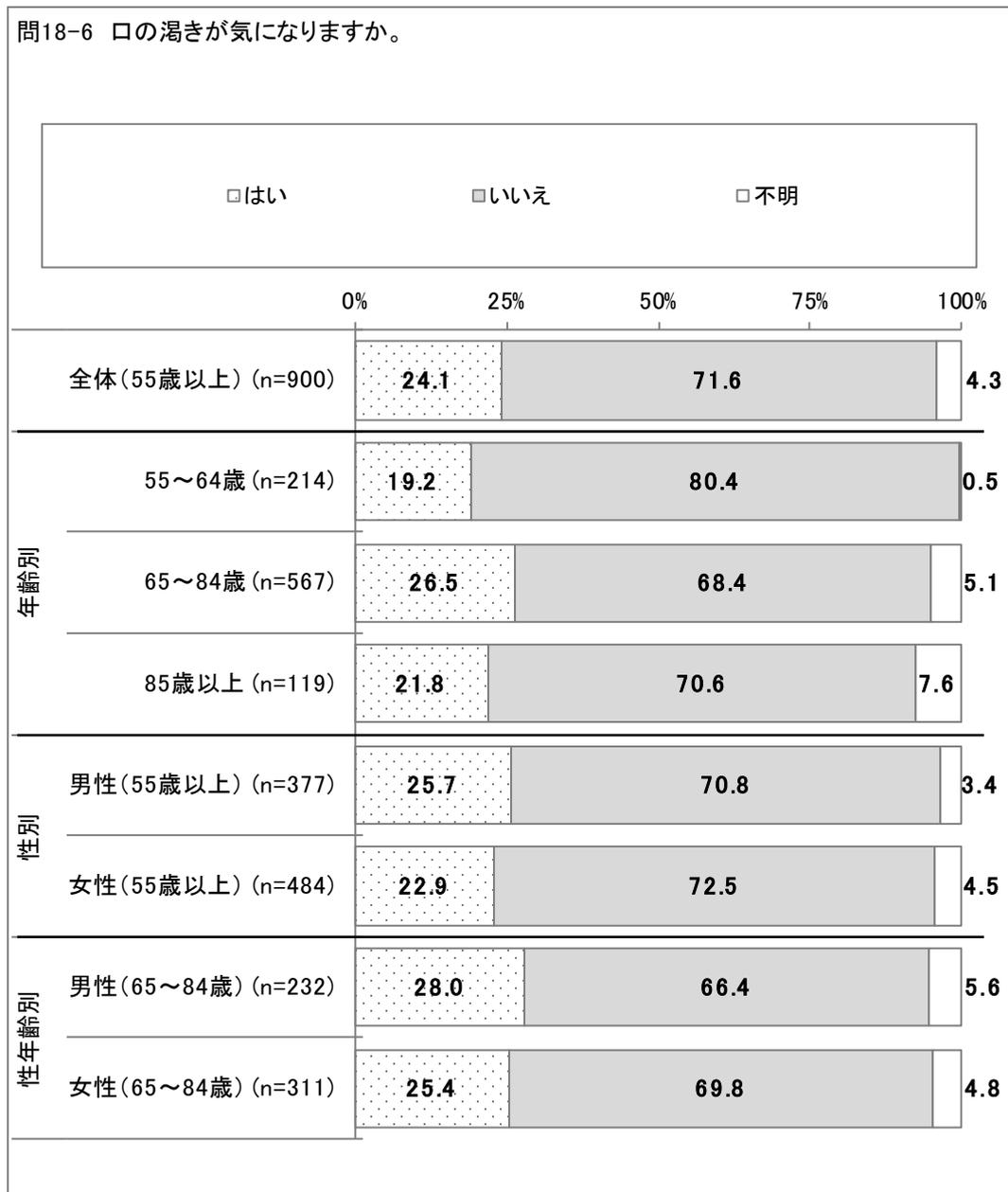
(オ) 義歯の使用：全体（55歳以上）・性年齢別

- ・義歯を使用している方は、全体で42.7%である。
- ・年齢別では「55～64歳」では22.4%であるが「65～84歳」では45.5%と23.1ポイント上昇している。「85歳以上」（65.5%）は「65～84歳」を20.0ポイント上回り、年齢が上がるほど義歯を利用している方は多くなっている。
- ・「はい」の割合を性別で見ると「55歳以上」では男性が女性を1.5ポイント、「65～84歳」では1.2ポイント上回っている。



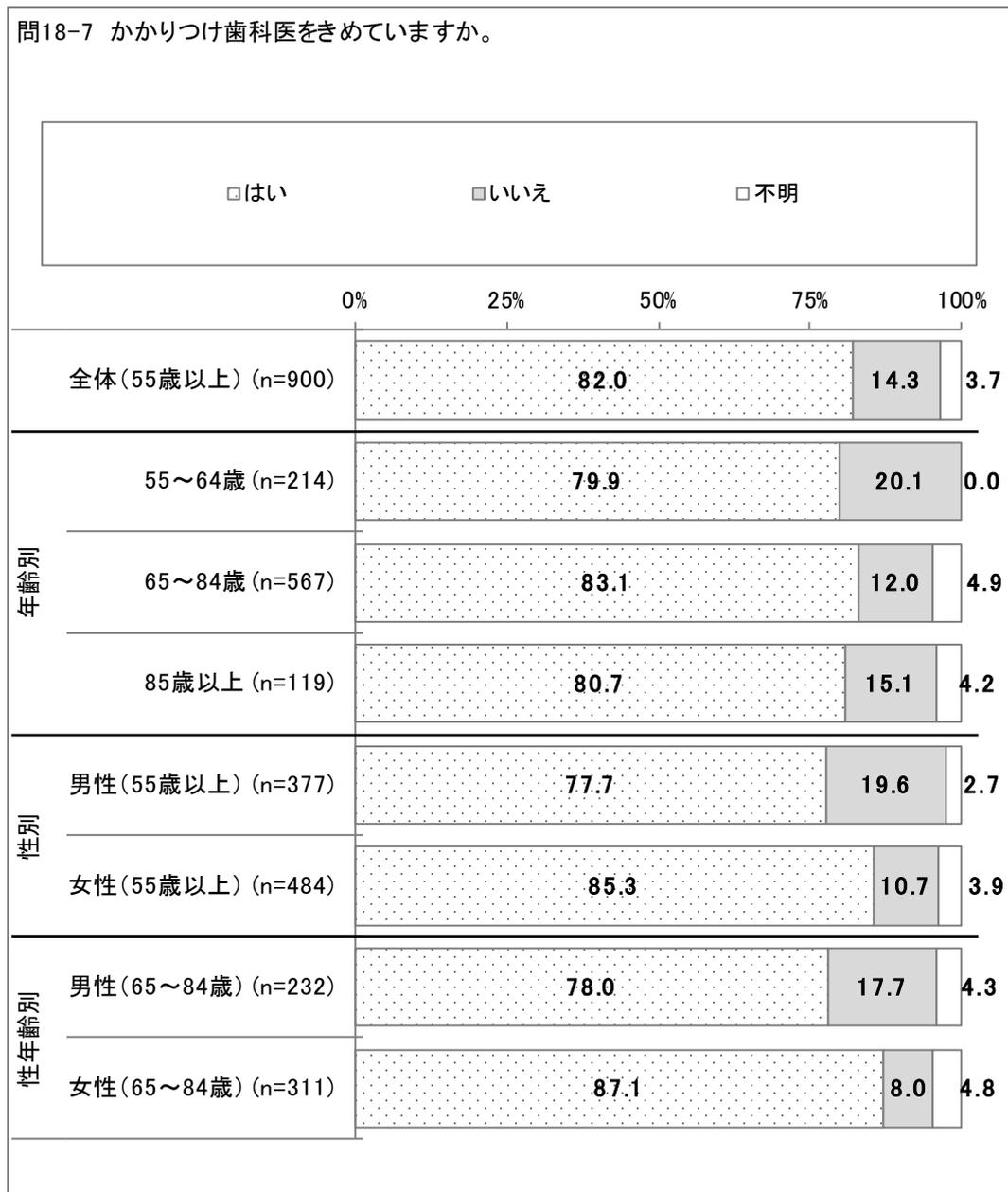
(カ) 口の渇き：全体（55歳以上）・性年齢別

- ・口の渇きが気になる方は、全体で24.1%である。
- ・年齢別では「55～64歳」では19.2%であるが「65～84歳」では26.5%と7.3ポイント上昇している。「85歳以上」は「65～84歳」を4.7ポイント下回っている。
- ・「はい」の割合を性別でみると「55歳以上」では男性が女性を2.8ポイント、「65～84歳」では2.6ポイント上回っている。



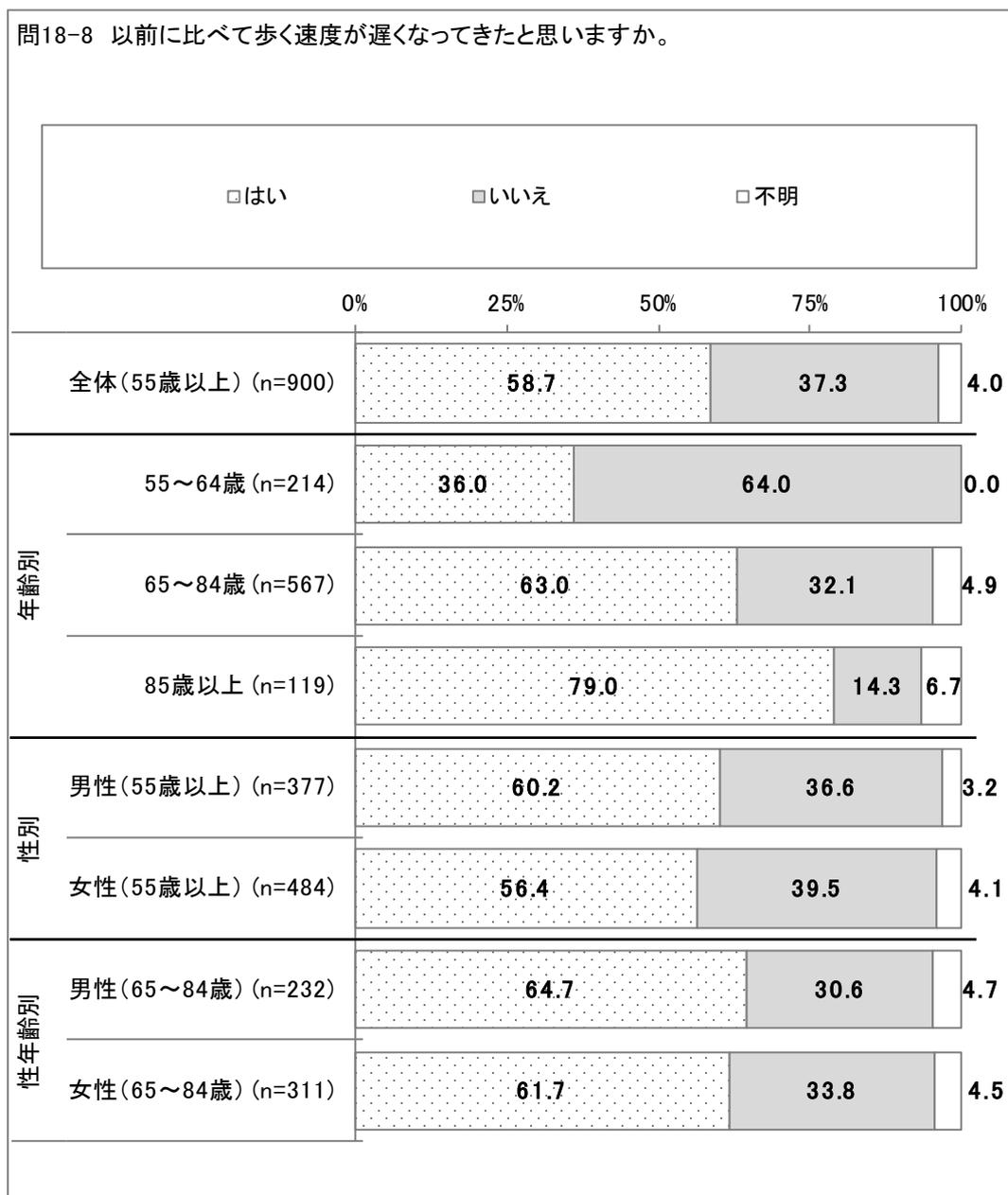
(キ) かかりつけ歯科医：全体（55歳以上）・性年齢別

- ・かかりつけ歯科医をきめている割合は全体で82.0%である。
- ・年齢別では「65～84歳」が「はい」の割合が最も高く、83.1%となっている。
- ・性別では、「55歳以上」「65～84歳」とも「はい」の割合は、女性が男性を上回っている。「55歳以上」では7.6ポイント、「65～84歳」では9.1ポイント女性の方が上回っている。



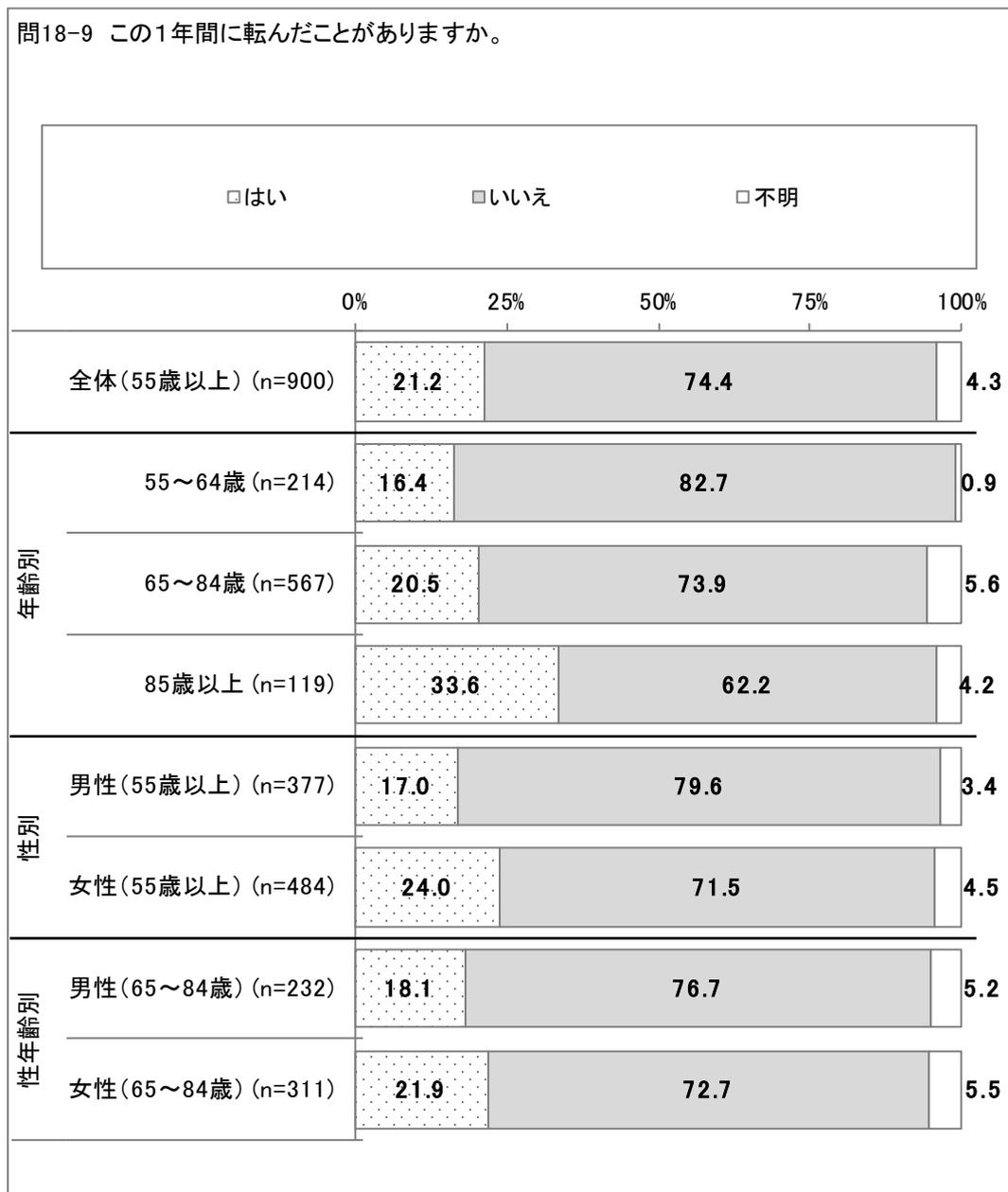
(ク) 歩く速度：全体（55歳以上）・性年齢別

- ・以前に比べて歩く速度が遅くなってきたと思う方は全体で58.7%である。
- ・年齢別では「55～64歳」では36.0%であるが「65～84歳」（63.0%）では27.0ポイント上昇している。「85歳以上」（79.0%）は「65～84歳」を16.0ポイント上回り、年齢が上がるほど歩く速度が遅くなったと感じている方は多くなっている。
- ・性別では、「55歳以上」「65～84歳」とも「はい」の割合は、男性が女性をわずかに上回っている。「55歳以上」では3.8ポイント、「65～84歳」では3.0ポイント男性の方が上回っている。



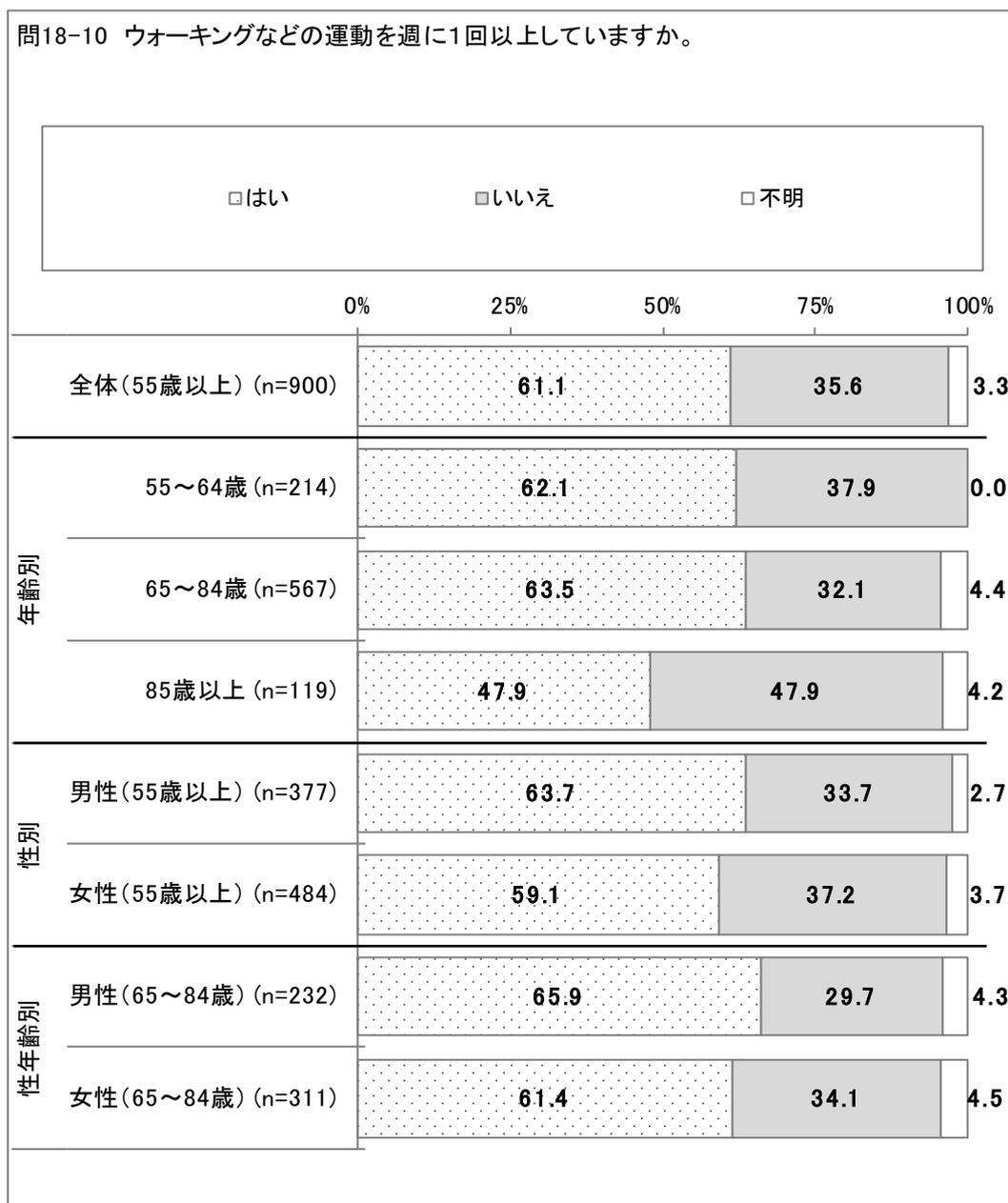
(ケ) 転んだ経験：全体（55歳以上）・性年齢別

- ・この1年間に転んだ経験がある方は全体で21.2%である。
- ・年齢別では「55～64歳」では16.4%であるが「65～84歳」（20.5%）では4.1ポイント上昇している。「85歳以上」（33.6%）は「65～84歳」を13.1ポイント上回り、年齢が上がるほど転んだ経験がある方は多くなっている。
- ・性別では、「55歳以上」「65～84歳」とも転んだ経験のある方の割合は、女性が男性を上回っている。「55歳以上」では7.0ポイント、「65～84歳」では3.8ポイント女性の方が上回っている。



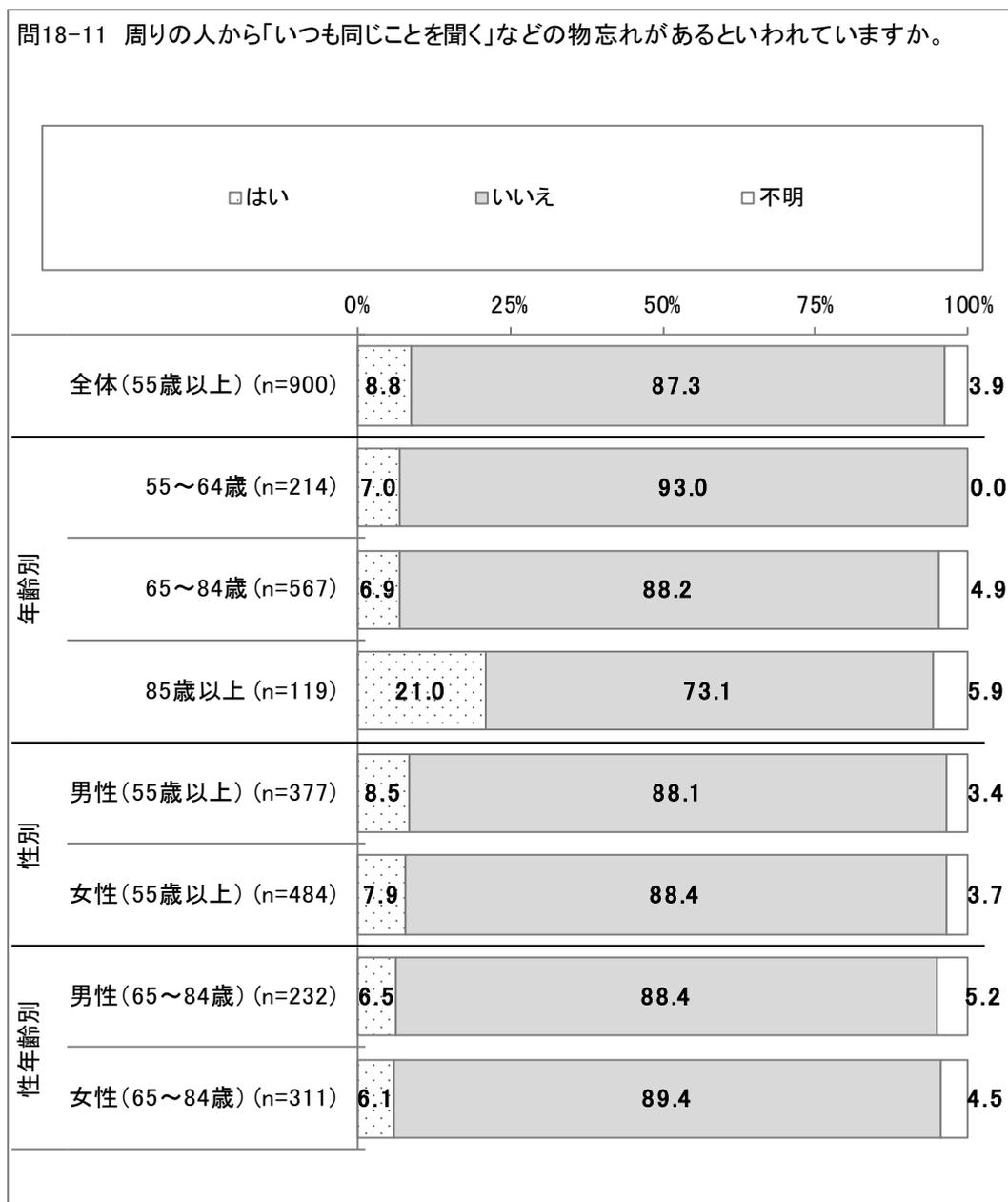
(コ) 週に1回以上の運動：全体（55歳以上）・性年齢別

- ・週1回以上の運動をしている割合は全体で61.1%である。
- ・年齢別では「65～84歳」が運動をしている割合が最も高く、63.5%となっている。
- ・性別では、「55歳以上」「65～84歳」とも運動をしている割合は、男性が女性を上回っている。「55歳以上」では4.6ポイント、「65～84歳」では4.5ポイント男性の方が上回っている。



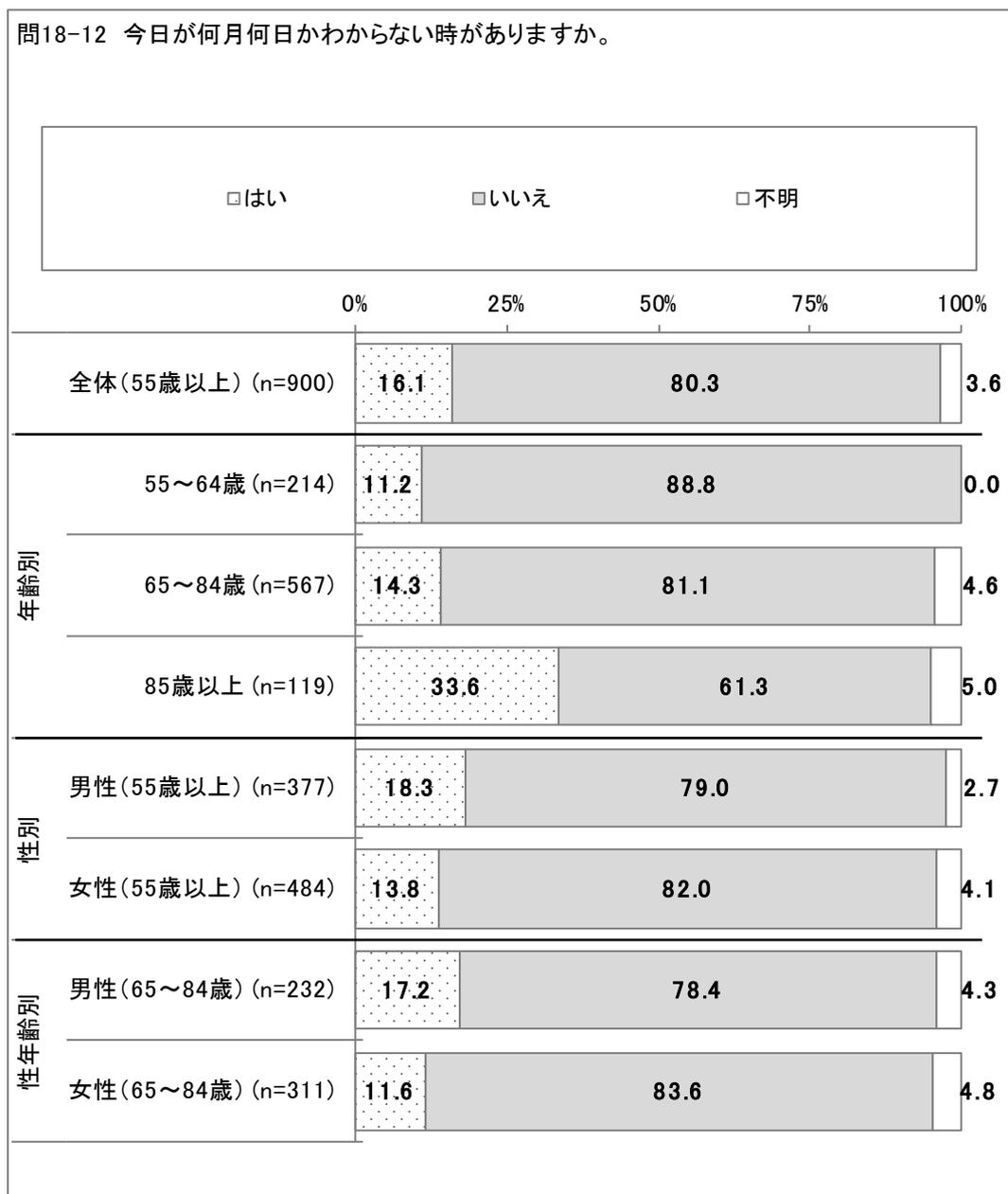
(サ) 物忘れ：全体（55歳以上）・性年齢別

- ・周りの人から「いつも同じことを聞く」などの物忘れがあるといわれている割合は全体で8.8%である。
- ・年齢別では「55～64歳」と「65～84歳」は全体（8.8%）を下回っているが、「85歳以上」（21.0%）は全体を12.2ポイント上回っている。
- ・性別では、「55歳以上」「65～84歳」とも大きな男女差は見られないが、「55歳以上」では0.6ポイント、「65～84歳」では0.4ポイントとわずかに男性が女性を上回っている。



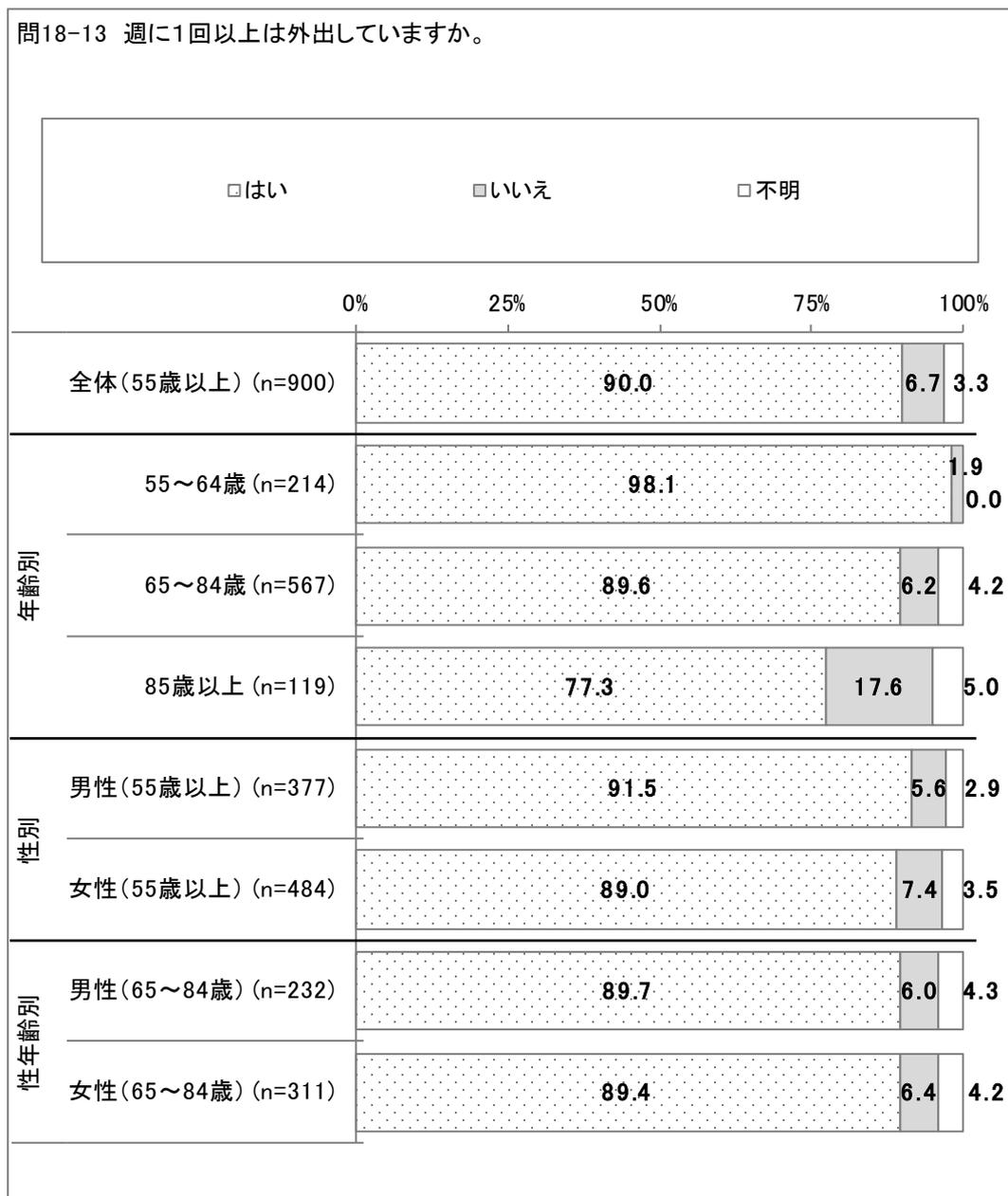
(シ) 時間の見当識：全体（55歳以上）・性年齢別

- ・今日が何月何日かわからない時があると回答した割合は全体で16.1%である。
- ・年齢別では「55～64歳」と「65～84歳」は全体（16.1%）を下回っているが、「85歳以上」（33.6%）は全体を17.5ポイント上回っている。
- ・性別では、「55歳以上」「65～84歳」とも「はい」の割合は、「55歳以上」では4.5ポイント、「65～84歳」では5.6ポイント、男性が女性を上回っている。



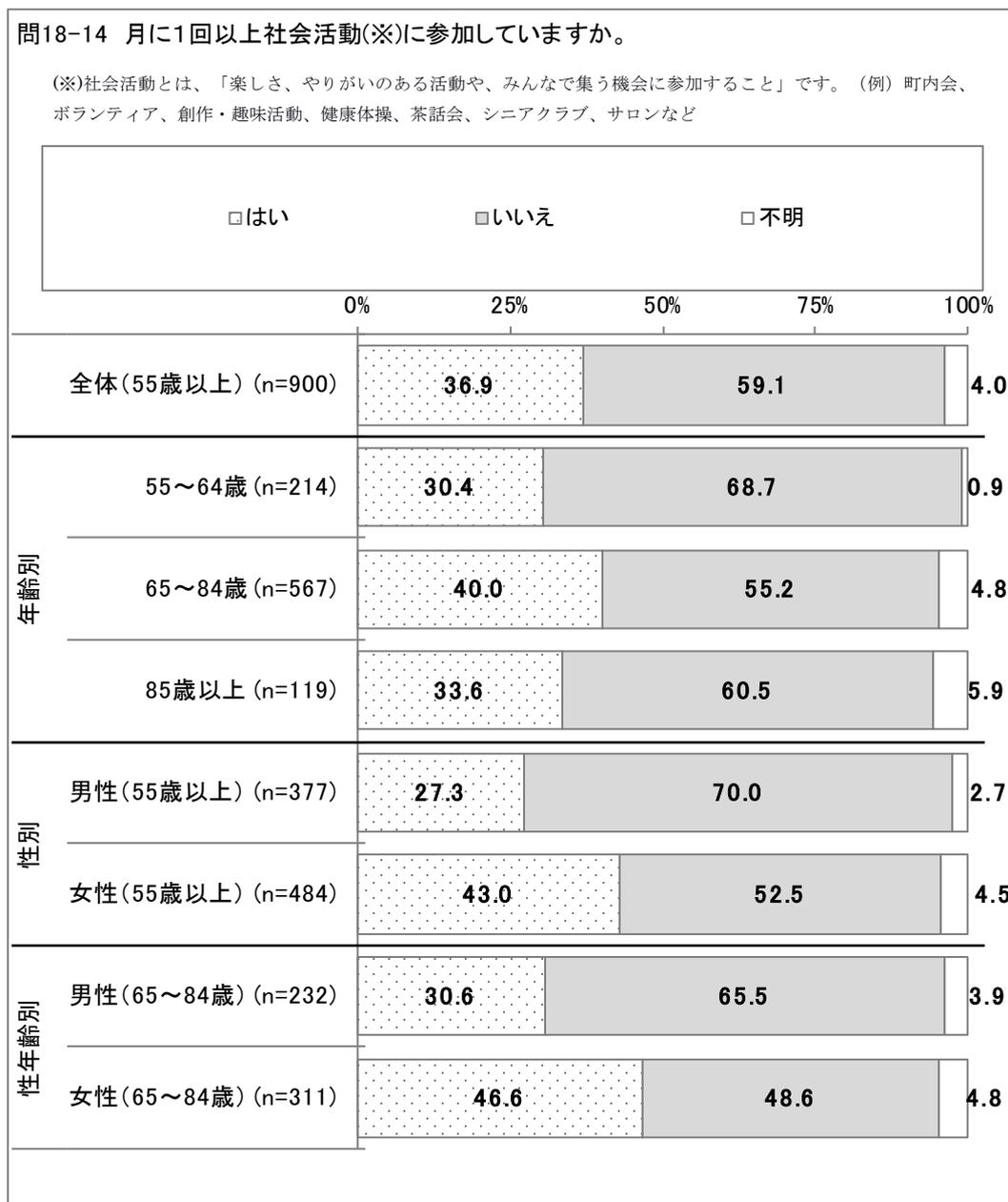
(ス) 週に1回以上の外出：全体（55歳以上）・性年齢別

- ・週に1回以上外出している方の割合は全体で90.0%である。
- ・年齢別では「55～64歳」（98.1%）では全体（90.0%）を8.1ポイント上回っているが、「65～84歳」（89.6%）は0.4ポイント、「85歳以上」（77.3%）は12.7ポイント、それぞれ全体を下回っており、年齢が上がるほど外出している割合は低くなっている。
- ・性別では、「55歳以上」「65～84歳」とも「はい」の割合は、わずかに男性が女性を上回っており、その差は「55歳以上」では2.5ポイント、「65～84歳」では0.3ポイントである。



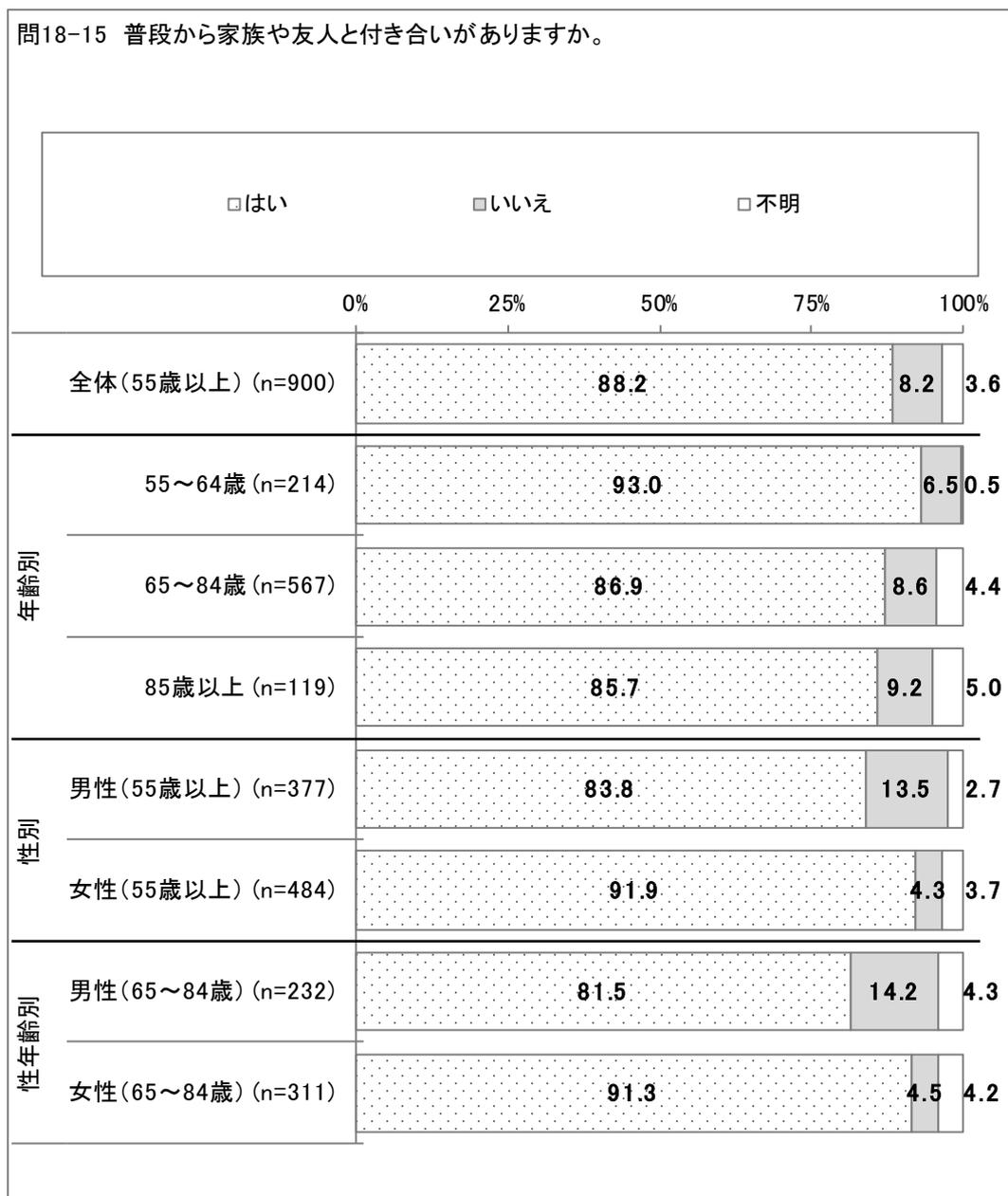
(㉗) 社会活動への参加：全体（55歳以上）・性年齢別

- ・月に1回以上社会活動に参加している割合は全体で36.9%である。
- ・年齢別では「65～84歳」が「はい」の割合が最も高く、40.0%となっている。
- ・性別では、「55歳以上」「65～84歳」とも「はい」の割合は、女性が男性を約16ポイント上回っている。



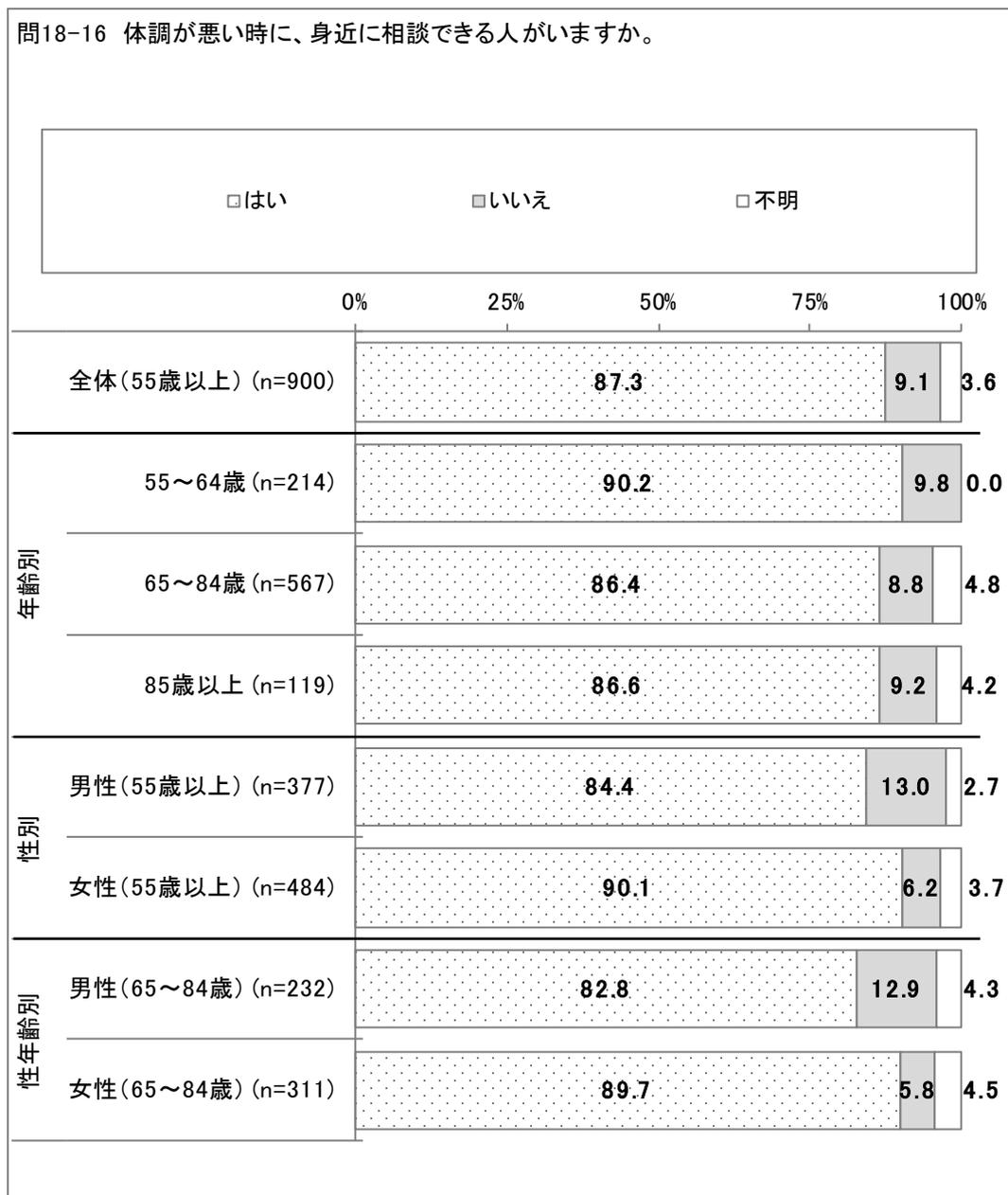
(7) 家族や友人との付き合い：全体（55歳以上）・性年齢別

- ・普段から家族や友人と付き合いがある方の割合は全体で88.2%である。
- ・年齢別では「55～64歳」（93.0%）、「65～84歳」（86.9%）、「85歳以上」（85.7%）と、年齢が上がるほど家族や友人と付き合いがある割合は低くなる傾向がみられる。
- ・性別では、「55歳以上」「65～84歳」とも「はい」の割合は、女性が男性を上回っており、その差は「55歳以上」では8.1ポイント、「65～84歳」では9.8ポイントである。



(㌥) 体調が悪い時に相談できる人の有無：全体（55歳以上）・性年齢別

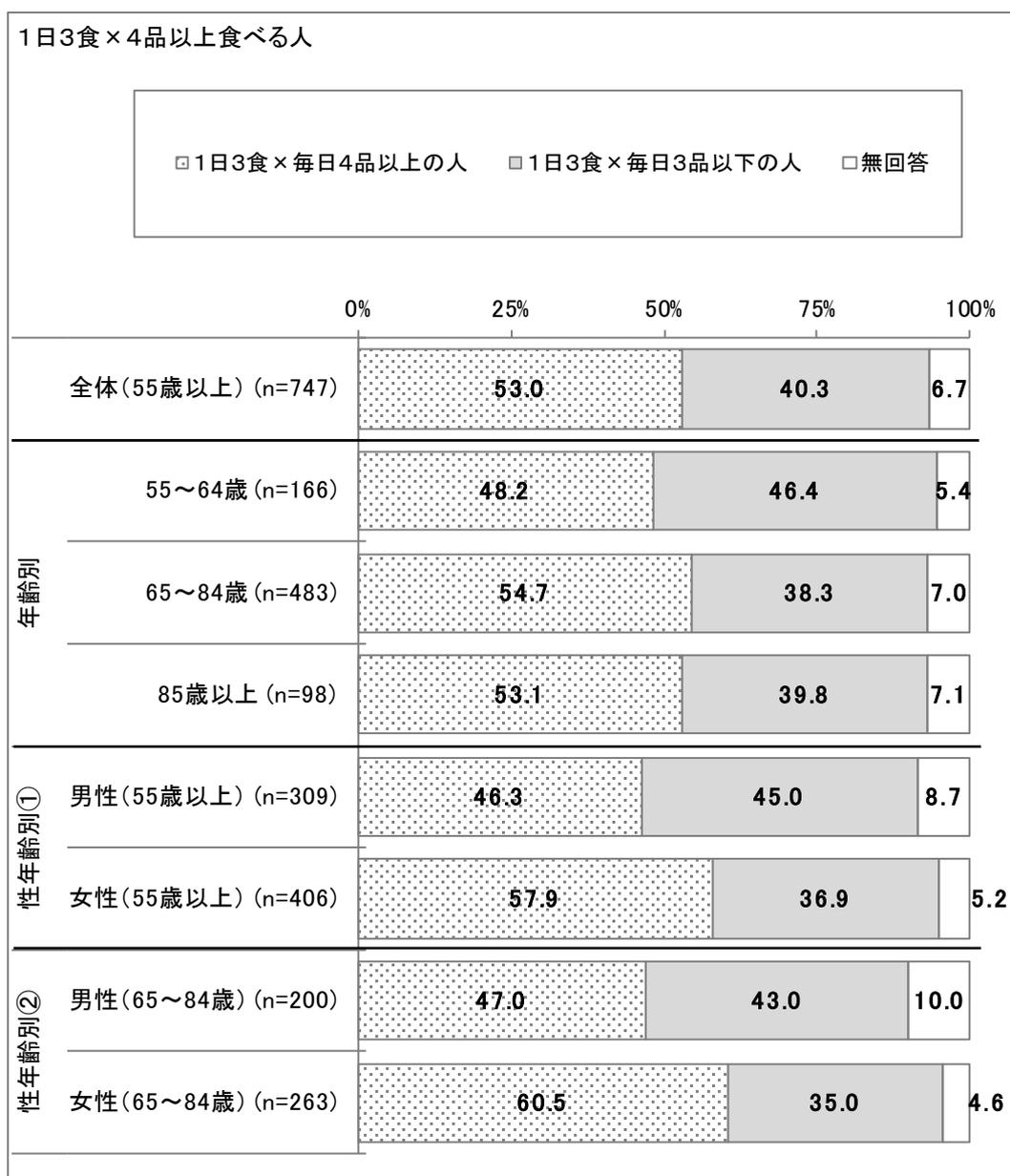
- ・体調が悪い時に、身近に相談できる人がいる割合は全体で87.3%である。
- ・年齢別では「55～64歳」（90.2%）が「はい」の割合は最も高く、「85歳以上」（86.6%）、「65～84歳」（86.4%）の順になっている。
- ・性別では、「55歳以上」「65～84歳」とも「はい」の割合は、女性が男性を上回っており、その差は「55歳以上」では5.7ポイント、「65～84歳」では6.9ポイントである。



(6) 1日3食食べる人のうち4品以上毎日食べる人 (問17・18)

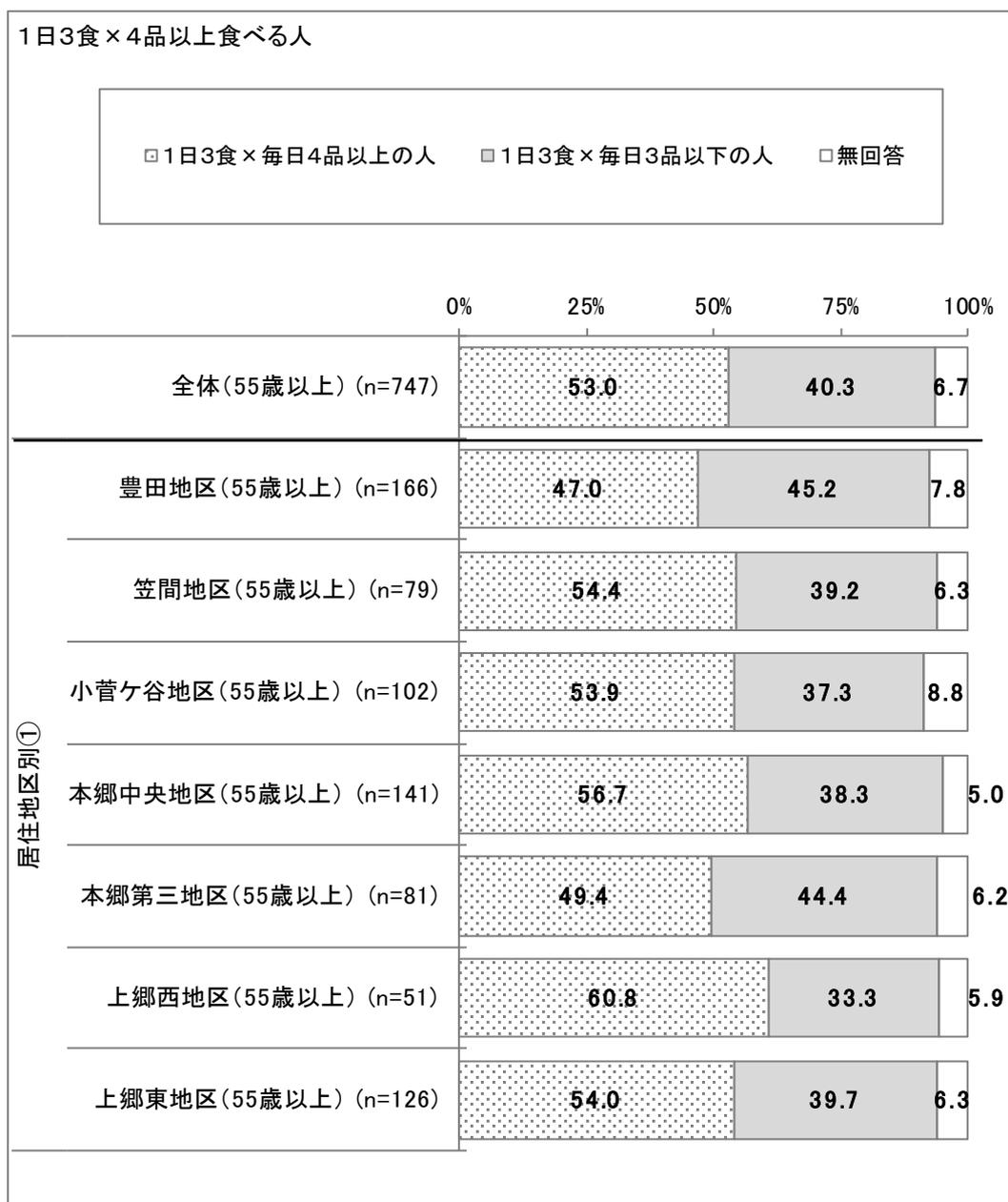
ア 1日3食、4品以上毎日食べる人：全体・年齢別

- ・ 1日3食きちんと食べている人 (問18) のうち、4品以上毎日食べる人 (問17) の集計により求めた。
- ・ 1日3食食べる人のうち4品以上毎日食べる割合は53.0%である。年齢別では「65～84歳」(54.7%)、「85歳以上」(53.1%)、「55～64歳」(48.2%)の順に該当者の割合が高くなっている。
- ・ 性別では、「55歳以上」「65～84歳」とも該当者の割合は、女性が男性を上回っており、その差は「55歳以上」では11.6ポイント、「65～84歳」では13.5ポイントである。

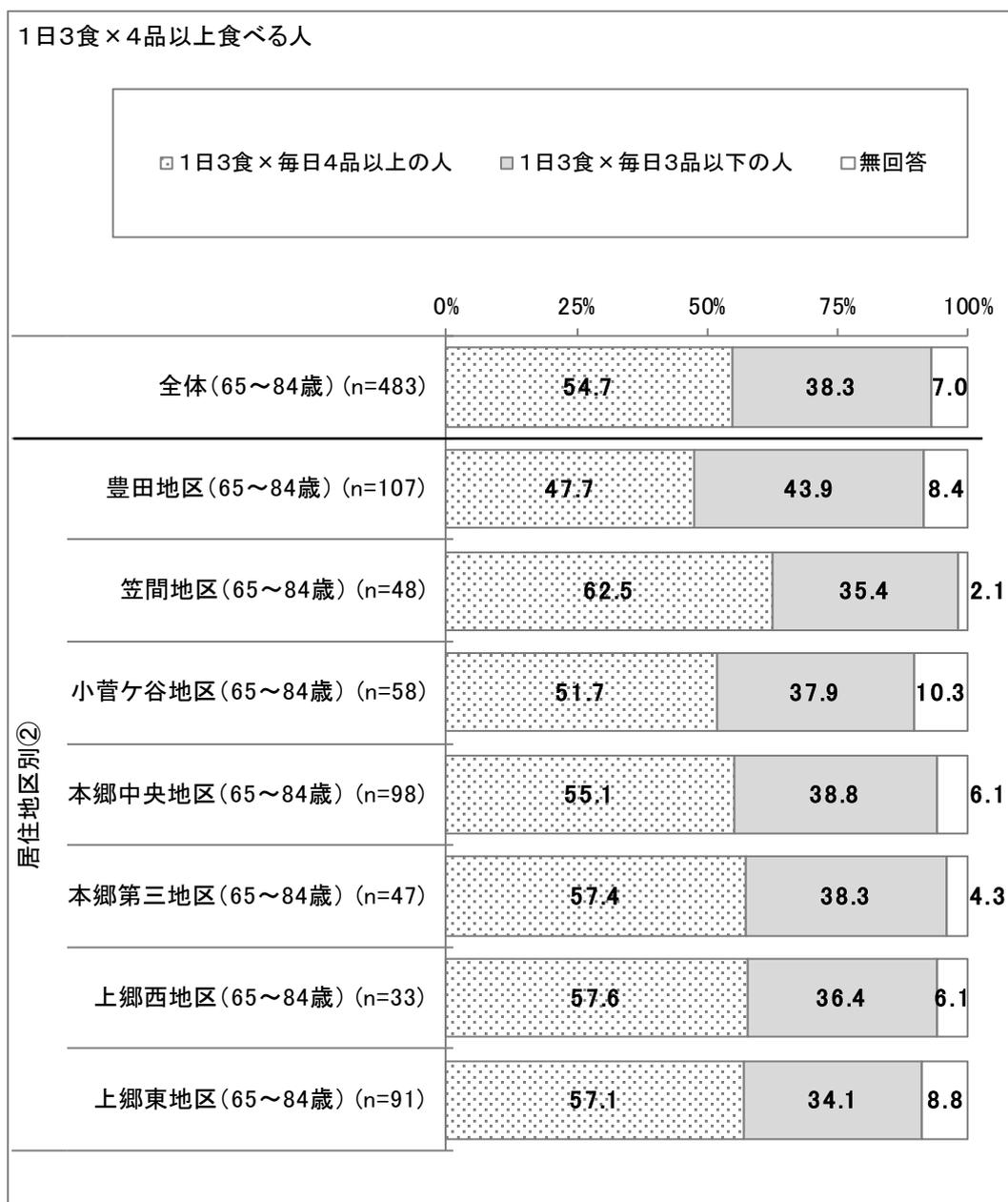


イ 1日3食、4品以上毎日食べる人：全体（55歳以上）・居住地区別

- ・居住地区別でみると、1日3食きちんと食べている人のうち4品以上毎日食べている割合が最も高いのは「上郷西地区」（60.8%）で、「本郷中央地区」（56.7%）、「笠間地区」（54.4%）と続いている。



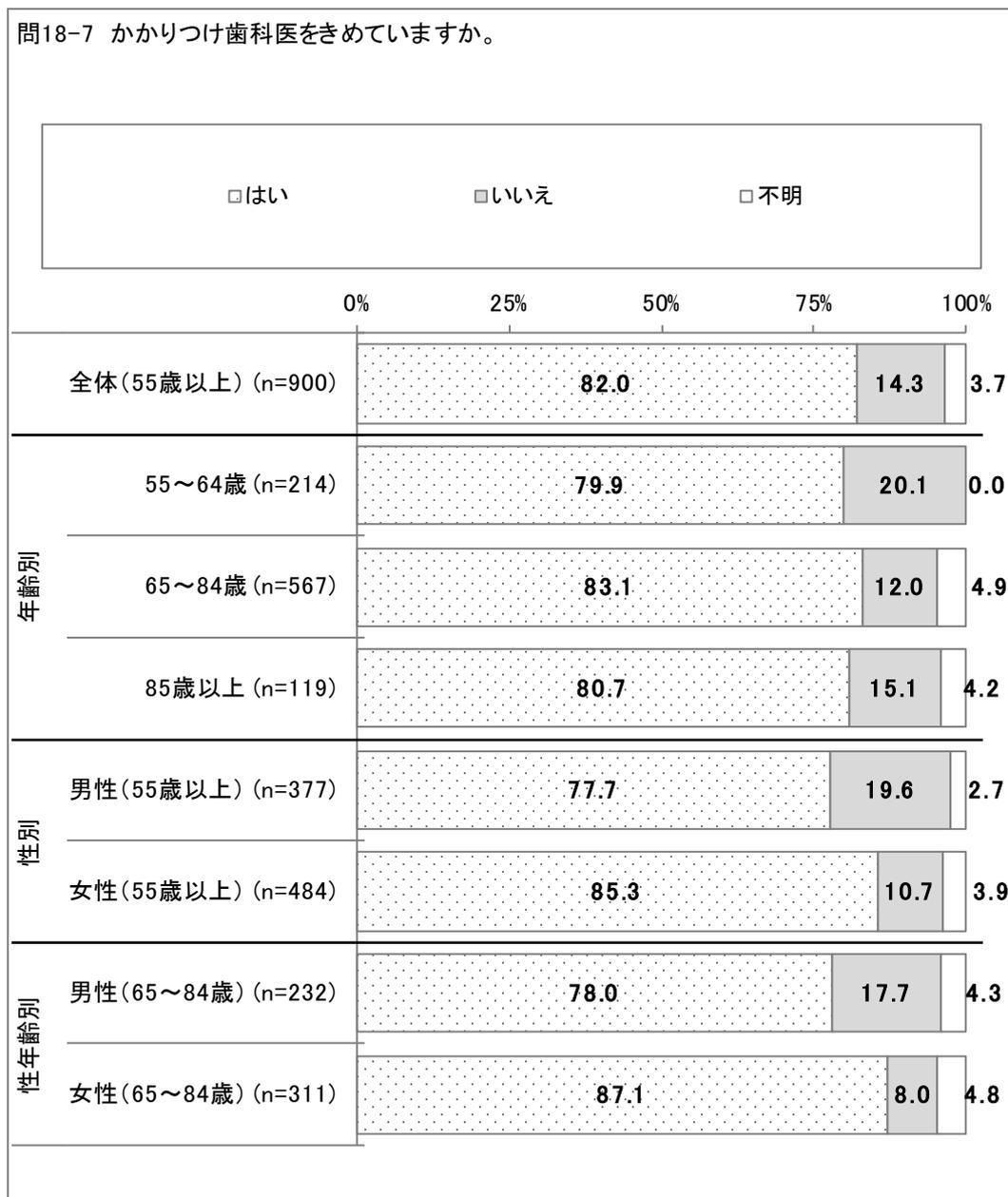
ウ 1日3食、4品以上毎日食べる人：全体（65～84歳）・居住地区別
 ・65～84歳の居住地区別で該当者の割合が最も高いのは「笠間地区」（62.5%）で、「上郷西地区」（57.6%）、「本郷第三地区」（57.4%）と続いている。



(7) かかりつけ歯科医（問 18）

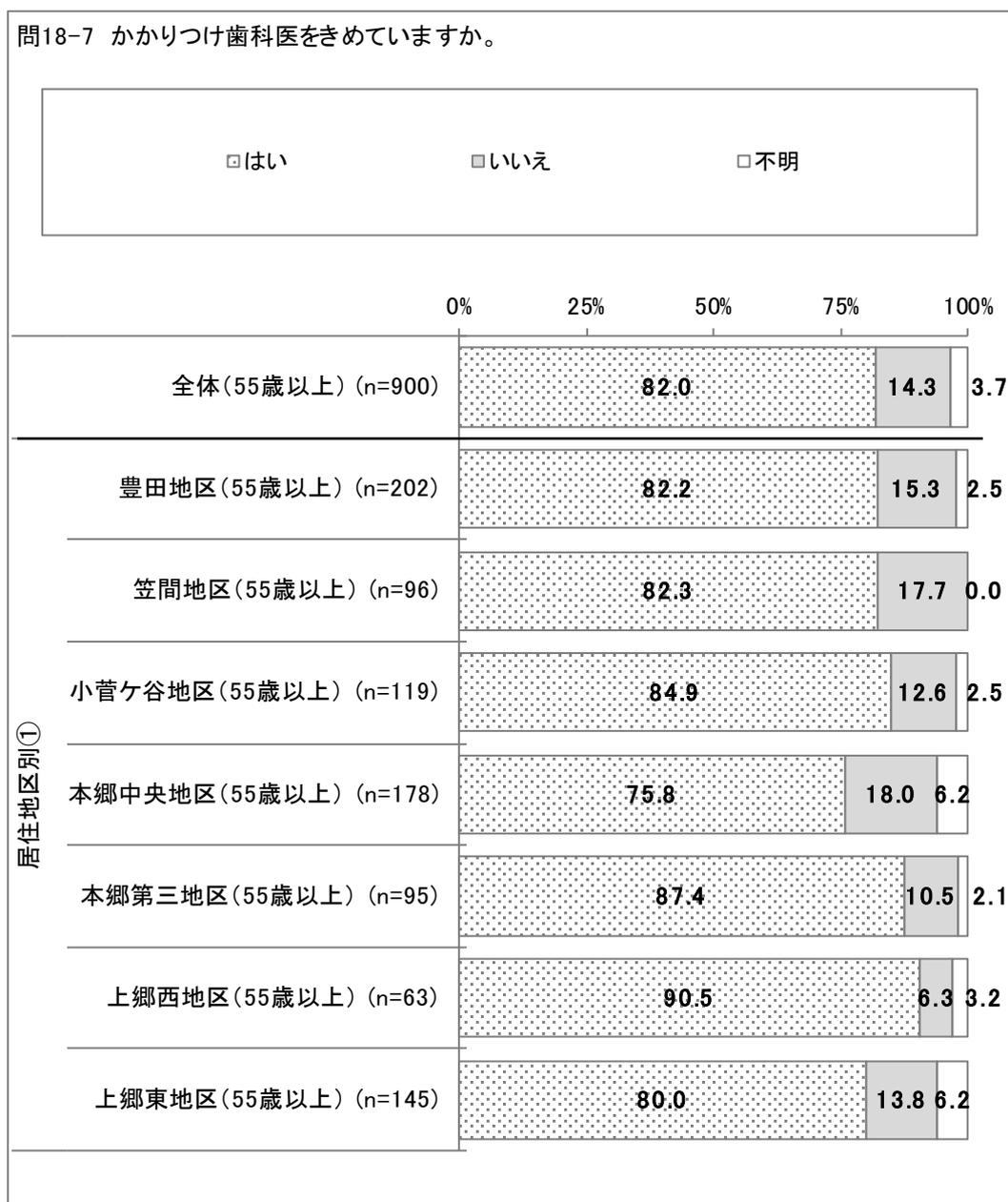
ア かかりつけ歯科医：全体（55 歳以上）・年齢別・性別（再掲）

- ・かかりつけ歯科医をきめている割合は全体で 82.0%である。
- ・年齢別では「65～84 歳」が「はい」の割合が最も高く、83.1%となっている。
- ・性別では、「55 歳以上」「65～84 歳」とも「はい」の割合は、女性が男性を上回っている。「55 歳以上」では 7.6 ポイント、「65～84 歳」では 9.1 ポイント女性の方が上回っている。



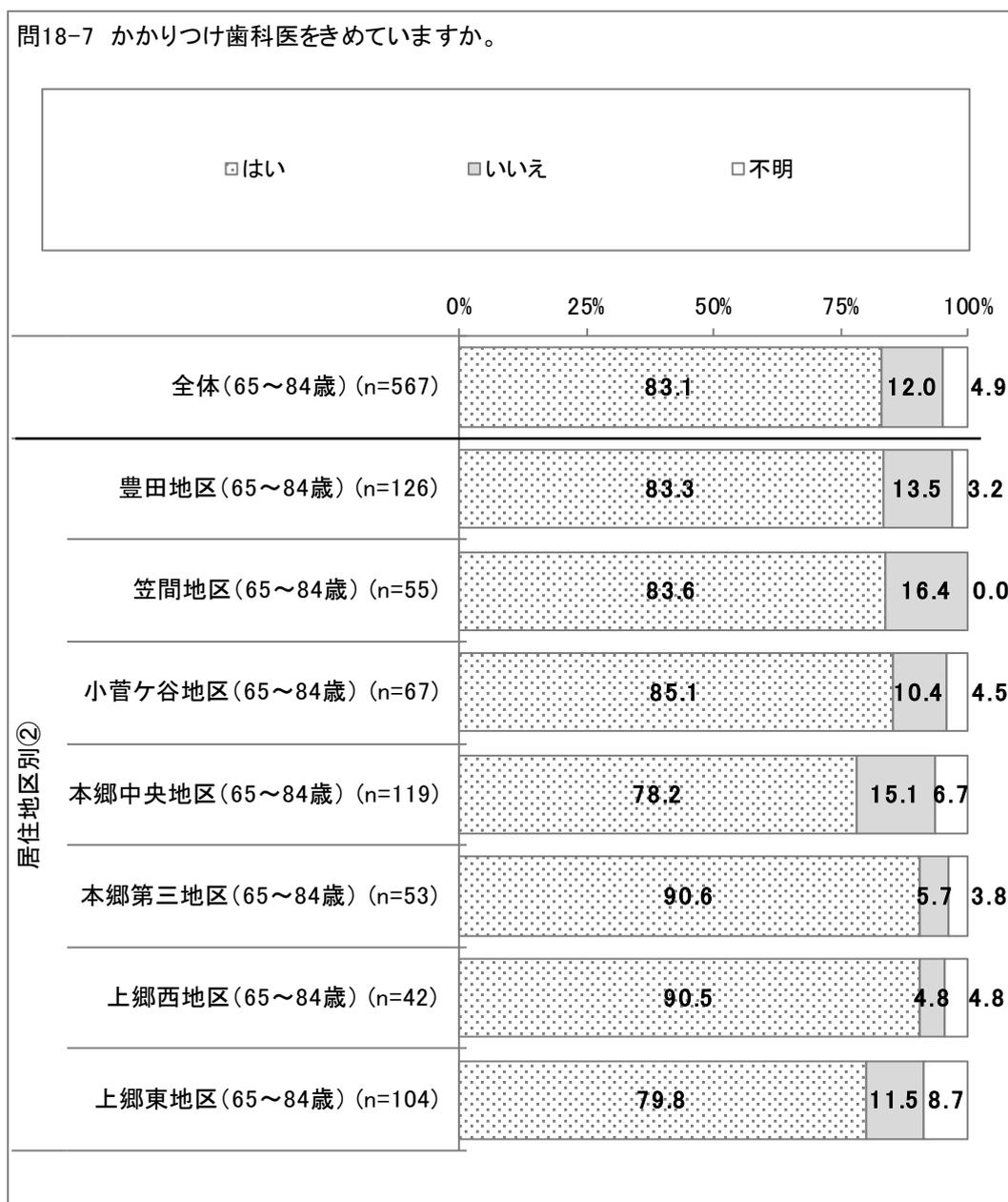
イ かかりつけ歯科医：全体（55歳以上）・居住地区別

- ・居住地区別では「はい（決めている）」の割合が最も高いのは「上郷西地区」（90.5%）で、「本郷第三地区」（87.4%）、「小菅ヶ谷地区」（84.9%）と続いている。



ウ かかりつけ歯科医：全体（65～84歳）・居住地区別

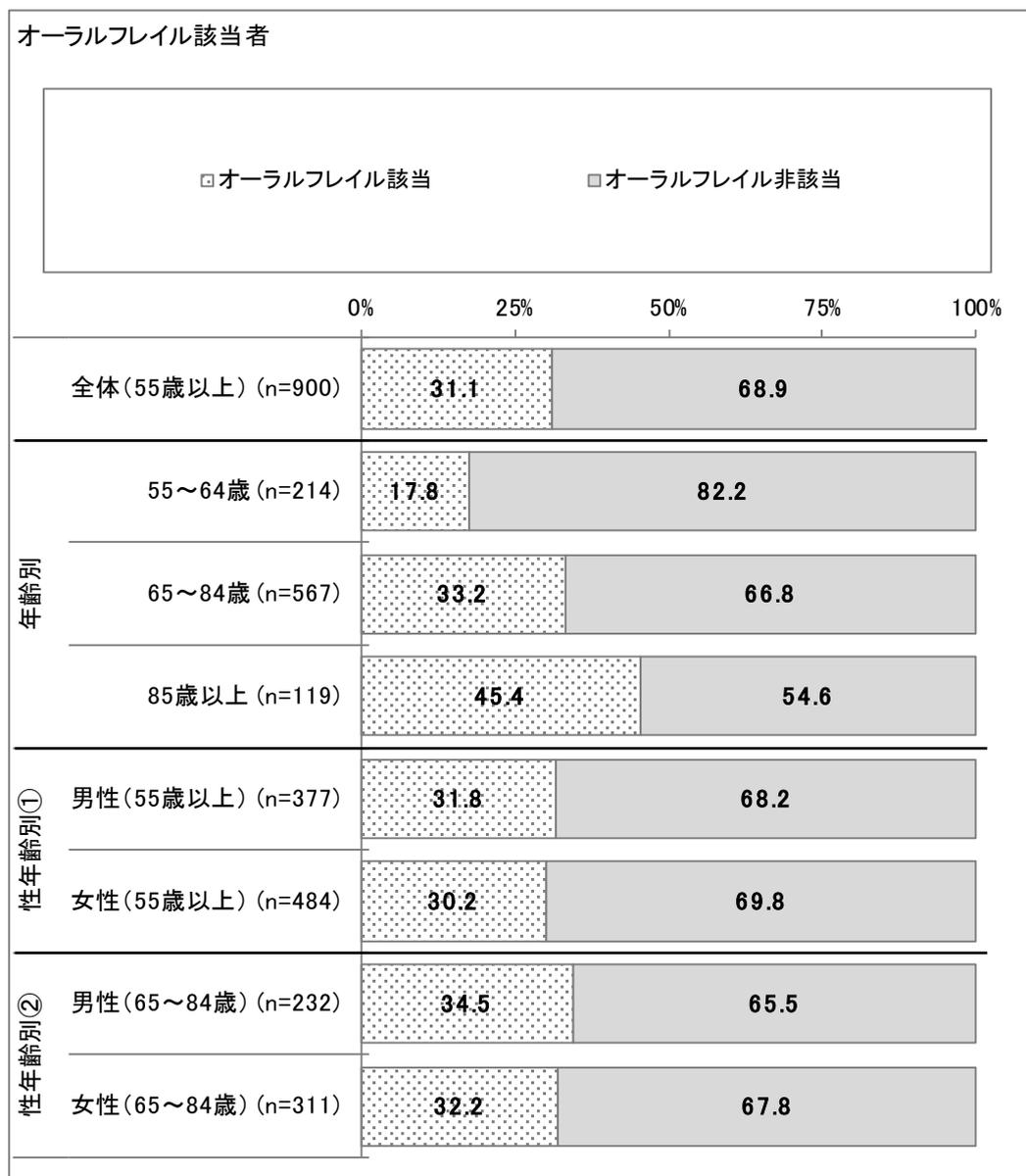
- ・65～84歳の居住地区別では「はい（決めている）」の割合が最も高いのは「本郷第三地区」（90.6%）で、「上郷西地区」（90.5%）、「小菅ヶ谷地区」（85.1%）と続いている。



(8) オーラルフレイル（問 18）

ア オーラルフレイル：全体（55 歳以上）・年齢別・性別

- ※オーラルフレイルとは、お口のささいな衰えから始まる「お口の虚弱」
- ・オーラルフレイルの該当者を複数の項目の集計^(※)により求めた。
- ・該当者は 55 歳以上全体の 31.1%で、「55～64 歳」は 17.8%、「65～84 歳」は 33.2%、「85 歳以上」は 45.4%と年代が上がるほど該当者も多くなっている。
- ・「65～84 歳」では男性の該当割合が女性を 2.3 ポイント上回っている。



※「オーラルフレイル」該当者の算出

- ・問 18-3、問 18-4、問 18-5、問 18-6 を「はい」と回答した人のうち、以下の点数の合計が 3 点以上の人
- ・問 18-3 「はい」：2 点、問 18-4 「はい」：2 点、問 18-5 「はい」：2 点、問 18-6 「はい」：1 点

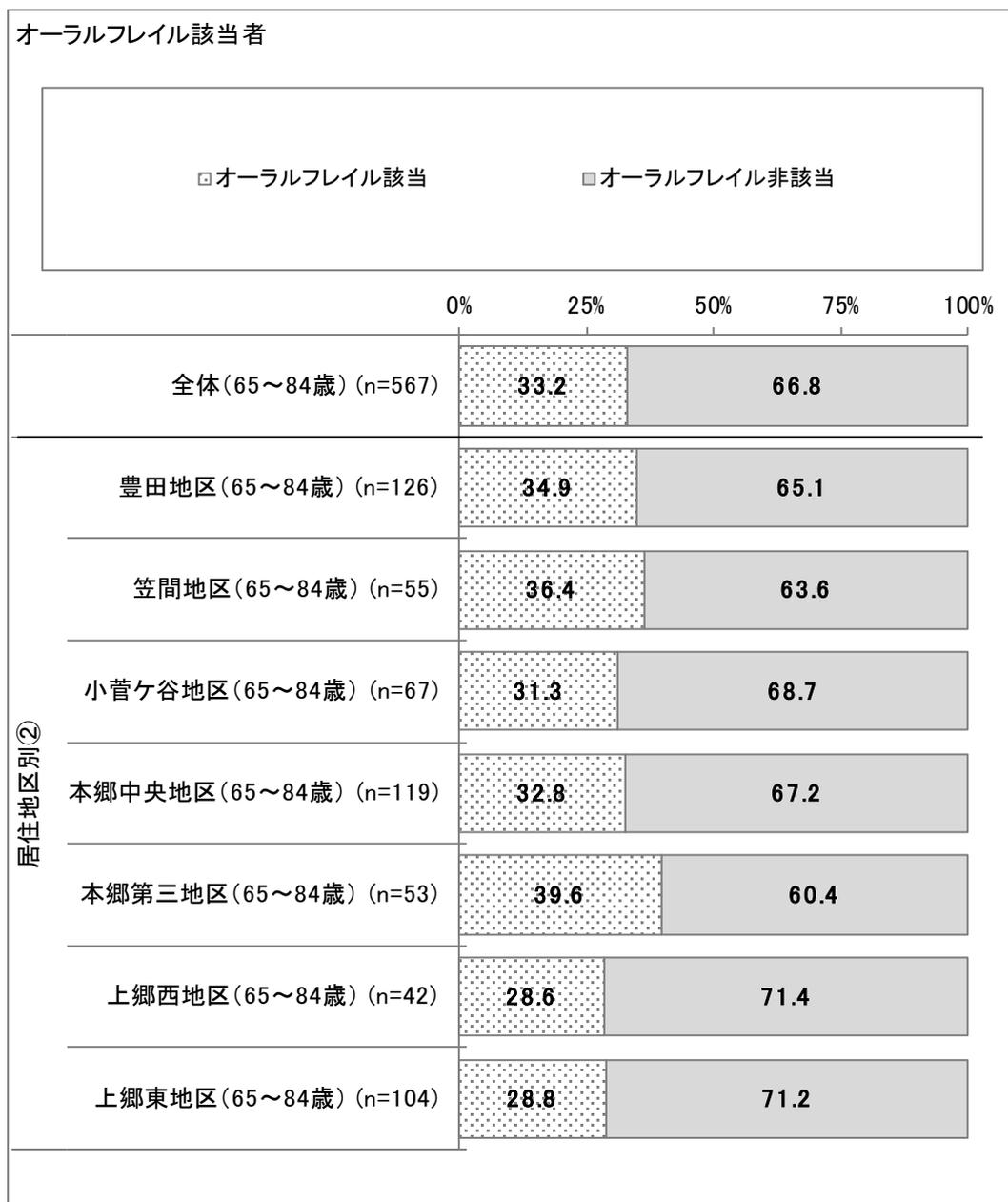
イ オーラルフレイル：居住地区別（55歳以上）

- ・居住地区別（55歳以上）では「本郷第三地区」（35.8%）、「豊田地区」（35.6%）、「本郷中央地区」（31.5%）で該当者の割合が全体を上回っている。



ウ オーラルフレイル：居住地区別（65～84歳）

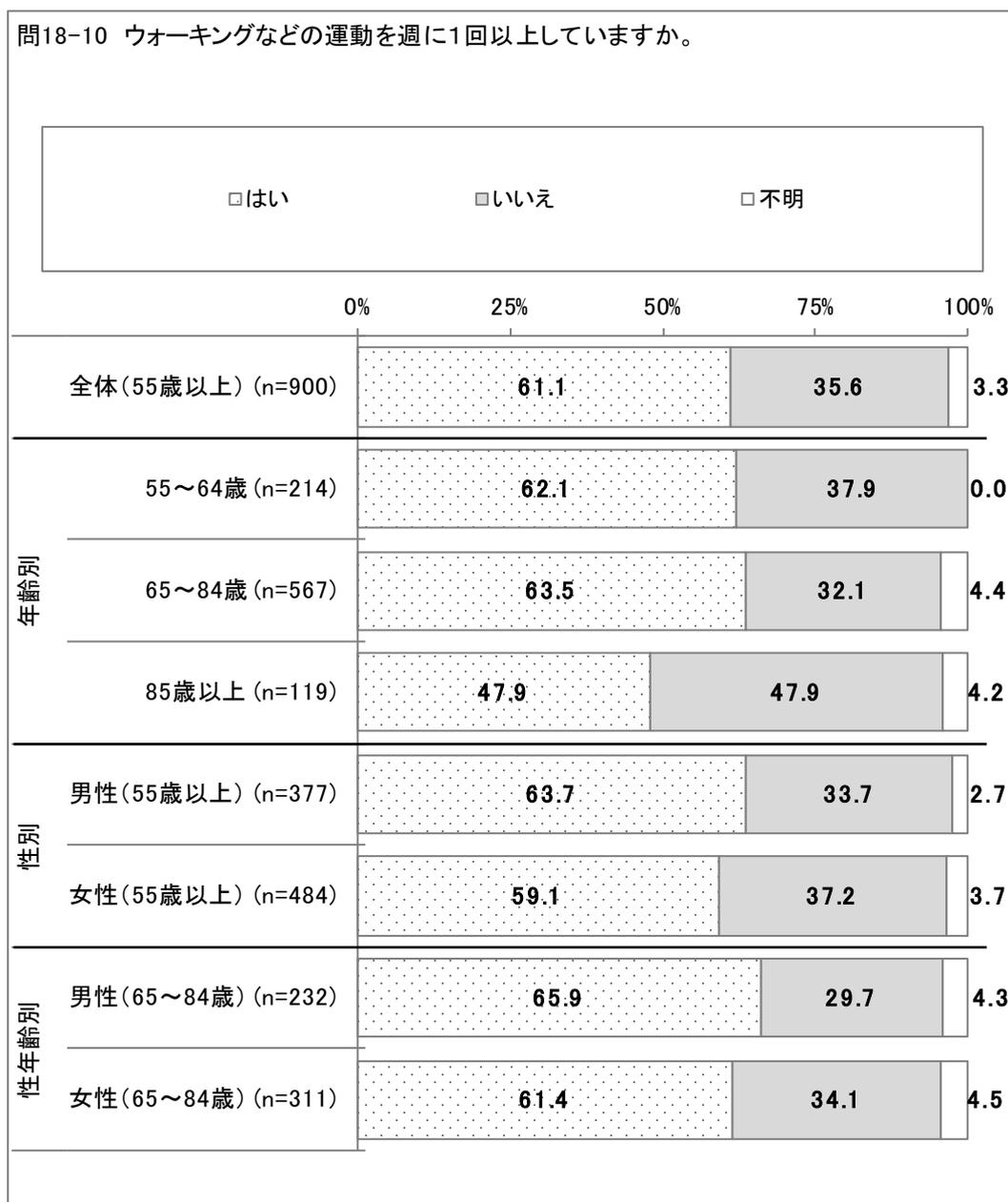
- ・居住地区別（65～84歳）では「本郷第三地区」（39.6%）、「笠間地区」（36.4%）、「豊田地区」（34.9%）で該当者の割合が65～84歳全体を上回っている。



(9) ウォーキングなどの週に1回以上の運動（問18）

ア 週1回以上の運動：全体（55歳以上）・年齢別・性別（再掲）

- ・週1回以上の運動をしている割合は全体で61.1%である。
- ・年齢別では「65～84歳」が運動をしている割合が最も高く、63.5%となっている。
- ・性別では、「55歳以上」「65～84歳」とも運動をしている割合は、男性が女性を上回っている。「55歳以上」では4.6ポイント、「65～84歳」では4.5ポイント男性の方が上回っている。



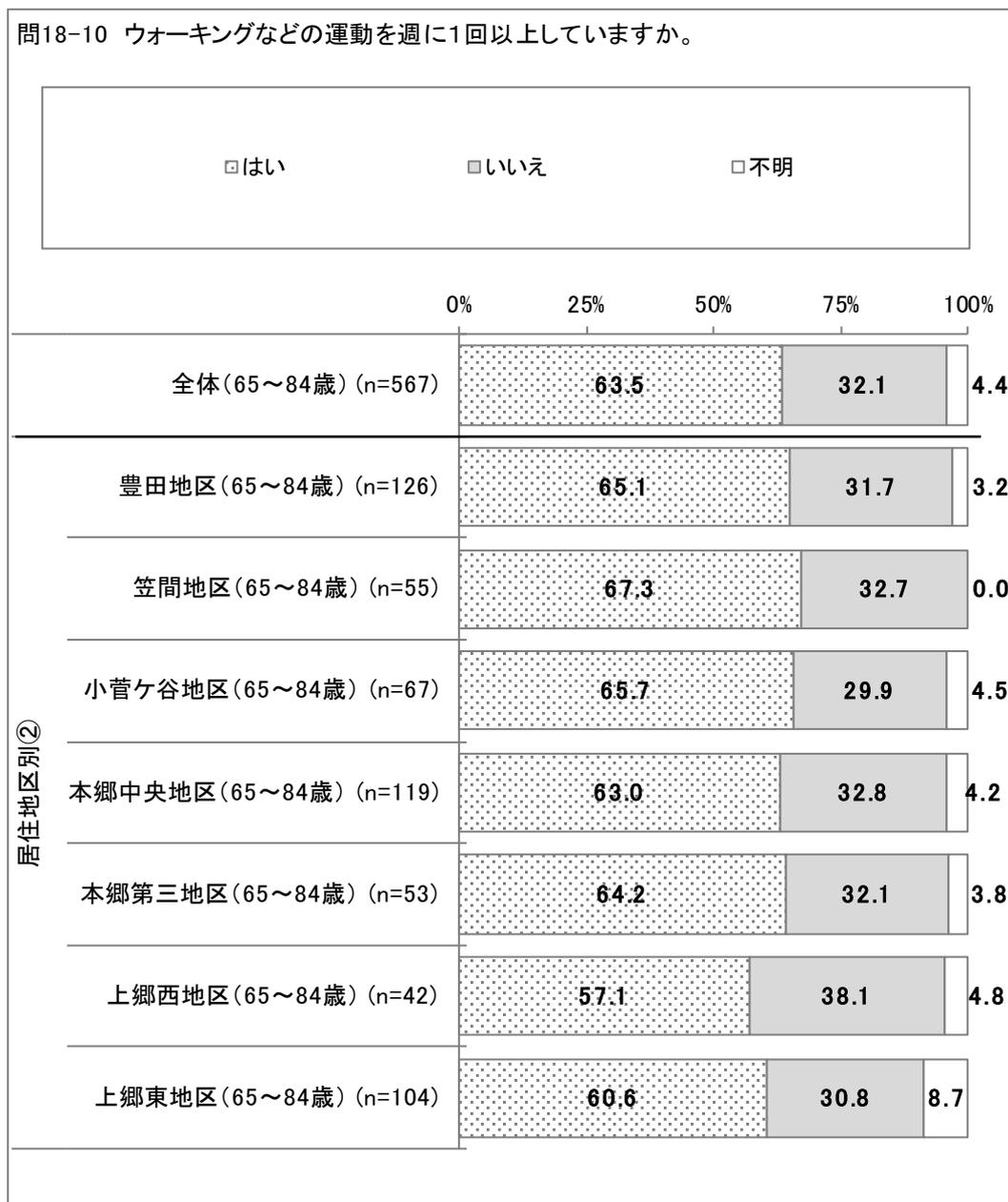
イ 週1回以上の運動：全体（55歳以上）・居住地区別

- ・居住地区別では「はい」の割合が最も高いのは「小菅ヶ谷地区」（65.5%）で、「本郷中央地区」（62.4%）、「上郷東地区」（62.1%）と続いている。



ウ 週1回以上の運動：全体（65～84歳）・居住地区別

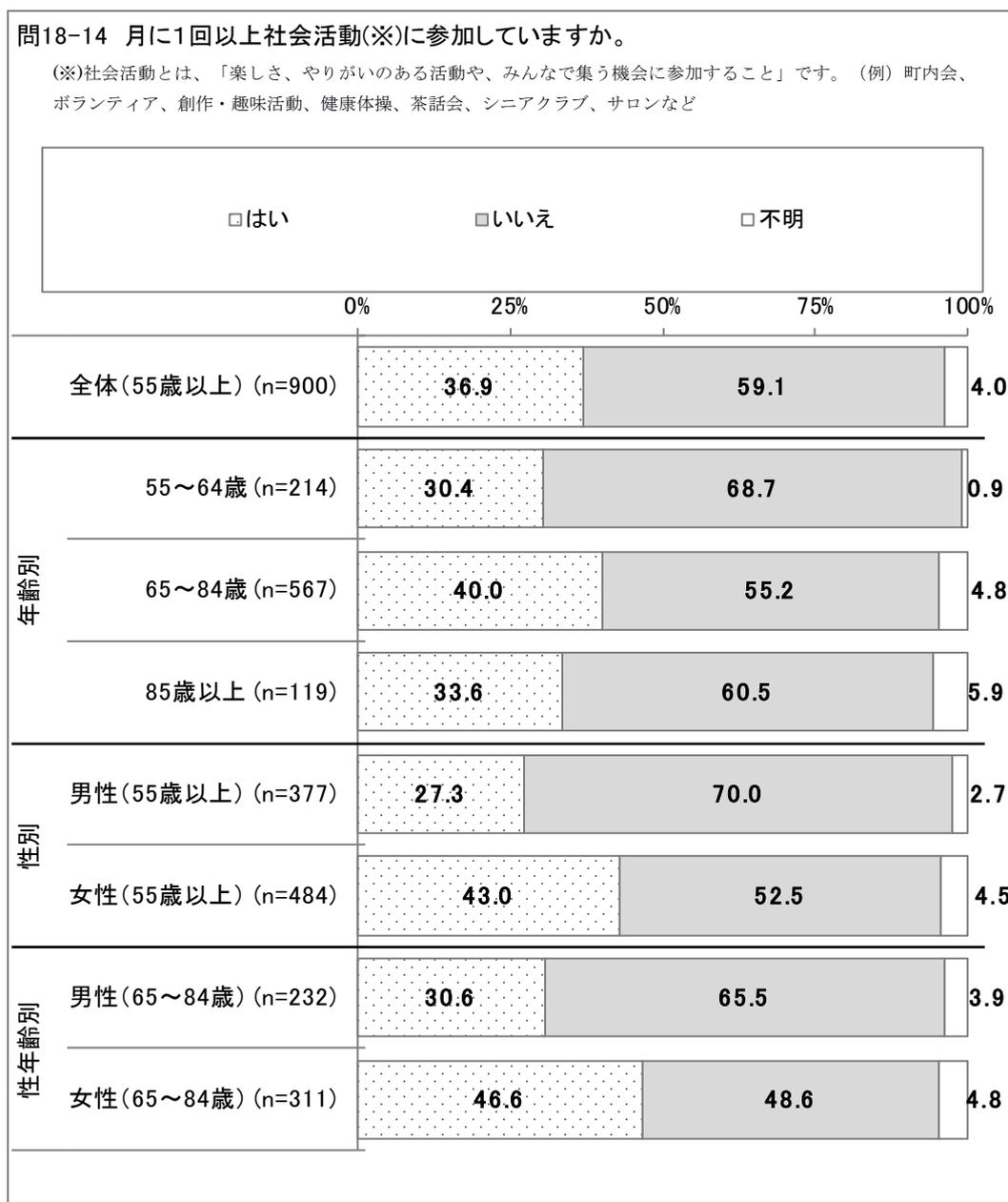
- ・65～84歳の居住地区別では「はい」の割合が最も高いのは「笠間地区」（67.3%）で、「小菅ヶ谷地区」（65.7%）、「豊田地区」（65.1%）と続いている。



(10) 月に1回以上の社会活動への参加（問18）

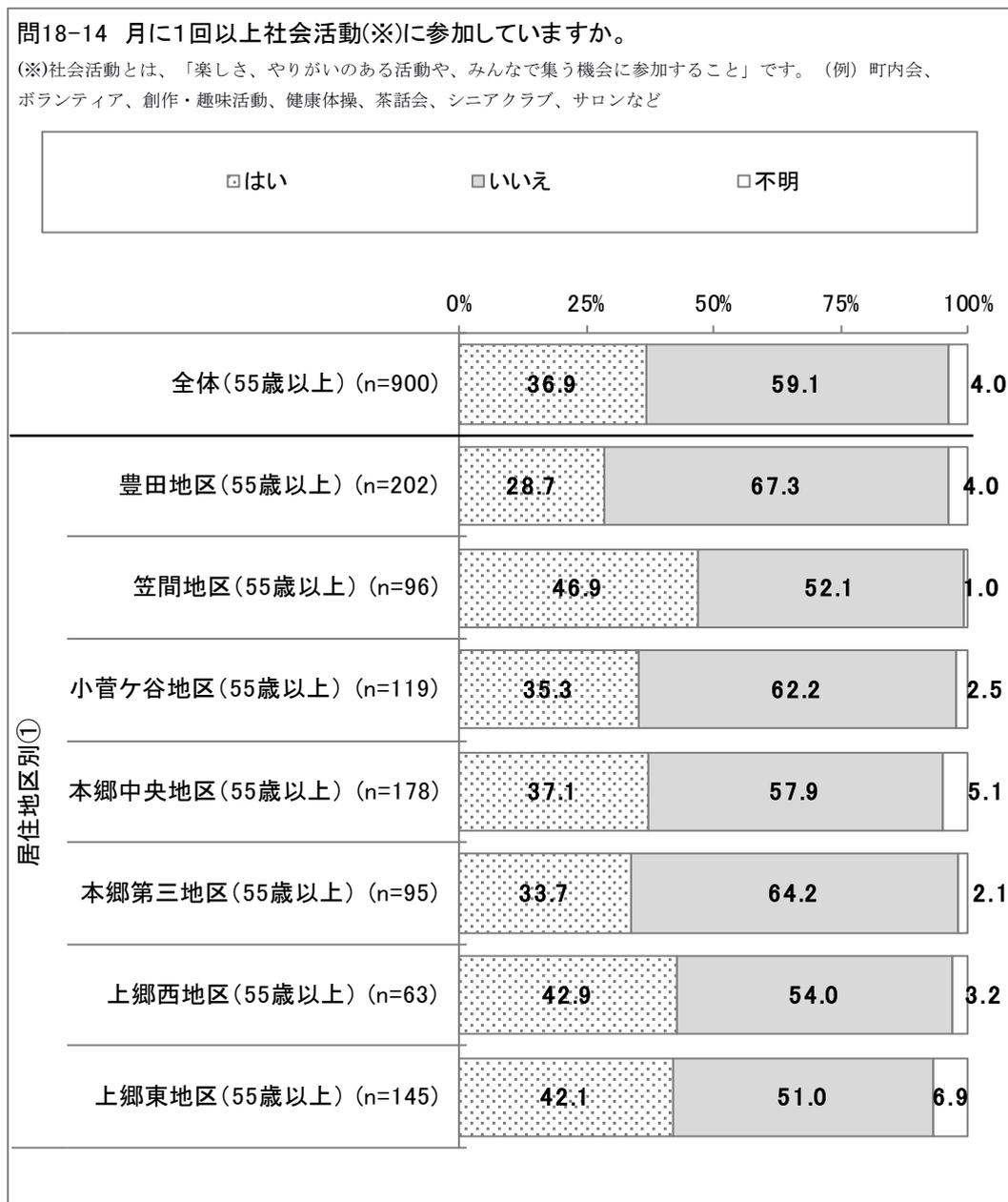
ア 社会活動への参加：全体（55歳以上）・年齢別・性別（再掲）

- ・月に1回以上社会活動に参加している割合は全体で36.9%である。
- ・年齢別では「65～84歳」が「はい」の割合が最も高く、40.0%となっている。
- ・性別では、「55歳以上」「65～84歳」とも「はい」の割合は、女性が男性を約16ポイント上回っている。



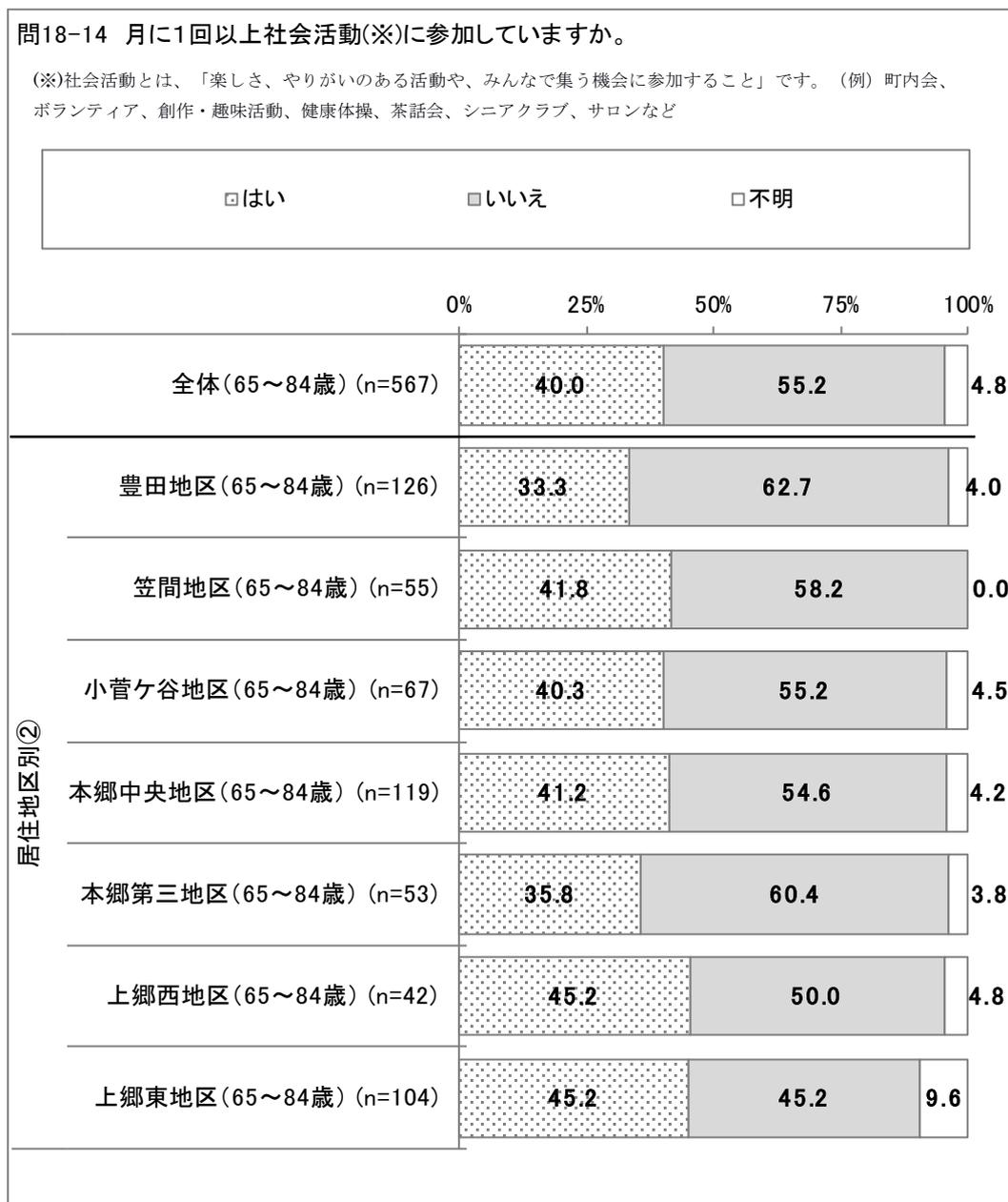
イ 社会活動への参加：全体（55歳以上）・居住地区別

- ・居住地区別で見ると、「はい」の割合が最も高いのは「笠間地区」（46.9%）で、「上郷西地区」（42.9%）、「上郷東地区」（42.1%）と続いている。



ウ 社会活動への参加：全体（65～84歳）・居住地区別

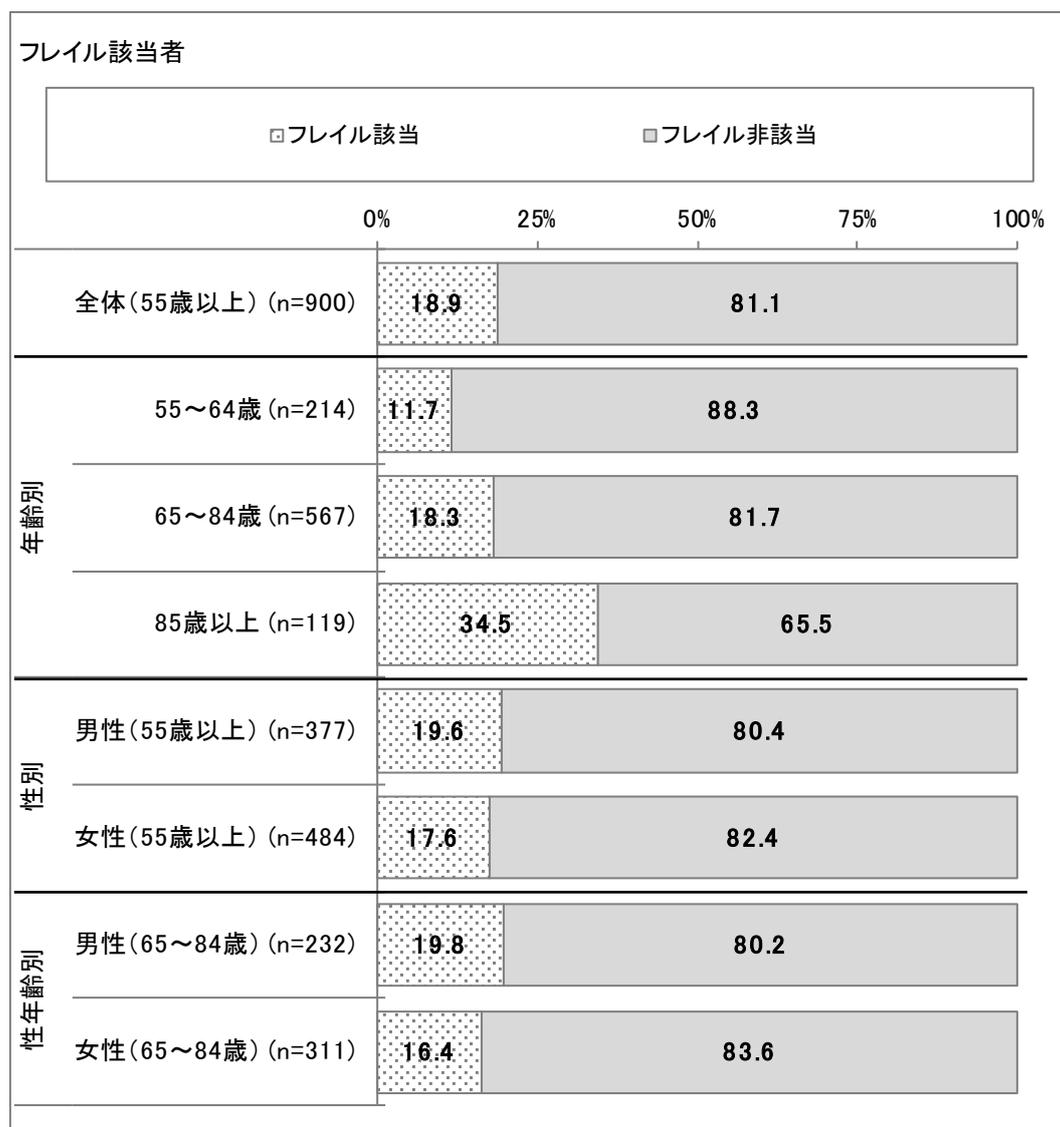
- ・65～84歳の居住地区別にみると、「上郷西地区」と「上郷東地区」がともに45.2%で最も高く、「笠間地区」（41.8%）が続いている。



(11) フレイル（問 18）

ア フレイル：全体（55 歳以上）・年齢別・性別

- ※フレイルとは『加齢に伴う予備機能低下のため、ストレスに対する回復力が低下した状態』を表す“frailty”の日本語訳として日本老年医学会が提唱した用語
- ・フレイルの該当者を、複数の項目の集計^(※)により求めた。
 - ・フレイルの該当者は 55 歳以上全体の 18.9%で、「55～64 歳」は 11.7%、「65～84 歳」は 18.3%、「85 歳以上」は 34.5%と年代が上がるほど該当者が多くなっている。
 - ・フレイルの該当者は、55 歳以上では男性の該当割合が女性を 2.0 ポイント、「65～84 歳」では 3.4 ポイント上回っている。

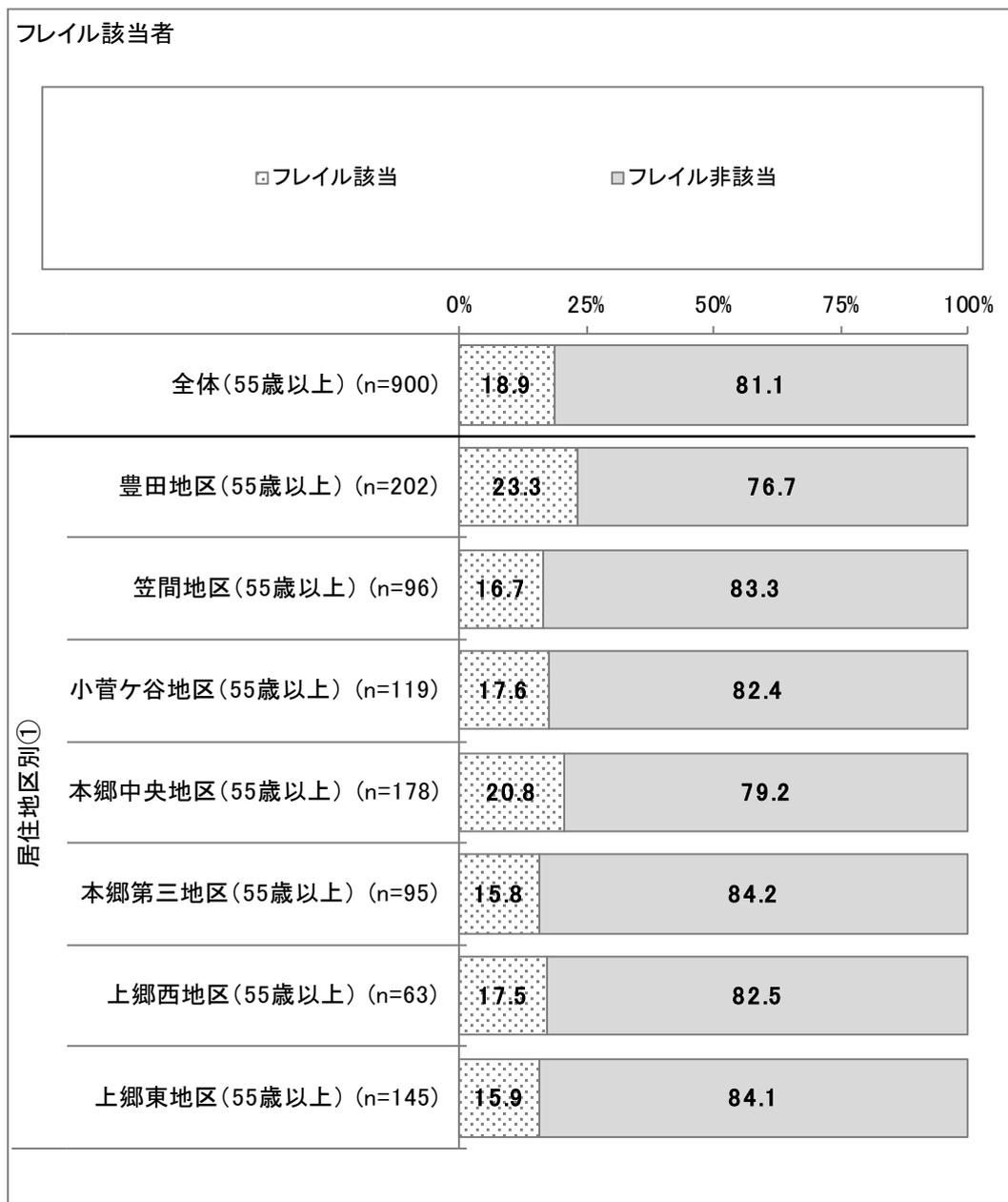


※「フレイル」該当者の算出

- ・問 18-2、問 18-3、問 18-4、問 18-8、問 18-9、問 18-11、問 18-12 について「はい」と回答
 - ・問 18-1、問 18-10、問 18-13、問 18-15、問 18-16 について「いいえ」と回答
- 上記について 4 質問以上該当する方

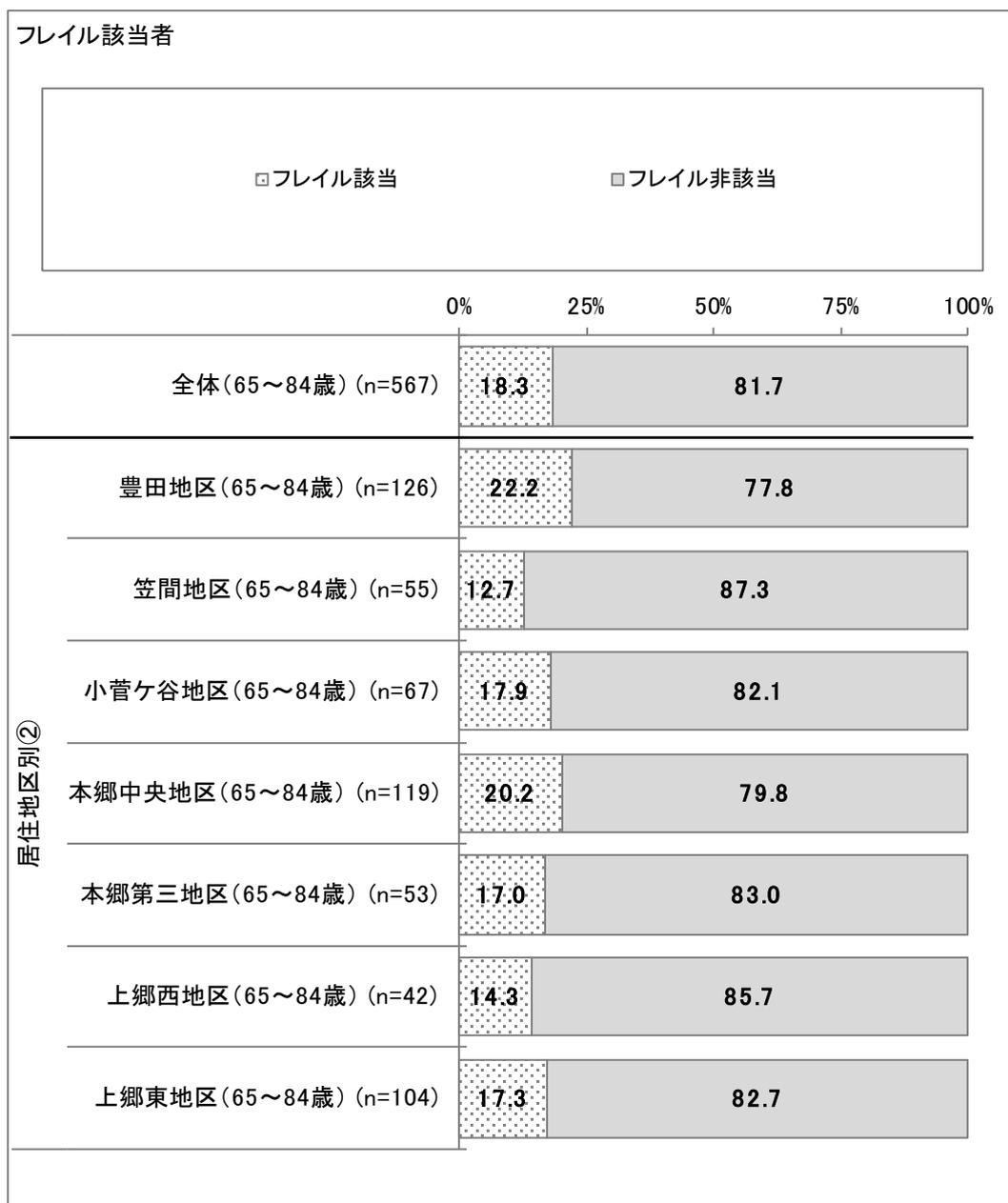
イ フレイル：全体（55歳以上）・居住地区別

- ・居住地区別ではフレイル該当者の割合が最も高いのは「豊田地区」（23.3%）で、「本郷中央地区」（20.8%）と続いている。



ウ フレイル：全体（65～84歳）・居住地区別

- ・65～84歳の居住地区別ではフレイルの該当者の割合が最も高いのは「豊田地区」（22.2%）で、「本郷中央地区」（20.2%）と続いている。

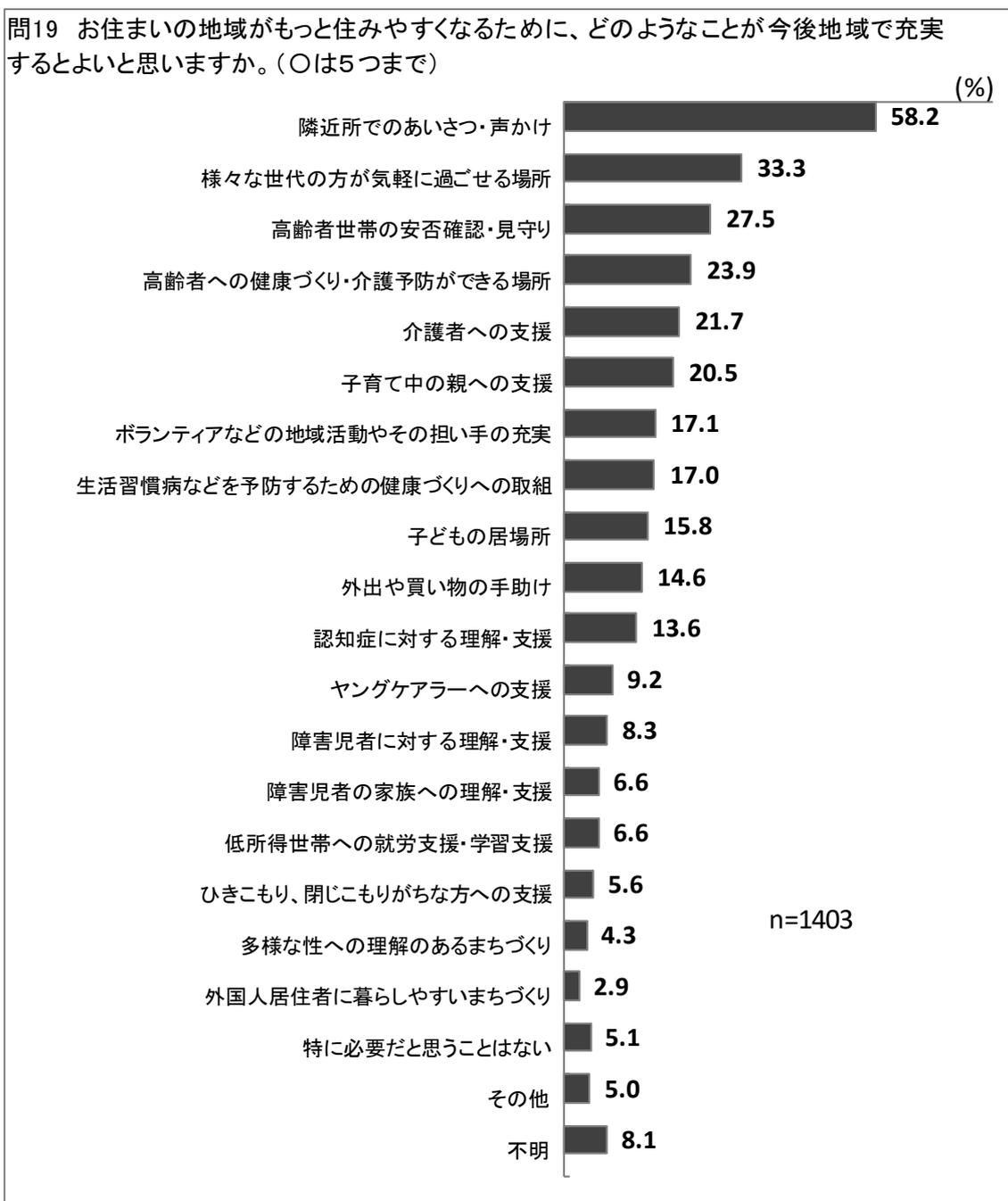


5 栄区の福祉保健全般について

(1) 今後地域で充実するとよいと思うこと（問 19）

ア 今後地域で充実するとよいと思うこと：全体

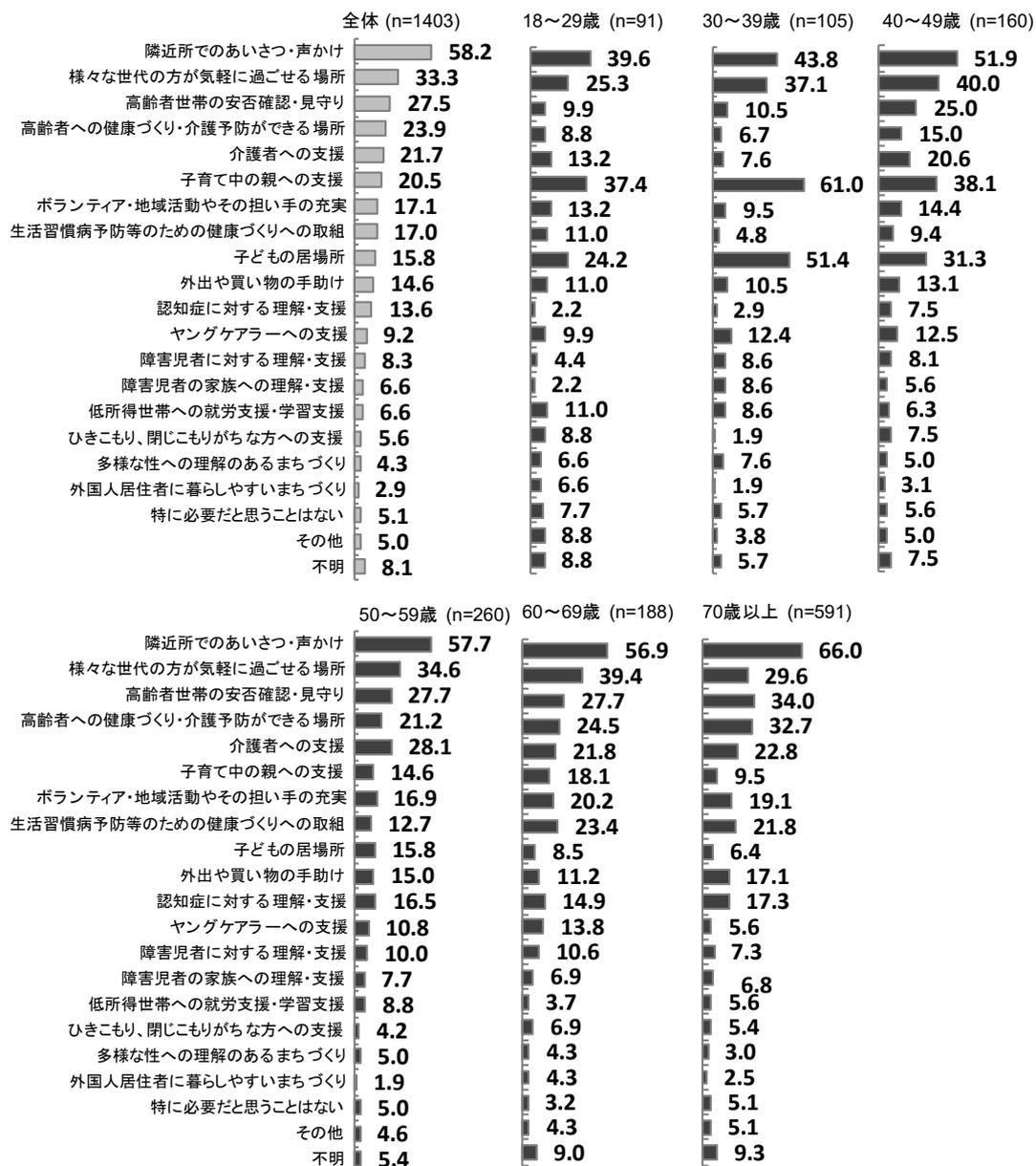
- ・ 5つまでの複数回答で、今後地域で充実するとよいと思うことをたずねた。「隣近所でのあいさつ・声かけ」（58.2%）が最も多く、「様々な世代の方が気軽に過ごせる場所」（33.3%）、「高齢者世帯の安否確認・見守り」（27.5%）が上位3項目に挙げられている。



イ 今後地域で充実するとよいと思うこと：年齢別

- ・年齢別では、「子育て中の親への支援」が「18～29歳」の2位（37.4%）、「30～39歳」の1位（61.0%）、「40～49歳」の3位（38.1%）に挙げられるなど、年齢ごとの特徴があらわれている。
- ・「子どもの居場所」は「30～39歳」では2位（51.4%）、「40～49歳」では4位（31.3%）に挙げられている。

問19 お住まいの地域がもっと住みやすくなるために、どのようなことが今後地域で充実（%）するとよいと思いますか。（〇は5つまで）

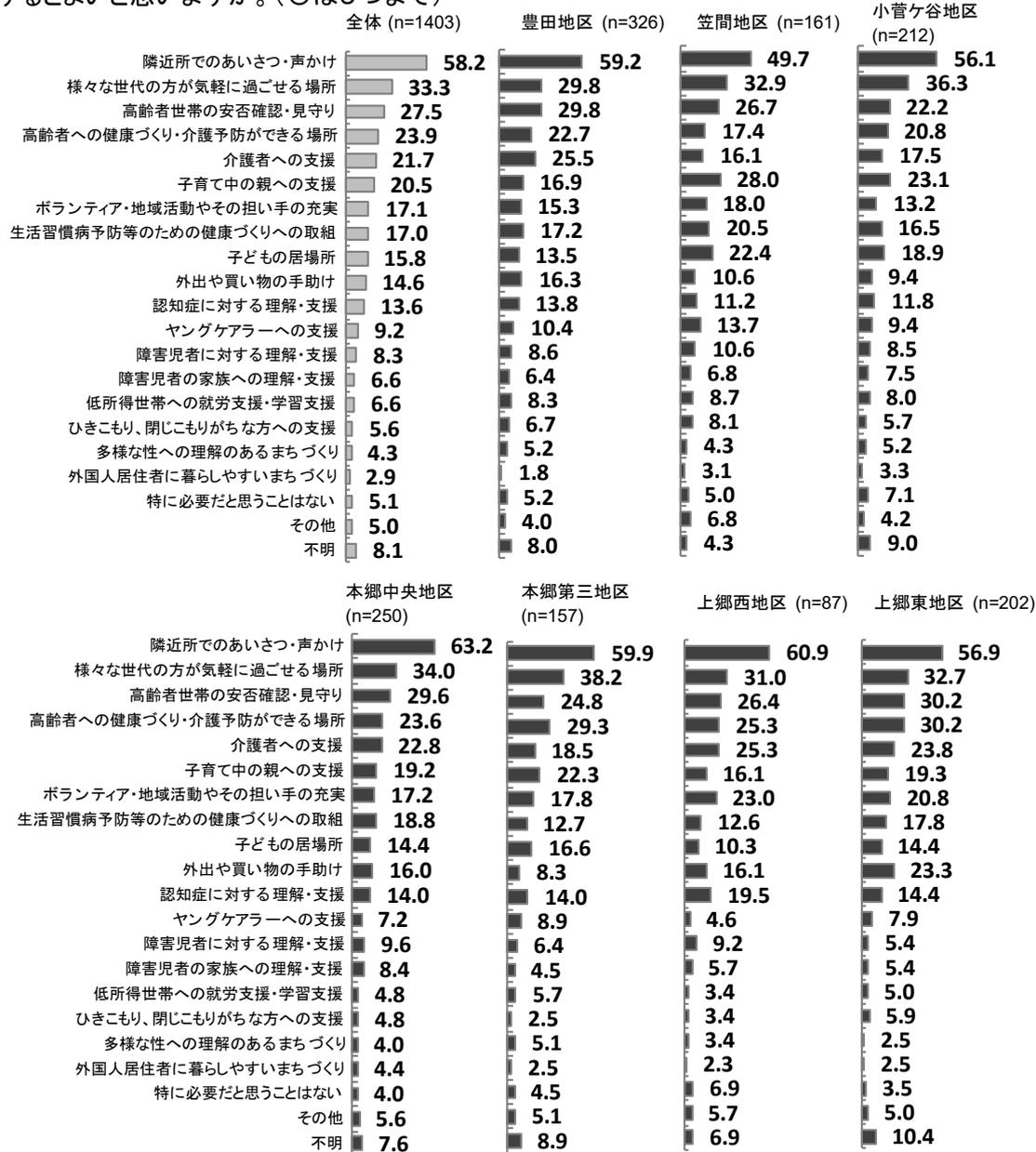


※レイアウトの関係で選択肢の一部を省略しています

ウ 今後地域で充実するとよいと思うこと：居住地区別

- ・居住地区別では、「子育て中の親への支援」が「笠間地区」（28.0%）と「小菅ヶ谷地区」（23.1%）は3位に挙げられている。
- ・「高齢者への健康づくり・介護予防ができる場所」が「上郷東地区」（30.2%）と「本郷第三地区」（29.3%）で3位に挙げられている。

問19 お住まいの地域がもっと住みやすくなるために、どのようなことが今後地域で充実（%）するとよいと思いますか。（〇は5つまで）



※レイアウトの関係で選択肢の一部を省略しています

エ 今後地域で充実するとよいと思うこと：その他

- ・今後地域で充実するとよいと思うことの「その他」の回答のうち、記載のあった59件を分類した（「特になし」「満足している」等の記載をのぞく）。
- ・「道路・交通改善」に関する記載（18件）が最も多く、「買い物環境の整備」に関する記載（7件）、「コミュニティ形成」に関する記載（6件）、「施設整備・環境整備」に関する記載（6件）が上位に挙げられている。

問19 お住まいの地域がもっと住みやすくなるために、どのようなことが今後地域で充実するとよいと思いますか。（〇は5つまで）

「20. その他」の内容

(件)

道路・交通改善	18	施設整備・環境整備	6
交通の利便性向上	9	防災・防犯対策	3
道路整備	5	経済的支援	3
高齢者の歩行対策、免許証返納	4	行政サービス改善	2
買い物環境の整備	7	その他	14
コミュニティ形成	6		
地域活動に関すること	3		
外国人居住者への啓発	2		
民生委員の活動について	1		

(2) ご意見・ご提案・第5期栄区地域福祉保健計画への期待（問20）

- ・ご意見・ご提案・第5期栄区地域福祉計画への期待について記載のあった295名のご意見（延べ373件を分類した（「特になし」の記載をのぞく））。
- ・「暮らしやすいまちづくりについて」に関する記載（169件）が最も多く、「地域のつながり、支えあいについて」に関する記載（95件）が続いている。最も多いのは「暮らしやすいまちづくりについて」のうち「バスの増便、車の運行サービス、夜間運行希望」（33件）であった。

暮らしやすいまちづくりについて	169
バスの増便、車の運行サービス、夜間運行希望	33
高齢者施設、高齢者が暮らしやすいまちを希望	19
商業施設の充実・活性化	18
公共交通システムの整備	15
道路・歩道整備、渋滞の解消を望む	10
保育施設、保育環境に関する要望	8
遊び場・公園整備に関する要望	7
まちの美化、治安をよくしてほしい	6
雑草問題について	6
中高生を含む子供向け設備の要望	6
ごみ出しマナー、ごみ回収について	5
空き家問題	5
防犯対策を強化してほしい	5
交通マナー、駐輪場整備など	4
個人商店の充実、商店街の活性化を希望	3
川の整備	3
土地の利用	3
インフラ整備	2
駅周辺の整備	2
その他	9
地域のつながり、支えあいについて	95
地域活動、地域コミュニティについて	21
防災対策の強化・援助	15
地域のつながり、あいさつ	12
障害者に優しいまちづくり、障害者施設の充実を希望	6
福祉活動について	5
子どもと高齢者のつながりを希望	4
外国人について	3
高齢化問題	3
子ども世帯への支援	3
子ども政策全般、教育問題	3
若者・子育て世代が暮らしやすいまちづくり	3
孤独死問題	2
その他	15
情報が行き届くことについて	20
地域活動、趣味活動の情報提供等に関する要望	10
高齢者サービスやシニア向けイベントについて	5
気軽に相談できる窓口（子ども、高齢者など）が欲しい、知りたい	3
広報不足	2
区政、行政サービスについて	46
区への感謝、労い	14
市政・区政全体への期待、要望	11
税金、補助金、保険料について	4
栄区について	3
医療費が高い	2
投票所に関する要望	2
その他	10
その他（2件以上のご意見）	26
自らの心情、活動について	20
本アンケートについて	6
その他（各1件のご意見）	17

資料編

栄区地域福祉保健計画(さかえ・つながるプラン) 区民アンケート調査

調査ご協力のお願い

日ごろから栄区政の推進にご理解・ご協力をいただき、誠にありがとうございます。
栄区ではこのたび、区民の皆さまの身近な生活環境や日常生活などについてお伺いし、第5期栄区地域福祉保健計画(さかえ・つながるプラン)【計画期間：令和8年度～令和12年度】の策定に役立てるため、区民アンケート調査を実施させていただきます。

本調査は、区内にお住まいの18歳以上の方から無作為に選んだ3,000人の方に送付させていただきます。お忙しいところ誠に恐縮ですが、本アンケート調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。



栄区いたち川マスコット
タッチーくん

令和6年9月

横浜市栄区長 松永 朋美

調査対象者の方に、オリジナルクリアファイルを同封しているよ！

～ 回答方法 ～

- ◆ 調査をお願いした**ご本人(封筒の宛名の方)**がお答えください。
- ◆ 回答方法については、郵送かインターネットの**いずれか1つ**をお選びください。

【郵送で回答する場合】

ご記入いただいた調査票を同封の返信用封筒に入れ、郵便にてご返送ください。
(切手は不要です。) ご返送の際は、氏名や住所のご記入は不要です。

① 調査票を記入



② 同封の返信用封筒(切手不要)に入れる



③ ポストにご投函



【インターネットで回答する場合】

検索サイトより「栄区地域福祉保健計画」を検索してご回答ください。

栄区地域福祉保健計画

検索

右の二次元コードからも
ご回答いただけます

横浜市電子申請システム
回答フォーム



整理番号:

回答の際、左記の整理番号を入力してください。

※整理番号は、一人が複数回答することを避けるためのものであり、整理番号から個人が特定されることはありません。

令和6年10月31日(木)までにポストに投函又は
インターネットでの回答をお願いいたします。

【この調査に関するお問合せ先】 栄区役所福祉保健課 電話：045-894-6962 FAX：045-895-1759

栄区地域福祉保健計画(さかえ・つながるプラン)とは？

地域をより良くしていくために、支える側・支えられる側という関係を超えて、栄区の皆さん・活動団体・区社会福祉協議会・地域ケアプラザ・区役所が連携し・協力して進める計画です。



現在、第4期計画推進中！
詳しくはこちら



リーフレットは
区役所新館 3階 304 番窓口などで配布中！

調査票

◆ 最初に、あなたご自身のことについておたずねします。

問1 あなたの性別・年齢・世帯構成についておたずねします。

問1-1 性別 (○は1つ) ※選択することに違和感のある場合は回答不要です。

- | | |
|------|------|
| 1 男性 | 2 女性 |
|------|------|

問1-2 年齢 (○は1つ)

- | | | |
|-----------|------------|------------|
| 1 18～19 歳 | 6 40～44 歳 | 11 65～69 歳 |
| 2 20～24 歳 | 7 45～49 歳 | 12 70～74 歳 |
| 3 25～29 歳 | 8 50～54 歳 | 13 75～79 歳 |
| 4 30～34 歳 | 9 55～59 歳 | 14 80～84 歳 |
| 5 35～39 歳 | 10 60～64 歳 | 15 85 歳以上 |

問1-3 世帯構成 (○は1つ)

- | |
|--------------------|
| 1 ひとり暮らし |
| 2 2人暮らし (夫婦、パートナー) |
| 3 親と子 (二世帯) |
| 4 親と子と孫 (三世帯以上) |
| 5 その他 (具体的に) |

問2 あなたの現在暮らしているお住まいはどれに該当しますか。(○は1つ)

- | | |
|-------------------|----------------------------|
| 1 持家 (一戸建て) | 5 借家 (都市再生機構[旧公団]・公社の共同住宅) |
| 2 持家 (マンション・共同住宅) | 6 社宅、公務員住宅 |
| 3 借家 (一戸建て) | 7 民間アパート、民間賃貸マンション |
| 4 借家 (県営・市営の共同住宅) | 8 その他 (具体的に) |

問3 現在お住まいの地区 (○は1つ)

1 飯島町	15 桂台西二丁目	29 小菅ケ谷四丁目	43 野七里二丁目
2 犬山町	16 桂台東	30 小山台一丁目	44 柏陽
3 尾月	17 桂台南一丁目	31 小山台二丁目	45 東上郷町
4 笠間一丁目	18 桂台南二丁目	32 庄戸一丁目	46 本郷台一丁目
5 笠間二丁目	19 桂町	33 庄戸二丁目	47 本郷台二丁目
6 笠間三丁目	20 金井町	34 庄戸三丁目	48 本郷台三丁目
7 笠間四丁目	21 上郷町	35 庄戸四丁目	49 本郷台四丁目
8 笠間五丁目	22 上之町	36 庄戸五丁目	50 本郷台五丁目
9 鍛冶ケ谷町	23 亀井町	37 田谷町	51 元大橋一丁目
10 鍛冶ケ谷一丁目	24 公田町	38 長尾台町	52 元大橋二丁目
11 鍛冶ケ谷二丁目	25 小菅ケ谷町	39 長倉町	53 若竹町
12 桂台北	26 小菅ケ谷一丁目	40 長沼町	
13 桂台中	27 小菅ケ谷二丁目	41 中野町	
14 桂台西一丁目	28 小菅ケ谷三丁目	42 野七里一丁目	

問4 あなたのお仕事の状況はどれに該当しますか。(○は1つ)

1 常勤・フルタイム	5 学生
2 パート・アルバイト	6 無職
3 自営業	7 その他 ()
4 専業主婦・主夫	

問5 栄区にお住まいの期間 (○は1つ) ※栄区内で転居した場合は通算してください。

1 5年未満	4 15～19年	7 40年以上
2 5～9年	5 20～29年	
3 10～14年	6 30～39年	

問6 あなたはこれからも栄区に住み続けたいと思いますか。(○は1つ)

また、その理由を選んでください。

1 住み続けたい	3 どちらかというに住み続けたくない
2 どちらかというに住み続けたい	4 住み続けたくない

<問6で「1 住み続けたい」または「2 どちらかというに住み続けたい」と

答えた方は、その理由を選んでください> (○はいくつでも)

1 住み慣れているから	9 買い物に便利だから
2 自分や家族の持家のため	10 趣味や余暇活動がしやすいため
3 家賃や住宅の価格が手ごろのため	11 治安が良いと思うから
4 家族・親せきが近くに住んでいるから	12 公共施設が充実しているから
5 通勤・通学に便利のため	13 医療・福祉・介護サービスが充実しているから
6 街並みが整っているから	14 子育て・教育環境が充実しているから
7 緑や公園など自然環境に恵まれているから	15 地域交流が盛んで住民相互のつながりが強いから
8 交通の利便性が高いから	16 その他 ()

◆ **あなたと身近な地域での生活の心配事についておたずねします。**

問7 あなたは、近頃、ご自分やご家族の生活のことで心配ごとや困っていることがありますか。 (○は3つまで)

1 自分の病気や障害、老後のこと	10 地域の環境のこと
2 家族の健康や生活上のこと	11 事故や災害のこと
3 失業・倒産や収入が減ること	12 犯罪や防犯のこと
4 仕事や職場のこと	13 住宅のこと
5 景気や生活費のこと	14 現在及び将来の土地・建物の管理や相続のこと
6 子どもの保育や教育のこと	15 心配ごとや困っていることはない
7 近隣からの悪臭・騒音のこと	16 その他 (具体的に)
8 近所付き合いのこと	
9 外出の手段のこと	

問8 心配ごとや困ったことが起きた時、相談する人や相談する場所がありますか。

それは、誰・どこですか (「相談したことがある」、または「相談しようと思う」を含めてお答えください)。 (○はいくつでも)

1 家族・親せき	9 保育所、幼稚園、学校、放課後の居場所
2 友人や知人	10 専門機関の相談窓口
3 近所の人	(福祉活動団体・民間の相談窓口など)
4 自治会・町内会の役員や民生委員など	11 同じ悩みを抱える人
5 かかりつけの医療機関	12 インターネットやSNSなどの利用
6 区役所	13 相談する人 (場所) は思い当たらない
7 栄区社会福祉協議会	14 相談しない
8 地域ケアプラザ	15 その他
(地域包括支援センター)	(具体的に)

◆ 地域でのつながり及び活動の機会・場についておたずねします。

問9 あなたは日頃、近所の人とどの程度の付き合いをしていますか。(○は1つ)

- | |
|---------------------|
| 1 困ったときに相談や助け合いができる |
| 2 簡単な頼みごとができる |
| 3 たまに世間話や立ち話をする |
| 4 顔を見ればあいさつをする |
| 5 まったく付き合いはない |

問10 あなたは、お住まいの地域の自治会・町内会に加入していますか。(○は1つ)

- | | |
|----------|-----------|
| 1 加入している | 2 加入していない |
|----------|-----------|

問11 あなたは、地域の様々な活動に参加したことがありますか。(参加者または、スタッフ・ボランティアとして参加したことがあるものすべてに○)

	参加者として参加	スタッフ・ボランティアとして参加
1 お祭り、季節の行事など		
2 健康づくりの活動		
3 趣味やスポーツの集まりなどの活動		
4 自治会、町内会の活動		
5 子ども会の活動		
6 老人クラブの活動		
7 子どもや青少年支援の活動 (PTA・おやじの会など学校関連の活動を含む)		
8 高齢者の集いの場や見守り活動		
9 障害当事者の活動や、障害児・者を支援する活動		
10 地域の清掃活動や美化活動		
11 防犯・防災・交通安全などの活動		
12 その他(具体的に)		

【問11で1つでも「参加したことがある」を選んだ方にうかがいます】

(参加者または、スタッフ・ボランティアとして参加したことがある方)

問11-1 活動に参加してよかったと思うことは何ですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|----------------------|-------------------|
| 1 新たな友人・知人ができた | 5 自分自身の健康に役立った |
| 2 地域社会に貢献できた | 6 生活が充実していると感じられた |
| 3 自分の技術や経験をいかすことができた | 7 その他 |
| 4 新しい知識や経験が身についた | (具体的に) |

【問11で1つでも「スタッフ・ボランティアとして参加している」を選んだ方は、問11-2をお答えください】

問11-2 参加したのは、どのようなきっかけでしたか。(〇は3つまで)

- | | |
|---------------------|-----------------------|
| 1 時間的に余裕があったから | 6 費用弁償・謝金があるから |
| 2 家族や友人、知人などに誘われたから | 7 仲間・友人づくりにつながると思ったから |
| 3 近かったから | 8 趣味・特技・経験をいかせそうだから |
| 4 必要性を感じたから | 9 持ち回りの当番だったから |
| 5 自分の健康づくりになると思ったから | 10 その他 |
| | (具体的に) |

問12 あなたは、今後、どのような条件であれば、地域活動に参加者として参加したいと思いますか。(〇は3つまで)

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1 時間的に余裕があれば | 6 情報があれば |
| 2 家族や友人、知人などに誘われたら | 7 新たな仲間・友人ができそうなら |
| 3 近ければ | 8 健康づくりになりそうなら |
| 4 内容に興味があれば | 9 その他 |
| 5 参加費があまりかからなければ | (具体的に) |

問13 あなたは、どのような条件であれば地域活動にスタッフ・ボランティアとして参加したいと思いますか。(〇は3つまで)

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1 時間的・体力的に無理がない程度なら | 7 健康づくりになりそうなら |
| 2 家族や友人・知人に誘われたら | 8 趣味・特技・経験をいかせそうなら |
| 3 近ければ | 9 持ち回り当番などきっかけがあれば |
| 4 内容に興味があれば | 10 多少の謝礼があれば |
| 5 情報があれば | 11 その他 |
| 6 仲間・友人ができそうなら | (具体的に) |

◆ 福祉保健に関する情報についておたずねします。

問14 あなたは、栄区地域福祉保健計画「さかえ・つながるプラン」について知っていますか。(○は1つ)

- | | | |
|-----------------|---------------|--------|
| 1 内容も含めてよく知っている | 2 名前は聞いたことがある | 3 知らない |
|-----------------|---------------|--------|

問15 あなたは、地域の福祉保健に関する活動の情報をどこから得ていますか。

(○はいくつでも) 例：見守り活動、サロン、世代間交流、防災理解

- | | |
|--------------------------------------|---------------------|
| 1 広報よこはま (市・区発行の広報紙) | 8 新聞・テレビ・ラジオ |
| 2 栄区ウェブサイト(ホームページ) | 9 地域ケアプラザからの情報 |
| 3 一般のウェブサイト(ホームページ) | 10 自治会・町内会役員などからの情報 |
| 4 公共施設の配架チラシ・パンフレット | 11 家族・知人などからの情報 |
| 5 自治会・町内会の回覧板、掲示板など | 12 特にない |
| 6 タウン情報誌 | 13 その他 |
| 7 SNS(X (旧 Twitter) LINE、YouTube など) | (具体的に) |

◆ 安全・安心・健康についておたずねします。

問16 災害時に地域での助け合いが上手くいくためには、日頃からお互いを気に掛け合うなど顔の見える関係づくりに取り組むことは必要だと思いますか。 (○は1つ)

- | | |
|-------------|-----------|
| 1 とても必要だと思う | 3 必要ないと思う |
| 2 必要だと思う | 4 わからない |

問 16-1 (問 16 で「1 とても必要だと思う」または「2 必要だと思う」に○をつけた方のみ) 地域で顔の見える関係づくりを進めるためには何が必要だと思いますか。

(○はいくつでも)

- | | |
|--------------------------------|-----------------------------|
| 1 近所でのあいさつ・声かけ | 6 住民一人ひとりがまちづくりに関心を |
| 2 近所での日頃からの付き合い | 持つこと |
| 3 祭りなど行事への参加 | 7 活動を展開するリーダーの存在 |
| 4 自治会・町内会活動への参加
(防犯や美化活動など) | 8 役員任せにせず、一人ひとりが責任を
持つこと |
| 5 趣味を通じてのグループづくり | 9 いろいろな世代の交流の場をつくること |
| | 10 その他 () |

問17 あなたは、下記の1～10の食べ物をどのくらいの頻度で食べていますか。
 それぞれ、ここ1週間くらいの食事についてあてはまるものをお答えください。
 (○は1つつ)

	ほとんど 毎日	2日に 1回	1週間に 1～2回	ほとんど 食べない
1 魚介類 生鮮・加工品、すべての魚や貝類	1	2	3	4
2 肉類 生鮮・加工品、すべての肉類	1	2	3	4
3 卵 鶏卵・うずらなどの卵で、魚の卵を除く	1	2	3	4
4 牛乳・乳製品 (コーヒー牛乳やフルーツ牛乳、バター は除く)	1	2	3	4
5 大豆製品 豆腐・納豆など大豆を使った食品	1	2	3	4
6 緑黄色野菜 にんじん・ほうれん草などの色の濃い 野菜	1	2	3	4
7 海藻 生・乾物を問わず	1	2	3	4
8 いも類	1	2	3	4
9 果物 (生鮮・缶詰を問わず、トマトは除く)	1	2	3	4
10 油脂類 油炒め、バターやマーガリン、油を使う 料理など	1	2	3	4

問18 あなたの普段の生活についてお聞きします。あてはまるものをお答えください。
(○は1つずつ)

※55歳以上の方のみご回答ください。

1	1日3食きちんと食べていますか。	はい	いいえ
2	6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。	はい	いいえ
3	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。	はい	いいえ
4	お茶や汁物でむせることがありますか。	はい	いいえ
5	義歯を使用していますか。	はい	いいえ
6	口の渇きが気になりますか。	はい	いいえ
7	かかりつけ歯科医をきめていますか。	はい	いいえ
8	以前に比べて歩く速度が遅くなってきたと思いますか。	はい	いいえ
9	この1年間に転んだことがありますか。	はい	いいえ
10	ウォーキングなどの運動を週に1回以上していますか。	はい	いいえ
11	周りの人から「いつも同じことを聞く」などの物忘れがあるとされていますか。	はい	いいえ
12	今日が何月何日かわからない時がありますか。	はい	いいえ
13	週に1回以上は外出していますか。	はい	いいえ
14	月に1回以上社会活動(※)に参加していますか。 (※)社会活動とは、「楽しさ、やりがいのある活動や、みんなで集う機会に参加すること」です。 (例) 町内会、ボランティア、創作・趣味活動、健康体操、茶話会、シニアクラブ、サロンなど	はい	いいえ
15	普段から家族や友人と付き合いがありますか。	はい	いいえ
16	体調が悪い時に、身近に相談できる人がいますか。	はい	いいえ

◆ 栄区の福祉保健全般についておたずねします。

問19 お住まいの地域がもっと住みやすくなるために、どのようなことが今後地域で充実するとよいと思いますか。(〇は5つまで)

- 1 隣近所でのあいさつ・声かけ
- 2 様々な世代の方が気軽に過ごせる場所
- 3 ボランティアなどの地域活動やその担い手の充実
- 4 生活習慣病などを予防するための健康づくりへの取組
- 5 高齢者世帯の安否確認・見守り
- 6 高齢者への健康づくり・介護予防ができる場所
- 7 介護者への支援
- 8 認知症に対する理解・支援
- 9 障害児者に対する理解・支援
- 10 障害児者の家族への理解・支援
- 11 ヤングケアラーへの支援
- 12 子育て中の親への支援
- 13 子どもの居場所
- 14 外出や買い物の手助け
- 15 ひきこもり、閉じこもりがちな方への支援
- 16 低所得世帯への就労支援・学習支援
- 17 外国人居住者に暮らしやすいまちづくり
- 18 多様な性への理解のあるまちづくり
- 19 特に必要だと思わない
- 20 その他

(具体的に)

問20 お住まいの地域を良くするためのご意見・ご提案や、第5期栄区地域福祉保健計画（さかえ・つながるプラン）【計画期間：令和8年度～令和12年度】に期待することがございましたら、ご記入ください。

アンケートは以上で終了です。ご協力ありがとうございました。

ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒（切手不要）に入れていただき、**【令和6年10月31日（木）※消印有効】**までにポストにご投函ください。

**※お答えいただいた内容は統計的に処理し、
本アンケート調査の目的以外の用途には利用いたしません。**

【本アンケート調査に関するお問合せ先】

栄区役所福祉保健課 電話：045-894-6962 FAX:045-895-1759
E-mail：sa-fukuhoplan@city.yokohama.jp